みよし市の人口見込みについて

1 現行計画の人口推計値と実績値

(1) 現行計画の人口推計値

平成31(2019)年3月に策定した第2次みよし市総合計画では、目標人口を以下のとおり想定しました。

■現行計画における目標人口

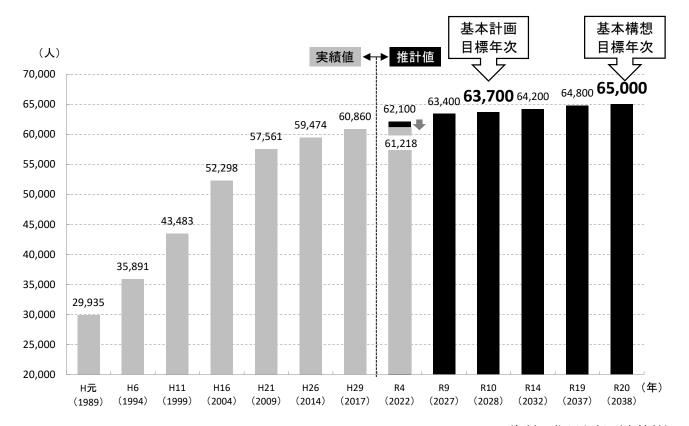
基本計画目標年次 令和10年(2028年) 63,700人 基本構想目標年次 令和20年(2038年) 65,000人

(2) 推計値と実績値の乖離状況

①市全体

令和4(2022)年4月1日の人口は61,218人であり、同年の推計値62,100人と比較して882人の減少となっています。

これまで増加を続けてきた本市の人口は、平成31・令和元(2019)年をピークに伸び悩んでいる状況にあります。



資料:住民記録(実績値)

②地域別の状況

地域別で見ると、おかよし地域において、令和4(2022)年の推計値と実績値で大きな乖離が見られます。

■地域別人口

I	T-2005		A 10.4 F	
	平成29年		令和4年	
	(2017年)		(2022年)	
	実績値	推計値(A)	実績値(B)	乖離(B-A)
おかよし地域 総人口	23, 317	24, 300	22, 558	-1, 742
年少人口	3, 802	3, 543	2, 899	-644
生産年齢人口	17, 268	18, 069	16, 834	-1, 235
老年人口	2, 247	2, 787	2, 825	
きたよし地域 総人口	8, 469	8, 500	8, 840	340
年少人口	1, 616	1, 586	1, 649	63
生産年齢人口	5, 041	5, 141	5, 296	155
老年人口	1, 812	1, 858	1, 895	37
なかよし地域 総人口	22, 807	23, 000	23, 374	374
年少人口	3, 423	3, 356	3, 325	-31
生産年齢人口	14, 381	14, 404	14, 783	379
老年人口	5, 003	5, 333	5, 266	-67
みなよし地域 総人口	6, 267	6, 300		
年少人口	1, 182	1, 098	1, 184	86
生産年齢人口	3, 798	3, 922	3, 923	1
老年人口	1, 287	1, 345	1, 339	-6
市総人口	60, 860	62, 100	61, 218	-882

※年齢3区分人口の推計値(A)は実数値のため、合計が総人口の数値と合わない

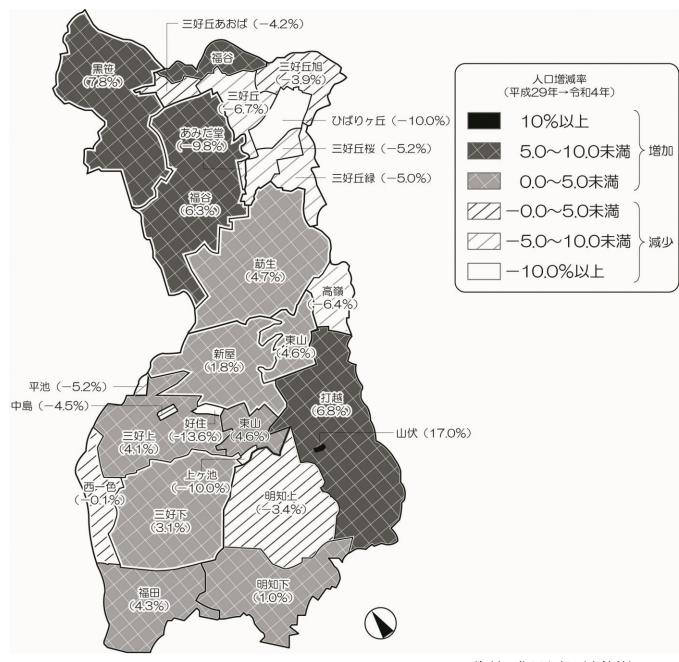
※福谷の人口実績は、「きたよし地域」に含めている

【地域区分】

区分	行政区名
おかよし地域	福谷(一部)、黒笹、ひばりヶ丘、三好丘、三好丘緑、三好丘旭、三好丘桜、三好丘あおば
きたよし地域	莇生、福谷、高嶺、あみだ堂
なかよし地域	新屋、三好上、三好下、西一色、福田、東山、好住、中島、平池、上ヶ池
みなよし地域	明知上、明知下、打越、山伏

平成29(2017)年から令和4(2022)年の人口増減率を行政区別で見ると、ひばりヶ丘でマイナス10.0%、三好丘でマイナス6.7%、三好丘桜でマイナス5.2%、三好丘緑でマイナス5.0%と、おかよし地域の多くの行政区で人口が減少しています。

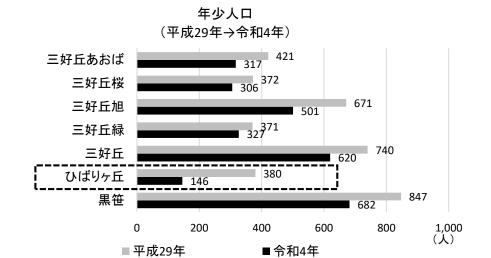
■行政区別人口増減の状況

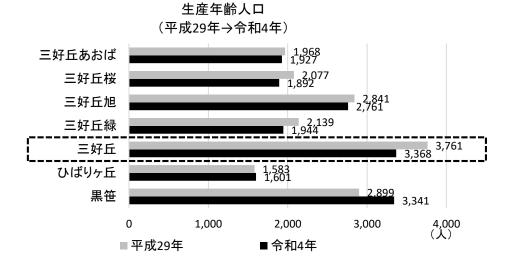


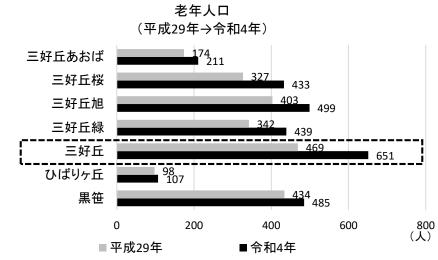
資料:住民記録(実績値)

年齢3区分別人口を見ると、ひばりヶ丘での年少人口の減少と、三好丘での生産年齢人口の減少及び老年人口の増加が顕著になっています。

■行政区別(おかよし地域)の年齢3区分別人口の状況







資料:住民記録(実績値)

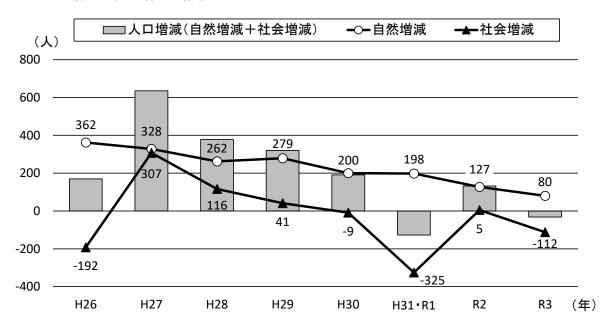
2 人口動向の背景に見られる様々な事象

(1) 自然増・社会増の伸び悩み

現行計画の人口推計では、平成29 (2017) 年から令和4 (2022) 年にかけて、1,000人程度の自然増、300人程度の社会増を見込んでいますが、最新時点である令和3 (2021) 年までの人口動向を見ると、自然動態(出生・死亡に伴う人口の動き)、社会動態(転入・転出に伴う人口の動き)ともに伸び悩んでいます。

出生者数は増減を繰り返していますが、緩やかな減少傾向にあります。令和2年(2020年)以降の出生者数が500人前後と少なくなっているのは、新型コロナウイルス感染症の影響(全国的な出生者数の減少や生活様式の変化)と考えられます。

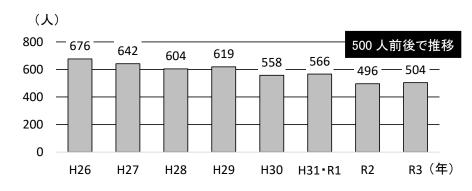
■人口の自然増減・社会増減の推移



※調査期間は調査該当年の1月1日から同年12月31日まで

資料:総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

■出生者数の推移



資料:総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

(2) 近隣市町間での人口移動の活発化

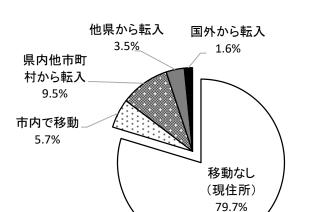
本市の常住者を 5 年前に住んでいた場所別に見ると、 5 年前に同じ場所に住んでいる者 (みよし市に住んでいる者) は 4 9, 4 6 2 人 (常住人口の 7 9. 7 %) となっています。市外からの転入は 9, 0 8 0 人 (同 1 4. 6 %) で、このうち県内他市町村からの転入が 5, 9 1 5 人 (同 9 . 5 %) と多くなっています。

一方、5年前に本市に常住していた者のうち、現住所から移動した人口は12,743人(5年前の常住地がみよし市の人口の20.5%)です。このうち、市外への転出は9,233人(同14.8%)で、このうち県内他市町村への転出が6,169人(同9.9%)と多くなっています。

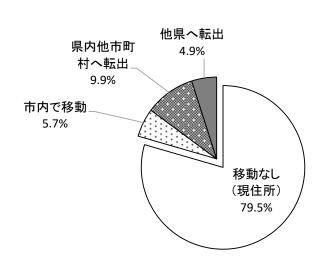
本市においては、人口の約2割が5年間で住所を移動しており、このうち県内他市町村からの転出入が占める割合が大きいという特徴があります。

■ 5 年前の常住地別人口の割合

(現在の常住地:みよし市)



■現在の常住地別人口の割合 (5年前の常住地:みよし市)



※不詳補完値による

資料:令和2年国勢調査に関する不詳補完結果 (5年前の常住地の不詳補完(移動人口の男女・年齢等集計に対応)) 人口移動の状況について市町村別に見ると、転入・転出ともに、豊田市や名古屋市(天白 区、緑区)、日進市、東郷町等、近隣市町間での移動が多くなっています。

日進市、東郷町から本市への転入は250人弱程度であるのに対し、本市から日進市、東郷町への転出はそれぞれ677人、463人と転出数の方が上回る状況となっています。

■市外からの転入の状況

			総数	15歳未満	15~64歳	65歳以上
	移動なし(現住所のまま)	45,707	6,855	28,847	10,003
	移動あり (5年前の)	常住市区町村「不詳」を除く)	10,953	1,710	8,438	802
	みよし	市(市内転居)	3,181	743	2,109	328
18		豊田市	2,276	296	1,761	218
現住	県	名古屋市	750	95	616	39
地	内	名古屋市天白区	143	23	112	8
が	他	名古屋市緑区	109	18	88	3
み	市町	日進市	247	47	187	13
ょ	村	東郷町	236	41	169	26
し	か	岡崎市	211	27	180	4
市	, 6	刈谷市	177	30	145	2
の人	転入	知立市	104	24	77	3
 の		その他	1,034	106	876	52
5		総数	5,035	666	4,011	357
年		岐阜県	228	14	200	14
前	他	静岡県	199	27	168	4
の	県	三重県	174	7	158	9
常	か	東京都	138	16	119	3
住	b	大阪府	118	7	99	12
地	転	神奈川県	108	13	93	2
	入	その他	978	84	837	57
		総数	1,943	168	1,674	101
		から転入	794	133	644	16
	5年前の常	住市区町村「不詳」	15	2	6	7
	移動状況「	不詳」	5,277	414	2,737	422
	現在のみよ	し市人口(令和2年国勢調査)	61,952	8,981	40,028	11,234

※原数値のため、前ページの不詳補完結果とは一致しない

※「県内他市町村から転入」及び「他県から転入」は、総数が100人以上の5年前の常住地のみ抽出して掲載

資料:総務省「令和2年国勢調査(移動人口の男女・年齢等集計結果)」

移動人口の男女・年齢等集計とは

移動人口の男女・年齢等集計は、全ての調査票を用いて、平成27年国勢調査時の常住地(5年前の常住地)と令和2年国勢調査時の常住地を比較することにより、人口の転出入状況について男女・年齢別等に集計したものである。

■市外への転出の状況

			総数	15歳未満	15~64歳	65歳以上
7	移動なし(現住所のまま)		45,707	6,855	28,847	10,003
7	移動あり(国内)		10,755	1,742	8,211	801
	みよし	市(市内転居)	3,181	743	2,109	328
5		豊田市	1,213	218	913	82
年		名古屋市	1,031	83	867	81
前	県	名古屋市天白区	197	16	166	15
に	内	名古屋市緑区	157	24	127	6
みよ	他市	日進市	677	108	525	44
 	町	東郷町	463	94	318	51
市	村	瀬戸市	244	61	180	3
1=	^	岡崎市	194	21	163	10
住	転	刈谷市	122	13	98	11
ん	出	長久手市	114	21	88	5
で		その他	1,034	141	843	50
い		総数	5,092	760	3,995	337
ト人		東京都	382	24	346	12
ô		特別区部(東京都23区内)	282	15	257	10
現	//le	岐阜県	222	25	184	13
住	他県	静岡県	186	23	161	2
地	テヘ	三重県	184	20	153	11
	転	大阪府	164	12	138	14
	出	神奈川県	156	15	130	11
		兵庫県	108	12	87	9
		その他	1,080	108	908	64
		総数	2,482	239	2,107	136
54	年前のみよ	:し市人口(平成27年国勢調査)	61,810	10,170	40,940	10,371

※原数値のため、前ページの不詳補完結果とは一致しない

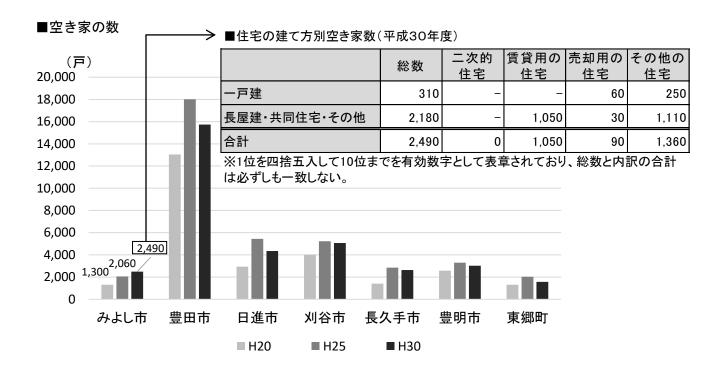
※「県内他市町村へ転出」及び「他県へ転出」は総数が100人以上の現住地のみ抽出して掲載

※国外に住んでいる者は調査対象外であるため、国外への転出者は含まれていない

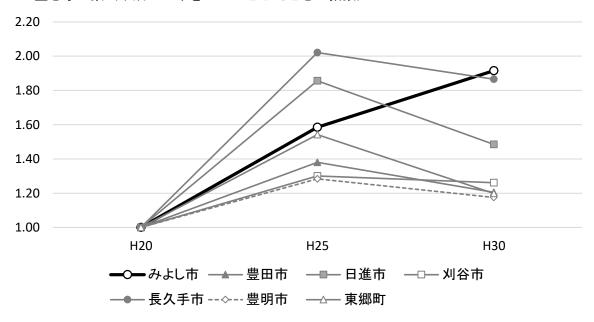
資料:総務省「令和2年国勢調査(移動人口の男女・年齢等集計結果)」

(3) 空き家の増加

本市では、空き家の数が年々増えています。近隣都市間で比べても本市の空き家の数は一貫して上昇傾向にあります。平成30(2018)年度の空き家のうち、「一戸建」が310件(うち、売却用が60件)、「長屋建・共同住宅・その他」が2,180件(うち、売却用が30件)となっており、空き家全体で「一戸建」が占める割合は12.4%となっています。



■空き家の数(平成20年を1.0としたときの指数)



資料:総務省「住宅・土地統計調査」

※「平成30年住宅・土地統計調査」における「空き家」の定義は、一戸建の住宅や、アパートのように完全に区画された建物の一部で、一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができる住宅において、ふだん人が居住していない住宅。なお、家庭生活を営むことができないような「廃屋」は、調査の対象外。

本市が実施した令和2(2020)年度の空き家実態調査の結果では、個々の物件に対する現地調査とアンケート調査により、186件が空き家と判定されました。地域別にみると、なかよし地域に次いで、おかよし地域の空き家数が40件と多くなっています。おかよし地域の新興住宅地内にも空き家が確認されており、空き家の活用や住み替えが円滑に進んでいない状況が伺えます。

■空き家の数(令和2年度)

	総件数	おかよし地域	きたよし地域	なかよし地域	みなよし地域
調査物件	453 件	87 件	78 件	230 件	58 件
空き家と判定された物件	186 件	40 件	35 件	92 件	19 件

資料: みよし市空き家実態調査結果

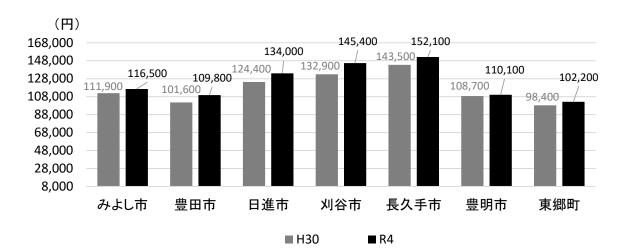
※「みよし市空き家実態調査」における「空き家」の定義は、「地方公共団体における空家調査の手引き」(国 土交通省住宅局)に記載された定義に基づいている。同手引きでは、特に断りのない限り、住宅・土地統 計調査(総務省)の定義を念頭に記述するとされている。

ただし、「みよし市空家実態調査」においては、マンション・長屋等の共同住宅は、一件の物件としてカウントし、一室でも入居がある場合は、空き家とは判定しないこととして集計を行っている。

(4) 住宅地平均価格の変動

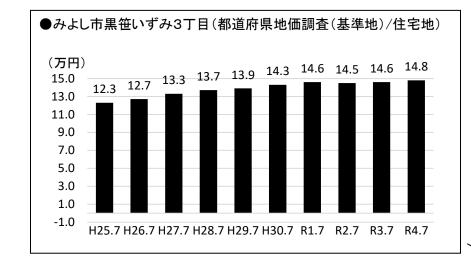
令和4(2022)年の本市の住宅地平均価格は116,500円/㎡であり、近隣都市間では中間程度に位置しています。近隣都市の中で住宅地平均価格が高く、平成30(2018)年比での価格の上昇幅も大きい長久手市、刈谷市、日進市は、人口増加率(令和2年国勢調査)が県内上位で人口の伸びが大きいという特徴があります。

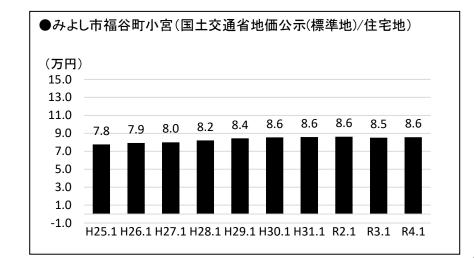
■住宅地平均価格(令和4年)

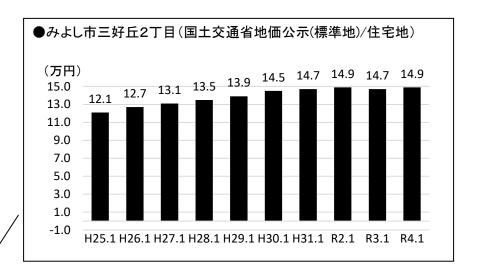


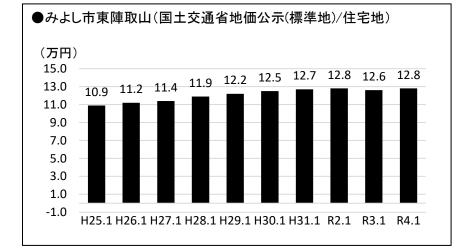
資料:令和4年地価公示

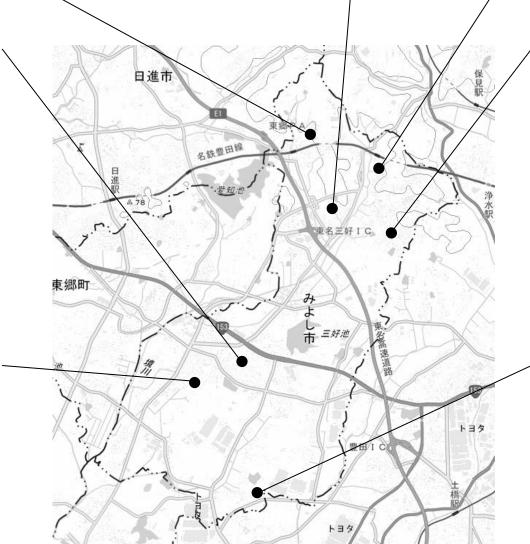
■市内の主な地点における住宅地価格(万円/m)の推移



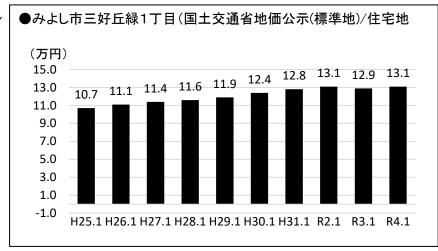


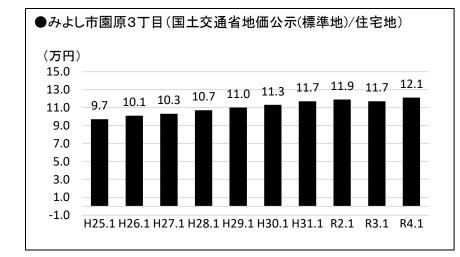


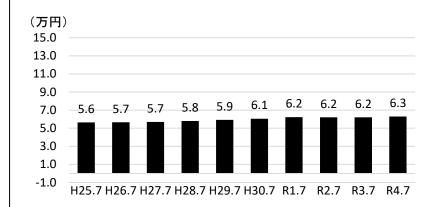




※背景図は地理院地図(電子国土WEB)を引用







●みよし市明知町美里(都道府県地価調査(基準地)/住宅地)

資料:令和4年地価公示

3 みよし市の人口見込みの算出

(1) 推計方法

前期基本計画と同様、コーホート要因法を用いて将来人口推計を行います。 仮定値については、人口ビジョン策定時から7年ほど経過していることを踏まえ、 以下のとおり見直します。

	第2次総合計画後期基本計画策定時推計(R4)	第2次総合計画策定時推計(H31)	人口ビジョン策定時推計 (H27)
推計手法	コーホート要因法	コーホート要因法	コーホート要因法
基礎人口	<u>令和4(2022)年</u> の本市住民基本台帳による男女別年齢別人口(各年4月1日現在、外国人登録人口を含む)	平成 29 (2017) 年の本市住民基本台帳による男女別年齢別人口(各年4月1日現在、外国人登録人口を含む)	<u>平成 27 (2015) 年</u> の本市住民基本台帳による男女別年齢別人口(各年4月1日現在、外国人登録人口を含む)
移動率	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の平成 31 (2019) 年以前の男女別年齢別人口を用いて、5年間の封鎖人口と実際人口との差異である純移動数を求め、その実際人口に対する比を移動率として算出具体的には、平成 22年→平成 27年、平成 23年→平成 28年、平成24年→平成29年、平成25年→平成30年、平成26年→平成31年の各5年間における移動率を求め、全体の平均値を移動率として採用。これを令和5年以降の移動率として仮定	同右	平成 20 (2008) 年と平成 25 (2013) 年の男女別年齢別人口を用いて、5年間の封鎖人口と実際人口との差異である純移動数を求め、その実際人口に対する比を移動率として算出。平成 26 (2014) 年以降の移動率として仮定 ※第1次総合計画後期基本計画策定時の値を踏襲
生残率	国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来人口(<u>平成30(2018)年推計</u>)」の本市の男女別年齢(5歳階級)別生残率の値		国立社会保障・人口問題研究所による「日本の市区町村別将来人口推計(<u>平成25(2013)年3月推計</u>)」の本市の男女別年齢(5歳階級)別生残率の値 ※第1次総合計画後期基本計画策定時の値を踏襲
出生率	本市の合計特殊出生率を 1.80 で固定で推移すると仮定して、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の市区町村別将来人口推計(平成30 (2018) 年推計)」の本市の子ども女性比を換算した率		本市の合計特殊出生率 <u>を 1.81 で固定</u> で推移すると仮定して、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の市区町村別将来人口推計(平成 25 (2013) 年 3 月推計)」の本市の子ども女性比を換算した率
出生性比	国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来人口(<u>平</u> 成30 (2018) 年推計」の本市の値	同右	国立社会保障・人口問題研究所による「日本の市区町村別将来人口推計(<u>平成25(2013)年3月推計</u>)」の本市の値 ※第1次総合計画後期基本計画策定時の値を踏襲
開発事業による人口増加	考慮なし	考慮なし	考慮なし

(2) 推計結果

①総人口

人口推計の基準年となる令和4(2022)年の人口が、現行計画の人口推計結果と比べて約900人少ないことから、推計期間中の人口は現行計画の人口推計結果を下回っています。しかし、市総人口のピークは現行計画の推計結果と同様、令和29(2047)年と見込まれ、人口は600人ほど少ない65,100人になると推計されます。また、基本計画の目標年次である令和10(2028)年には62,800人、基本構想の目標年次である令和20(2038)年には64,500人になると推計されます。

後期基本計画の計画期間において、様々な施策を講じることで人口の伸びを維持するものとし、 目標人口は変更しないものとします。

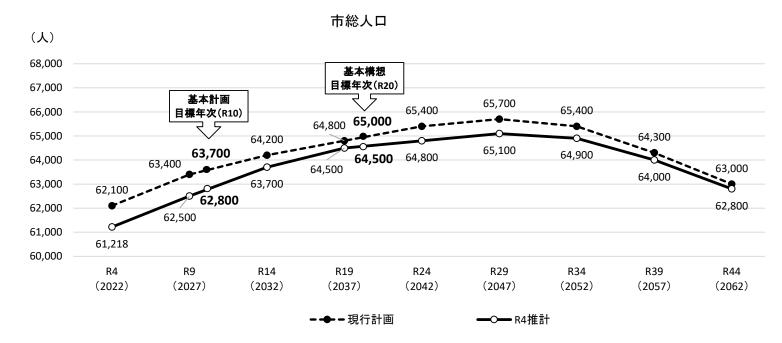
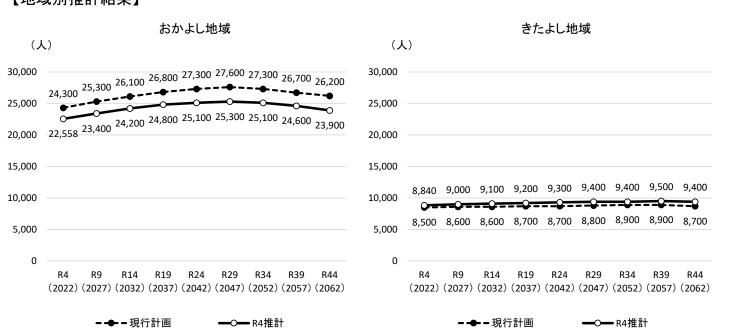


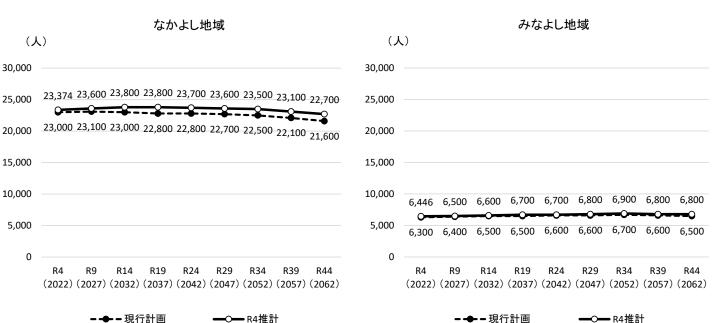
表 市全体 • 地域別推計結果

			基本計画 目標年次			基本構想 目標年次					
区分	R4	R9	R10	R14	R19	R20	R24	R29	R34	R39	R44
	(2022)	(2027)	(2028)	(2032)	(2037)	(2038)	(2042)	(2047)	(2052)	(2057)	(2062)
おかよし地域	22,558	23,478	23,635	24,265	24,810	24,886	25,187	25,361	25,162	24,607	23,901
総人口	22,000	(23,400)	(23,600)	(24,200)	(24,800)	(24,800)	(25,100)	(25,300)	(25,100)	(24,600)	(23,900)
きたよし地域	8,840	9,001	9,023	9,110	9,214	9,233	9,309	9,408	9,497	9,539	9,476
総人口	8,840	(9,000)	(9,000)	(9,100)	(9,200)	(9,200)	(9,300)	(9,400)	(9,400)	(9,500)	(9,400)
なかよし地域	23.374	23,675	23,703	23,814	23,819	23,803	23,740	23,671	23,502	23,198	22,711
総人口	23,374	(23,600)	(23,700)	(23,800)	(23,800)	(23,800)	(23,700)	(23,600)	(23,500)	(23,100)	(22,700)
みなよし地域	6.446	6,544	6,564	6,642	6,717	6,731	6,787	6,862	6,903	6,895	6,827
総人口 総人口	0,440	(6,500)	(6,500)	(6,600)	(6,700)	(6,700)	(6,700)	(6,800)	(6,900)	(6,800)	(6,800)
市総人口	61,218	62,698	62,925	63,831	64,560	64,653	65,023	65,302	65,064	64,239	62,915
口人恐怖山	01,210	(62,500)	(62,800)	(63,700)	(64,500)	(64,500)	(64,800)	(65,100)	(64,900)	(64,000)	(62,800)

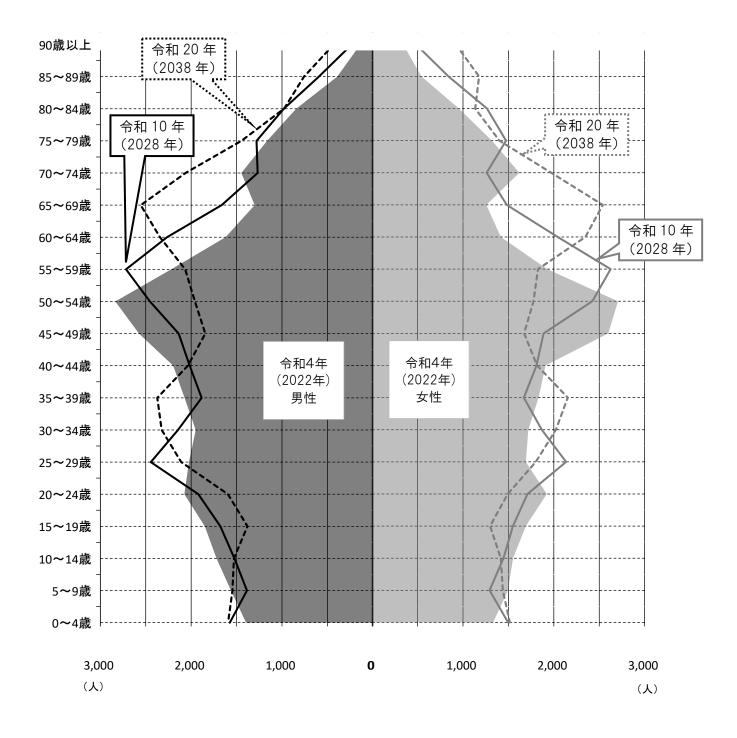
※表の上段は推計実数値、下段は10の位以下を切り捨てて100人単位でまるめた値です。 ※グラフは、現行計画の将来人口推計時と同様、100人単位でまるめた値を掲載しています。

【地域別推計結果】





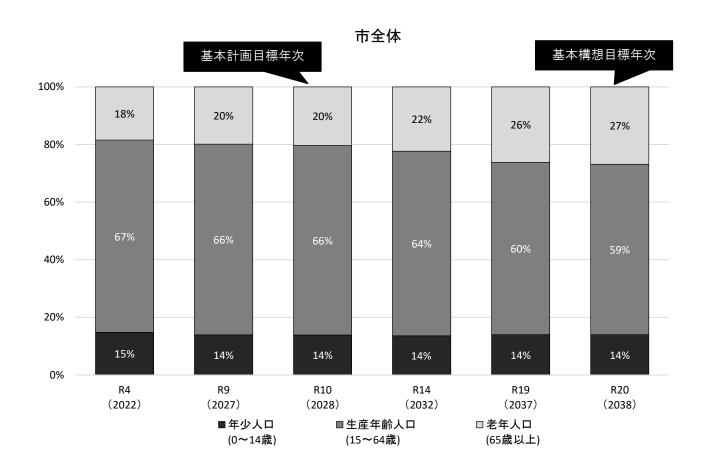
【5歳階級別人口ピラミッドの変化】



②年齢3区分別人口

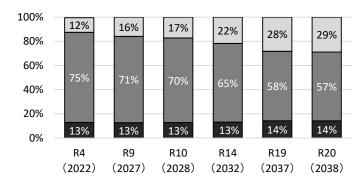
年齢3区分別人口については、今後、生産年齢人口の割合が低くなる一方で、老年人口の割合が高くなることが見込まれます。基本計画の目標年次である令和10(2028)年には老年人口は20%、基本構想の目標年次である令和20(2038)年には27%になると推計されます。

地域別では、おかよし地域において高齢化が急速に進展すると見られ、令和4(2022)年の老年人口が12%であるのに対し、令和20(2038)年には29%まで高まる見込みです。



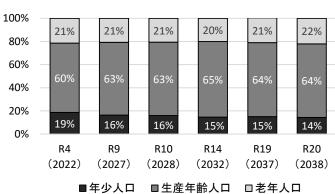
【地域別推計結果】

おかよし地域



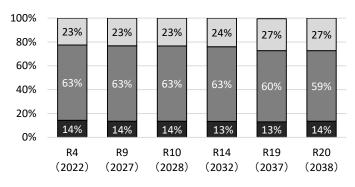
■年少人口 ■生産年齢人口 □老年人口 (0~14歳) (15~64歳) (65歳以上)

きたよし地域



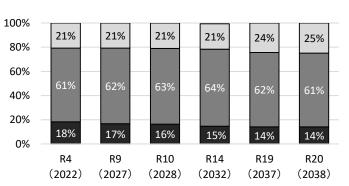
■年少人口 ■生産年齢人口 □老年人口 (0~14歳) (15~64歳) (65歳以上)

なかよし地域



■年少人口 ■生産年齢人口 □老年人口 (0~14歳) (15~64歳) (65歳以上)

みなよし地域



■年少人口 ■生産年齢人口 □老年人口 (0~14歳) (15~64歳) (65歳以上)

第2次みよし市総合計画後期基本計画策定のための 市民アンケート調査結果(概要版)

1 アンケート調査の概要

(1) 調査目的

第2次みよし市総合計画の基本計画が令和5 (2023)年度に中間年を迎えるにあたり、本市が実施している取組に対する市民の満足度や重要度、これからのまちづくりに対する市民の意識を把握し、後期基本計画の検討にあたっての基礎資料とすることを目的として、市民アンケートを実施しました。

(2) 調査概要

調査対象、調査方法等は以下のとおりです。

■調査概要

調査対象	18歳以上の市民から無作為に2,500人を抽出
調査方法	郵送による配布・回収(インターネット回答も併用)
	調査票配布後に礼状兼督促状を送付
調査時期	令和4(2022)年10月24日(月)~11月15日(火)
	※インターネット回答は 11 月 30 日(水)まで

(3) 回収状況

回収数、回収率は以下のとおりです。

■回収状況

配布数	回収数			回収率		
2,500		1,121			44.8%	
		内	郵送	761	30.4%	
		マンターネット		360	14.4%	

(4) 調査項目

第2次みよし市総合計画の取組の満足度及び重要度を把握するための質問と、定住に関する意識、まちづくりへの参加状況、今後のまちづくりに対するニーズ等を把握するための質問で構成しました。

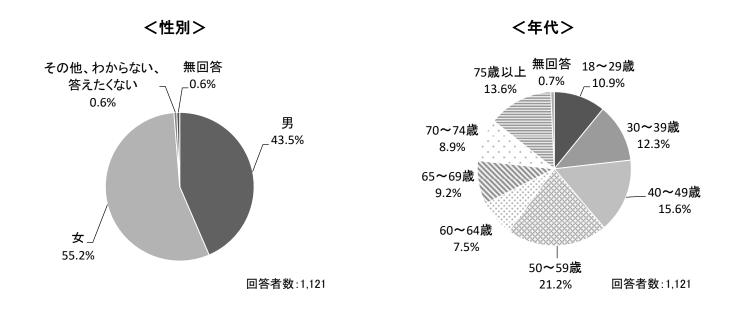
定住に関する意識及びまちづくりへの参加状況等、経年比較すべきものについては、前回(平成28(2016)年度)に実施した市民アンケート調査と同じ質問を設けることで、市民の意識の変化を把握します。

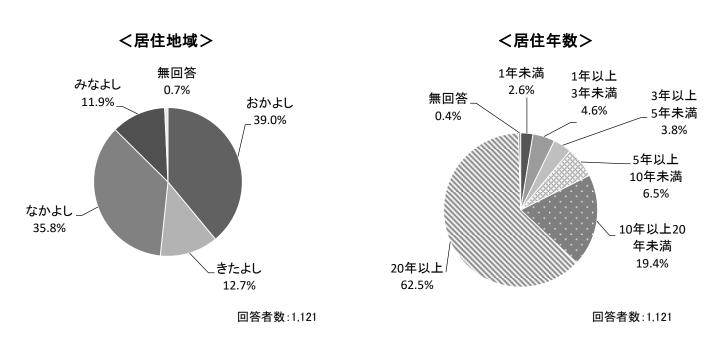
■調査項目

区分	質問	前回と比較するもの
属性	性別、年齢、家族構成、同居家族の中の子どもの有無、 同居家族の中の65歳以上の人の有無、住まいの地域、 居住年数	_
	みよし市の住みやすさ	0
定住に関する	住みやすいと回答した人のその理由	0
意識	住みにくいと回答した人のその理由	0
	今後の定住意向	0
取組の満足度及び	みよし市総合計画の認知度	_
重要度	みよし市の取組に対する現状の満足度、今後の重要度	_
今後のまちづ くりに対する	これからのみよし市の望ましい姿	0
ニーズ	「こんなまちにしたい」という願い	_
まちづくりへ	参加したことのあるまちづくり活動	0
の参加	今後、取り組めると思うまちづくり活動	0
	太陽光発電システムの設置状況	_
その他	スマートフォンの所有状況	_
-COJIE	行政手続きの電子申請の利用意向	_
	自由意見	_

2 回答者の主な属性

- ●性別は、男性43.5%、女性55.2%と女性の割合が高い。
- ●年代別では、50歳代、40歳代の占める割合が比較的高い。
- ●居住地域は、おかよし地域が39.0%、きたよし地域が12.7%、なかよし地域が35.8%、 みなよし地域が11.9%となっている。
- ●居住年数は、20年以上である人が62.5%と6割以上を占める。



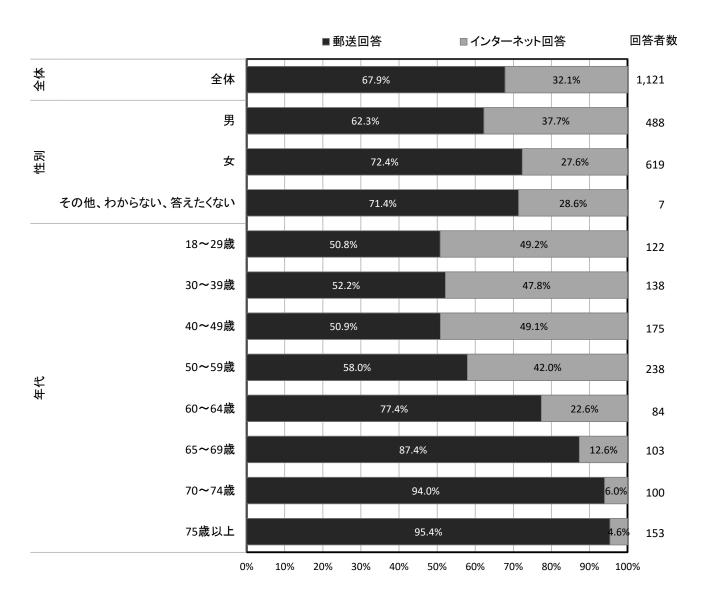


※小数点以下第2位を四捨五入しているため、集計値の合計は必ずしも100とならない場合があります (以下、同)。

【参考:回答方法】

- ●回答方法について見ると、全体の約7割は郵送で回答しており、3割がインターネット回答である。
- ●インターネット回答の割合は、男性が37.7%、女性が27.6%と、男性の方が若干高い。
- ●年代別では、40歳代以下では郵送回答とインターネット回答の割合はほぼ同程度であるが、50歳代以降は年齢が上がるにつれてインターネット回答の割合が低くなる。

<郵送回答・インターネット回答の状況>



3 調査結果

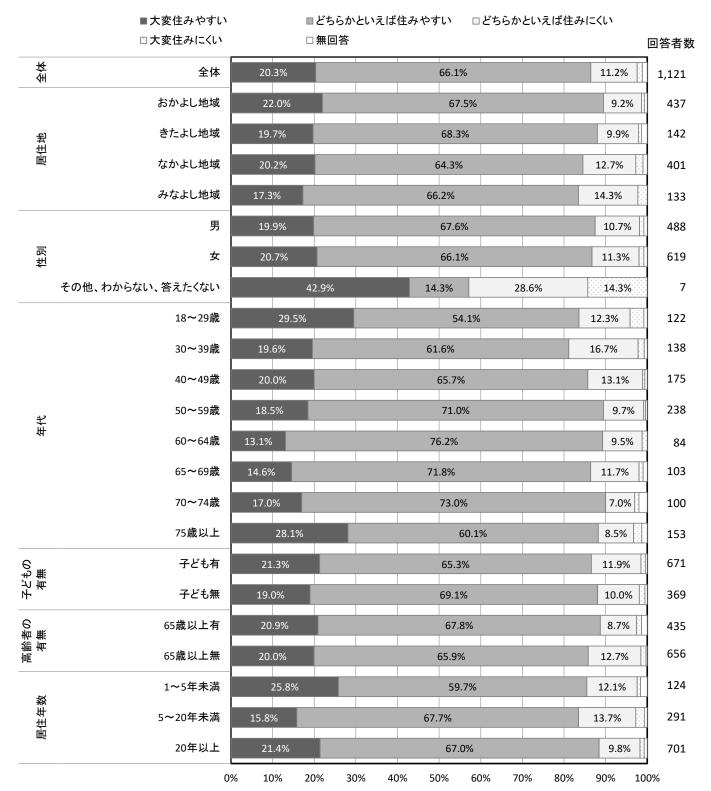
(1) みよし市の住みやすさ

質問 あなたはみよし市が住みやすい市だと思いますか。(1つに○)

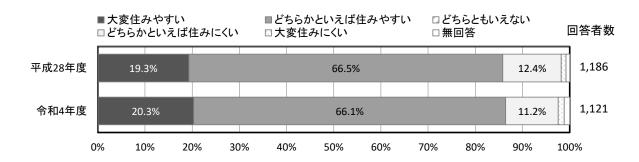
- ●みよし市が「大変住みやすい」と答えた人は、全体で20.3%を占めている。「どちらかといえば 住みやすい」と答えた66.1%を合わせると、86.4%がみよし市は住みやすい市であるとして いる。
- ●一方、「大変住みにくい」は1.2%で、「どちらかといえば住みにくい」と答えた11.2%と合わせても、みよし市を住みにくい市であると感じている人は12.4%にとどまっている。
- ●居住地別でみると、おかよし地域において、「大変住みやすい」と答えた人の割合が22.0%と最も高い。
- ●年代別でみると、18~29歳において、「大変住みやすい」と答えた人の割合が最も高く、29.5%となっている。
- ●居住年数別でみると、居住年数1~5年未満において、「大変住みやすい」と答えた人の割合が25.8% と最も高い。

【前回の結果との比較】

●前回(平成28年度)と比べ、「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた回答の割合が0.6ポイントと若干高くなっている。



■前回の結果との比較

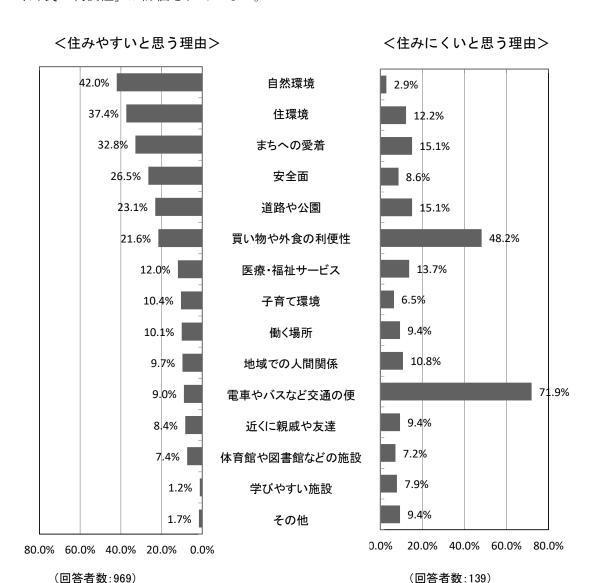


(2) 住みやすいと思う理由、住みにくいと思う理由

- 質問 「大変住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」とお答えになった方にお伺いします。 ・・・・・・ 住みやすいと思う理由を選び、3つまで番号に○をつけてください。
- ●住みやすいと思う理由としては、「自然環境が良い」(42.0%)の割合が最も高く、次いで「住環境が良い」(37.4%)となっている。
- ●住みにくいと思う理由としては、「電車やバスなど交通の便が悪い」(71.9%)の割合が最も高く、 次いで「買い物や外食が不便」(48.2%)となっている。

【前回の結果との比較】

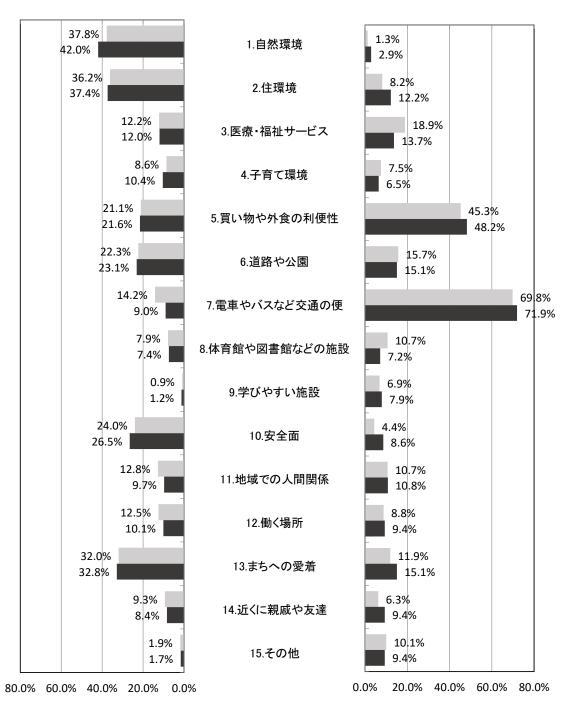
●前回同様、「自然環境」や「住環境」が評価されている一方で、「電車やバスなど交通の便」、「買い物 や外食の利便性」が評価されていない。



■前回の結果との比較

<住みやすいと思う理由>

<住みにくいと思う理由>



■平成28年度

回答者数:1,018(平成 28 年度) 回答者数: 969(令和 4 年度)

回答者数:159(平成 28 年度) 回答者数:139(令和 4 年度)

<住みやすいと思う理由(上位5回答)>

■全体

	全体(上位5回答) (回答者数:969	9)
1	自然環境が良い	42.0%
2	住環境が良い	37.4%
3	住みなれていて愛着がある	32.8%
4	まちが安全・安心である	26.5%
5	道路や公園が整っている	23.1%

■居住地別

ŧ	おかよし地域(上位5回答) (回答者数						
1	住環境が良い		48.3%				
2	自然環境が良い		47.3%				
3	道路や公園が整っている		36.3%				
4	まちが安全・安心である		28.6%				
⑤	住みなれていて愛着がある		23.3%				

힏	たよし地域(上位5回答) (回答者数	:125)
1	自然環境が良い	44.8%
2	住みなれていて愛着がある	32.8%
3	買い物や外食が便利	32.0%
4	住環境が良い	30.4%
⑤	まちが安全・安心である	24.0%

なかよし地域(上位5回答) (回答者数:39					
1	住みなれていて愛着がある	41.6%			
2	自然環境が良い	35.4%			
2	買い物や外食が便利	35.4%			
4	住環境が良い	32.4%			
⑤	まちが安全・安心である	24.8%			

みなよし地域(上位5回答) (回答者数:339					
1	自然環境が良い	41.4%			
2	住みなれていて愛着がある	39.6%			
3	まちが安全・安心である	27.9%			
4	住環境が良い	22.5%			
⑤	働く場所がある	18.9%			

<住みにくいと思う理由(上位5回答)>

	全体(上位5回答) (回答者数:139)	
1	電車やバスなど交通の便が悪い	71.9%
2	買い物や外食が不便	48.2%
3	道路や公園が整っていない	15.1%
3	愛着がない	15.1%
⑤	医療・福祉サービスが充実していない	13.7%

	おかよし地域(上位5回答) (回答者数:22))
1	買い物や外食が不便	72.1%
2	電車やバスなど交通の便が悪い	51.2%
3	愛着がない	16.3%
4	医療・福祉サービスが充実していない	14.0%
⑤	道路や公園が整っていない	11.6%
⑤	体育館や図書館などの施設が充実していない	11.6%

	きたよし地域(上位5回答) (回答者数:15)	
1	電車やバスなど交通の便が悪い	66.7%
2	買い物や外食が不便	40.0%
3	その他	26.7%
4	住環境が良くない	20.0%
4	道路や公園が整っていない	20.0%

	なかよし地域(上位5回答) (回答者数:43))
1	電車やバスなど交通の便が悪い	81.0%
2	買い物や外食が不便	32.8%
3	医療・福祉サービスが充実していない	19.0%
4	住環境が良くない	13.8%
4	親戚や友人があまり住んでいない	13.8%

	みなよし地域(上位5回答) (回答者数:58))
1	電車やバスなど交通の便が悪い	90.9%
2	買い物や外食が不便	50.0%
3	道路や公園が整っていない	27.3%
4	地域での人間関係が良くない	22.7%
(5)	学びやすい施設がそろっていない	18.2%
(5)	愛着がない	18.2%

- ●おかよし地域では「道路・公園の整備」が評価されている一方、きたよし地域、みなよし地域では評価が低い。
- ●「交通の便」や「買い物や外食の利便性」については、全ての地域で総じて評価が低い。「買い物や外食の利便性」は、おかよし地域とみなよし地域で特に評価が低い。
- ●みなよし地域においてのみ、「働く場所がある」が住みやすいと思う理由の上位 5 回答に含まれている。

(3) 今後の居住意向

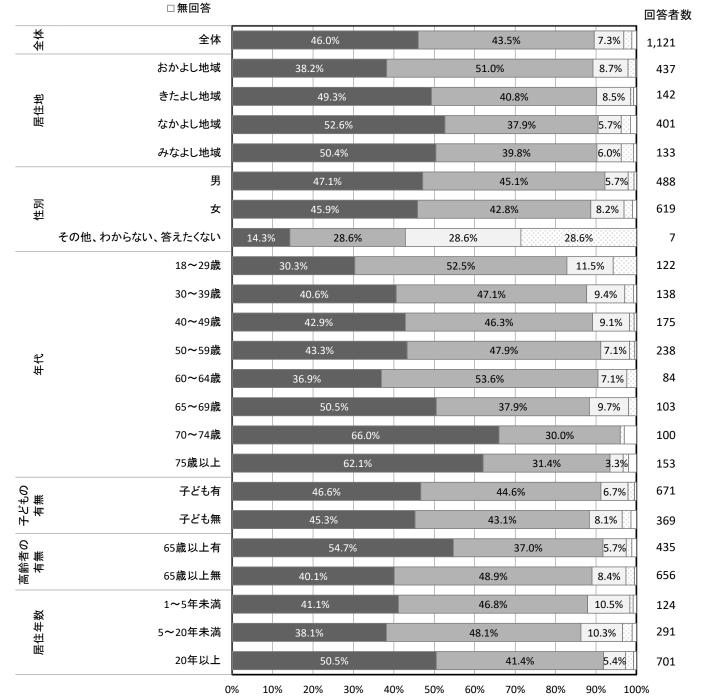
質問 あなたは今後もみよし市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- ●みよし市に「今後も住み続けたい」と答えた人は、全体で46.0%を占めている。「どちらかといえば住み続けたい」と答えた43.5%を合わせると、89.5%が住み続けたいとしている。
- ●「どちらかというと住み続けたくない」は7.3%にとどまっている。
- ●居住地別にみると、「今後も住み続けたい」と回答した人の割合は、なかよし地域が52.6%と最も高い。一方、おかよし地域においては38.2%と最も低くなっている。
- ●年代別でみると、70歳以上で「今後も住み続けたい」と回答した人が6割以上の多数を占めている。
- ●居住年数別でみると、居住年数20年以上において「今後も住み続けたい」と答える人の割合が最 も高くなっている。

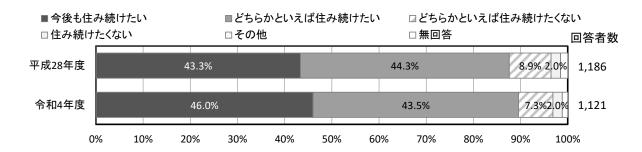
【前回の結果との比較】

●「今後も住み続けたい」と回答した人の割合が、2. 7ポイント上昇している。

■今後も住み続けたい ■どちらかといえば住み続けたい □どちらかといえば住み続けたくない □住み続けたくない



■前回の結果との比較



6

(4) みよし市総合計画の認知度

質問 あなたは、「みよし市総合計画」を知っていますか。(1つに○)

- ●「みよし市総合計画」を「知らない」と回答した人の割合が48.1%と最も高い。次いで、「計画があることは知っているが、内容までは知らない」が35.3%、「関心のある分野の内容のみ知っている」が9.3%、「内容を知っている」が3.5%となっている。
- ●年代別にみると、「関心のある分野の内容のみ知っている」と「内容を知っている」を合わせた回答(計画内容の認知度)は、65~69歳で19.4%と最も高く、次いで40~49歳と70~74歳の16.0%となっている。18~29歳の認知度が最も低く4.1%となっている。

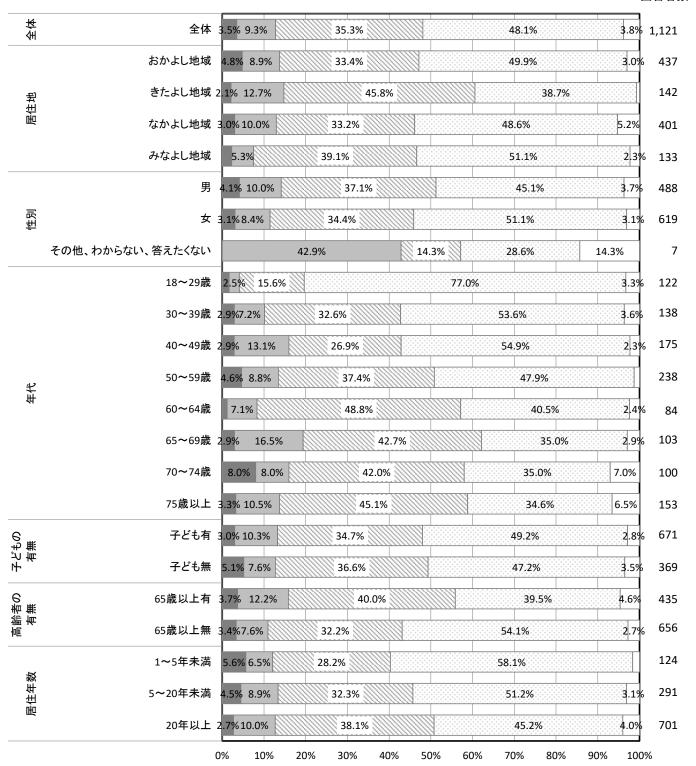
■内容を知っている

■関心のある分野の内容のみ知っている

□計画があることは知っているが、内容までは知らない □知らない

□無回答

回答者数



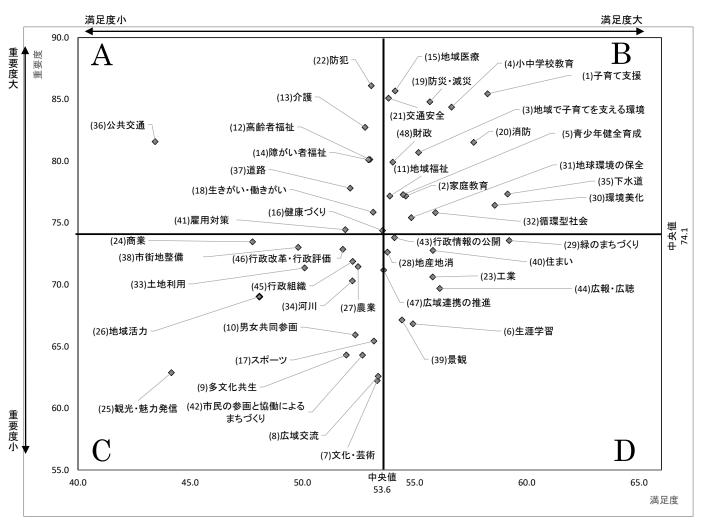
7

(5) みよし市の取組の満足度と重要度について

質問 みよし市が実施する取組について、あなたが現状でどれくらい満足しているか、また、あなた が今後どれくらい重要と考えているか、をお聞きします。

総合計画に定める次の施策及び取組分野について、「現状の満足度」、「今後の重要度」の回答欄からあなたの考えに最も近いものをそれぞれ一つずつ選んで〇をつけてください。

●回答の集計データをもとに満足度指数及び重要度指数を算出したところ、満足度が低く、重要度の高い取組(下図の A のエリア)としては、主に福祉・介護・道路・交通面に関する取組が多くなっている。中でも「公共交通の充実」の満足度が最も低い。



【区分】

- A:最も課題のある取組であり重点的に推進すべき
- B:継続的に市民の満足度を得られるよう取組を推進すべき
- C:課題のある施策であり必要性を検証し取組を推進すべき
- D:一定の成果が得られており、継続の必要性を検証すべき

【満足度指数・重要度指数の算出方法】

満足度指数=満足(%)^{※1}×100+どちらかといえば満足(%)×66.7+普通(%)×50.0

+どちらかといえば不満(%)×33.3+不満(%)×0

重要度指数=重要(%)※2×100+どちらかといえば重要(%)×66.7

+どちらかといえば重要でない(%)×33.3+重要でない(%)×0

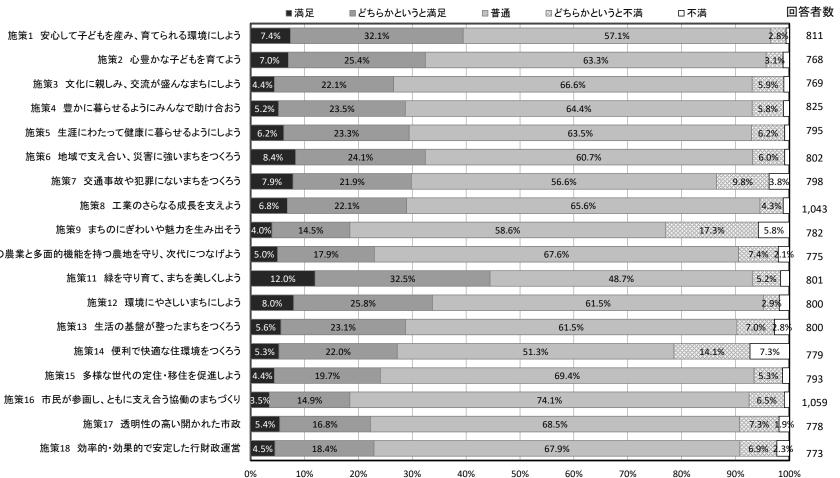
※1満足(%):「満足」と回答した人の回答率。ただし、「無回答」を除く合計サンプル数を分母とする。

※2 重要(%):「重要」と回答した人の回答率。ただし、「わからない」「無回答」を除く合計サンプル数を分母とする。

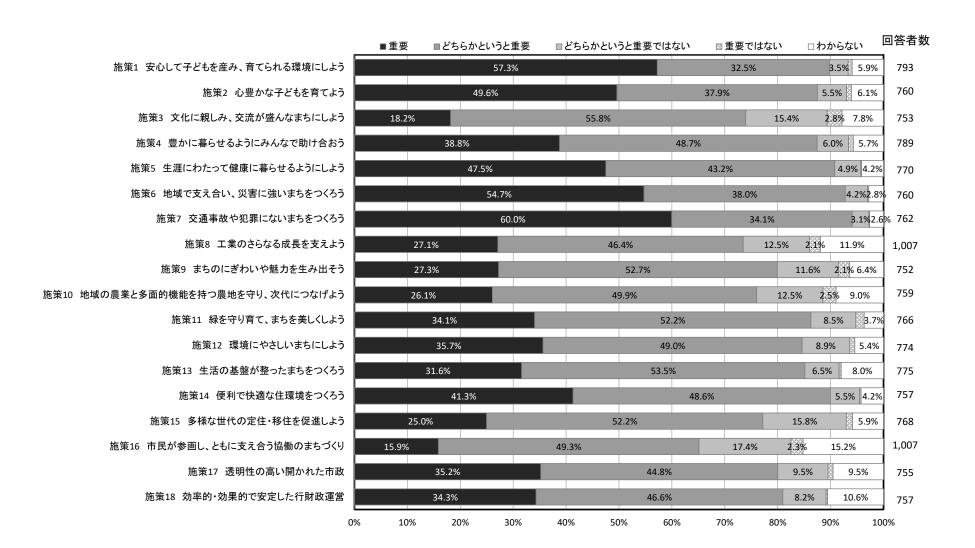
■取組の満足度指数・重要度指数

区分	取組	満足度	満足度		Ę
四月	4X 朴丘	満足度指数	順位	重要度指数	順位
_	(12)高齢者福祉	53.0	31	80.1	11
A	(13)介護	52.8	33	82.7	7
	(14)障がい者福祉	52.9	32	80.1	12
①満足度:中央値未満	(16)健康づくり	53.6	25	74.4	24
重要度:中央値以上	(18)生きがい・働きがい	53.2	29	75.9	20
9施策	(22)防犯	53.1	30	86.1	1
	(36)公共交通	43.4	48	81.6	8
	(37)道路	52.1	39	77.8	14
	(41)雇用対策	51.9	41	74.4	23
	(1)子育て支援	58.3	4	85.4	3
	(2)家庭教育	54.6	15	77.2	18
D	(3)地域で子育てを支える環境	55.2	12	80.7	10
B	(4)小中学校教育	56.6	6	84.4	6
	(5)青少年健全育成	54.5	16	77.3	16
	(11)地域福祉	53.9	21	77.2	17
②満足度:中央値以上 重要度:中央値以上	(15)地域医療	54.1	18	85.7	2
里安皮: 中天他以上 	(19)防災・減災	55.7	11	84.8	5
15施策	(20)消防	57.6	5	81.5	9
	(21)交通安全	53.8	22	85.1	4
	(30)環境美化	58.6	3	76.4	19
	(31)地球環境の保全	54.9	14	75.4	22
	(32)循環型社会	55.9	8	75.8	21
	(35)下水道	59.1	2	77.3	15
	(48)財政	54.0	20	79.9	13
	(7)文化•芸術	53.3	27	62.2	48
	(8)広域交流	53.4	26	62.6	47
	(9)多文化共生	52.0	40	64.3	44
\mathbf{C}	(10)男女共同参画	52.4	36	65.9	42
	(17)スポーツ	53.2	28	65.4	43
	(24)商業	47.8	46	73.5	27
③満足度:中央値未満	(25)観光・魅力発信	44.2	47	62.9	46
重要度:中央値未満	(26)地域活力	48.1	45	69.0	39
15施策	(27)農業	52.5	35	71.5	33
	(33)土地利用	50.1	43	71.4	34
	(34)河川	52.2	38	70.3	37
	(38)市街地整備	49.8	44	73.0	28
	(42)市民の参画と協働によるまちづくり	52.7	34	64.3	45
	(45)行政組織	52.2	37	71.9	32
	(46)行政改革·行政評価	51.8	42	72.9	29
D	(6)生涯学習	54.9	13	66.8	41
D	(23)工業	55.8	10	70.6	36
	(28)地産地消	53.8	23	72.6	31
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	(29)緑のまちづくり	59.2	1	73.6	26
重要度:中央値未満	(39)景観	54.4	17	67.1	40
 9施策	(40)住まい	55.8	9	72.8	30
المرادات	(43)行政情報の公開	54.1	19	73.8	25
	(44)広報・広聴	56.1	7	69.7	38
	(47)広域連携の推進	53.6	24	71.2	35

施策1 安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう 施策全体の満足度 施策2 心豊かな子どもを育てよう 施策3 文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう 施策4 豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう 施策5 生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう 施策6 地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう 施策7 交通事故や犯罪にないまちをつくろう 施策8 工業のさらなる成長を支えよう 施策9 まちのにぎわいや魅力を生み出そう 施策10 地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう 施策11 緑を守り育て、まちを美しくしよう 施策12 環境にやさしいまちにしよう 施策13 生活の基盤が整ったまちをつくろう 施策14 便利で快適な住環境をつくろう 施策15 多様な世代の定住・移住を促進しよう



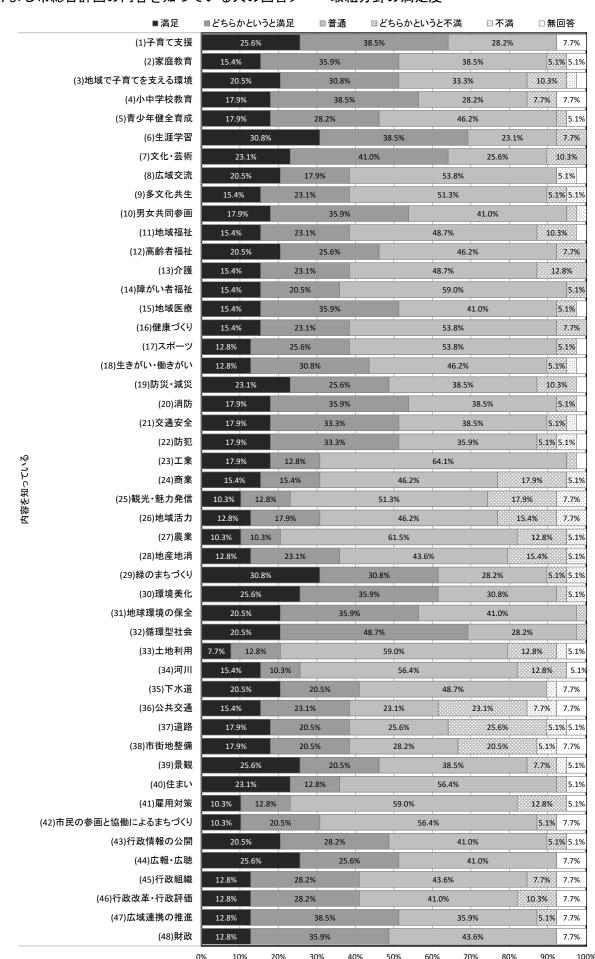
施策全体の重要度



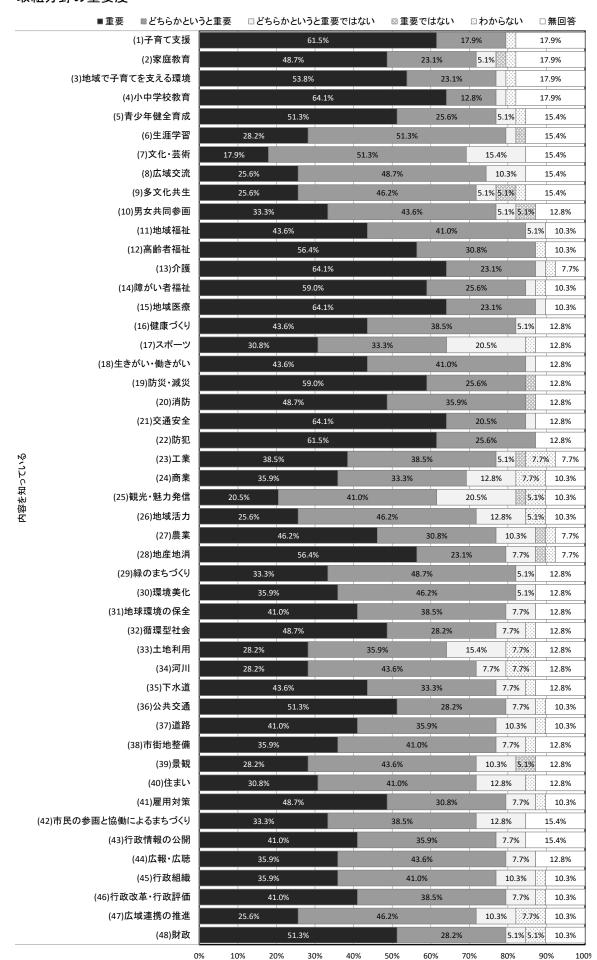
※施策8、施策16は、施策に紐づけられる取組分野が一つであるため、 それぞれの取組分野の満足度・重要 度の結果を示しています。

■総合計画の認知度と施策の満足度・重要度の関係

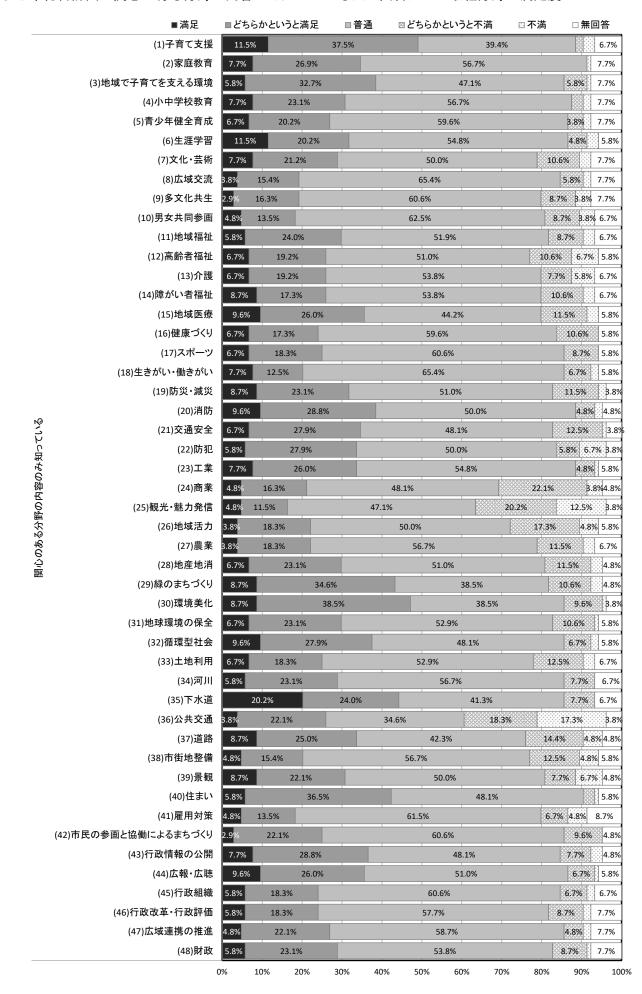
くみよし市総合計画の内容を知っている人の回答> 取組分野の満足度



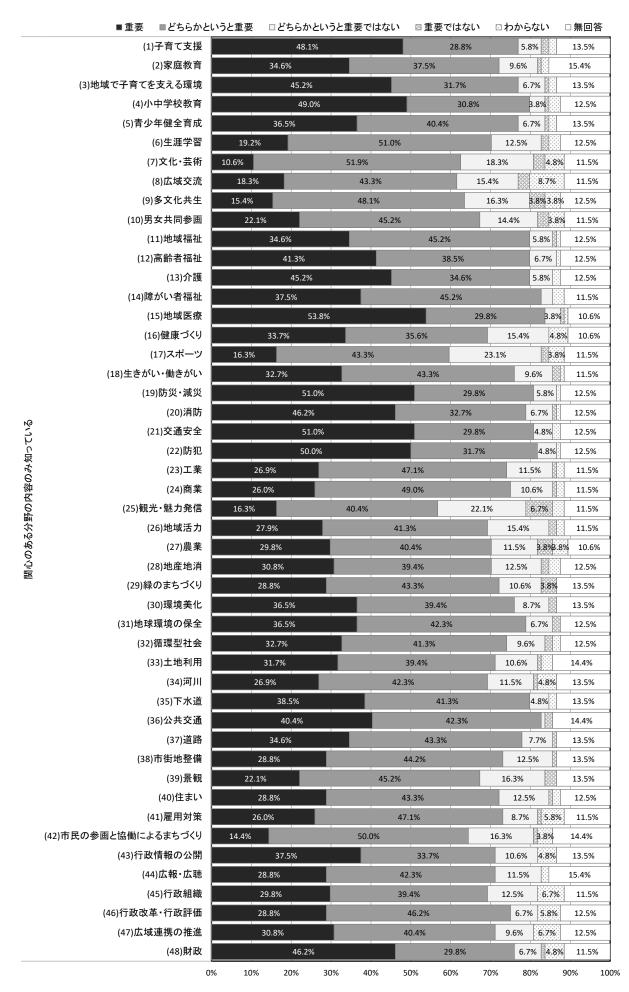
取組分野の重要度



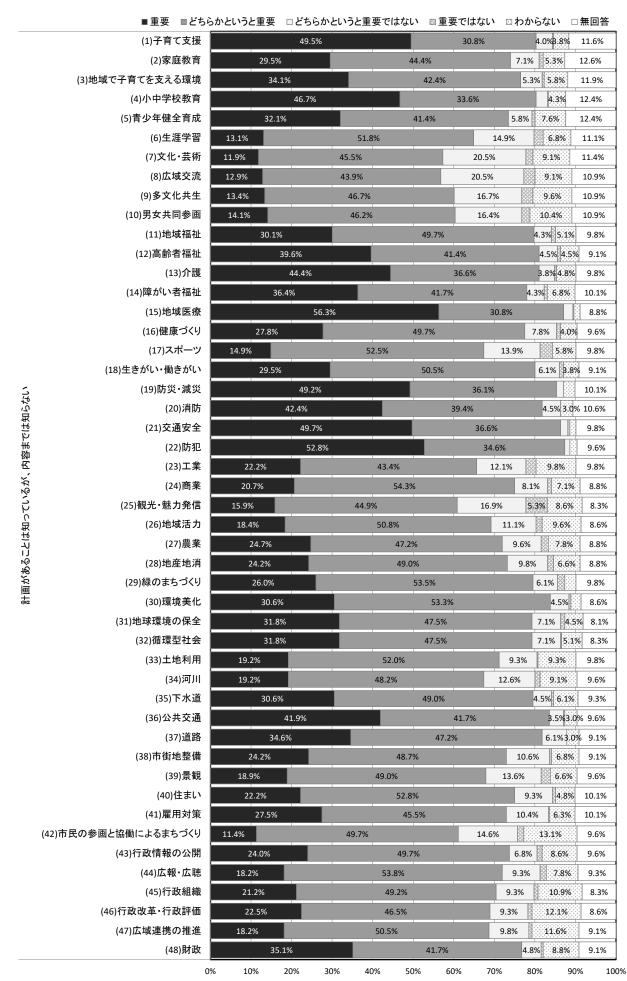
<みよし市総合計画の関心のある分野の内容のみ知っている人の回答> 取組分野の満足度

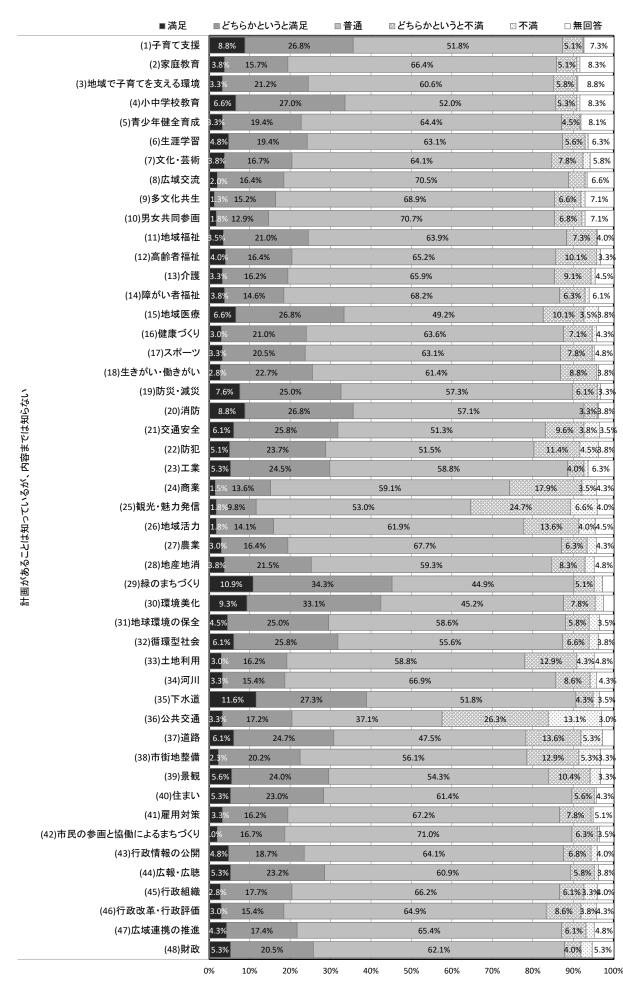


取組分野の重要度 回答者数:104



取組分野の重要度



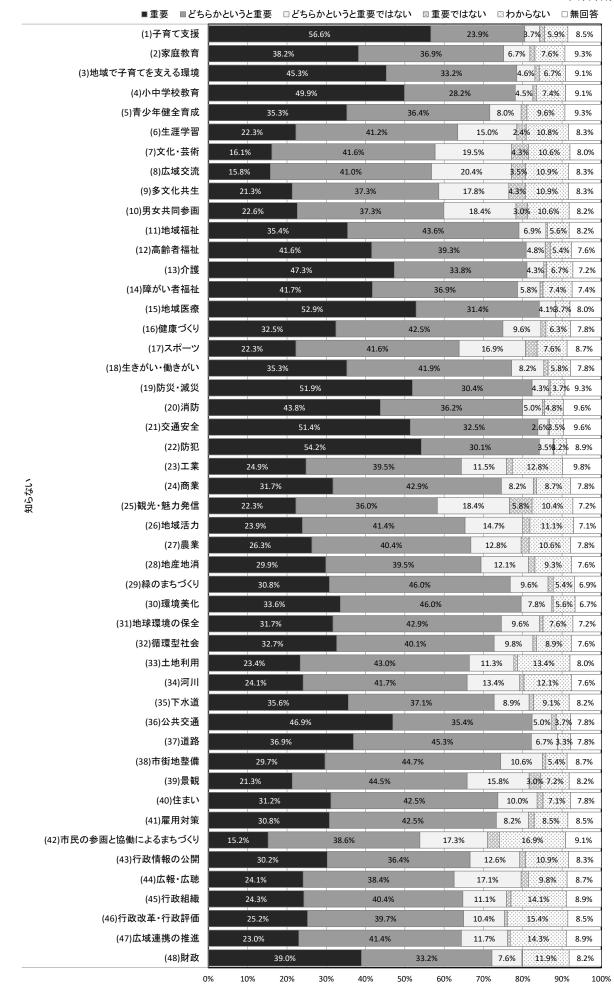


<みよし市総合計画を知らない人の回答> 取組分野の満足度

	(1)子育て支援	8.2%		21.9%			55.3	%	3.3%	9	9.1%
	(2)家庭教育	5.0%	15.0%				65.1%		3.79	9	9.6%
	(3)地域で子育てを支える環境	5.4%	19.1	1%			60.3%		4.89	9	9.1%
	(4)小中学校教育	7.1%		22.4%			54.79	6	3.9%	9	9.5%
	(5)青少年健全育成	4.3%	17.1%				63.6%		3.7%	9	9.6%
	(6)生涯学習	4.8%	13.7%				68.3%		4.	5%	7.2%
	(7)文化·芸術	4.3%	14.5%				64.9%		6.3%		8.0%
	(8)広域交流	4.3%	13.2%				67.2%		5.9	8	8.7%
	(9)多文化共生	3.7%	10.9%				66.4%		8.7%	9	9.3%
	(10)男女共同参画	3.7%	9.6%				70.9%		6.59	8	8.9%
	(11)地域福祉	4.5%	17.6%	ó			66.2%		1 1	4.8%	4.6
	(12)高齢者福祉	4.6%	15.6%				66.0%		6	.7%	5.0
	(13)介護	4.8%	13.4%				68.1%		5.	6%	6.19
	(14)障がい者福祉	4.3%	13.4%				67.9%		5.0	% 2.8%	 % 6.7
	(15)地域医療	5.9%	19.	.9%			56.2%		10.6	% 3 29	%4.3
	(16)健康づくり	4.5%	14.8%				67.5%		5	.9%	5.49
	(17)スポーツ	4.6%	13.7%				64.6%		7.6%	2.8%	6.7%
	(18)生きがい・働きがい	4.6%	15.6%				62.9%		8.55		5.89
	(19)防災・減災	5.8%	20.	.4%			61.0%	6		7.1%	4.1
	(20)消防	8.2%	1	.8.4%			63.:	8%	×	4.1%	5.0
	(21)交通安全	6.9%	17.	.6%			59.0%		8.3	% 4 .3%	584
	(22)防犯	7.1%	16.9	9%			58.1%		1000000	B.99	201
	(23)工業	6.3%	17.8	8%			64.2%		10000000	2%	1
<u>;</u>	(24)商業	3.0%	12.6%			53	3.4%			XXXXI	-1
知らない	(25)観光・魅力発信	2.2%8.0				50.8%		2	000000000000000000000000000000000000000		5.49
#K	(26)地域活力	2.2%9.					.2%	100000000000000000000000000000000000000		5.8%	1
	(27)農業	5.4%	15.6%	6			62.9%		6.79	62.8%	6.7%
	(28)地産地消	6.5%	17.1	1%			61.4%		6.1	0001-11	6.5%
	(29)緑のまちづくり		.1%		27.5%			49.9%		3.9%	
	(30)環境美化	10.9	_		28.8%			49.5%		4.3%	201
	(31)地球環境の保全	6.3%	_	0.0%			60.3%			.9%	4.8
	(32)循環型社会	7.4%	_	21.2%			58.8		1000	.4%	4.6
	(33)土地利用		11.7%				62.3%		E0000000000000000000000000000000000000	3.2%	501
	(34)河川	4.3%	11.5%				67.7%		P0000000000000000000000000000000000000	3.2%	
	(35)下水道	10.9	_	19.9	1%			8.8%	1000000	3.0%	
	(36)公共交通	5.2%	12.8%	15.5	,,,,	37.8%		24.3%			3.9
	(30) 4 八 八 進	6.9%		9.7%		37.070	49.9%	21.30	13.0%	M	6 4.6
	(38)市街地整備	5.0%	16.7%				51.4%			5.7%	1
	(39)景観	7.8%	_	20.0%			57.1%	4		2%3.2%	
	(40)住まい	7.8%	_	21.3%			57.1%		5000	2%3.27 7%	5.29
	(41)雇用対策		12.2%	.1.5%				70	10000	000001:23	-:1
14	(41)雇用対象 (41)市民の参画と協働によるまちづくり	4.3% 3.9%	10.0%				63.8%		9.8%	8888111	
(4	(43)行政情報の公開						73.3%		6.7	20031-1 20041-1	6.5%
		5.2%	13.2%	7.004			66.4%		10000	0001-1	6.7%
	(44)広報・広聴	7.6%		7.8%			61.0%		1000000	XXXXXIII XXXXXI	6.9%
	(45)行政組織	4.3%	11.3%				67.7%		6.5%	9000	7.4%
	(46)行政改革・行政評価	4.1%	11.3%				67.9%		6.7%	89004 88604	7.4%
	(47)広域連携の推進	4.6%	14.5%				66.4%		5.2	%	7.4%

取組分野の重要度

回答者数:539



(6) みよし市の将来都市像について

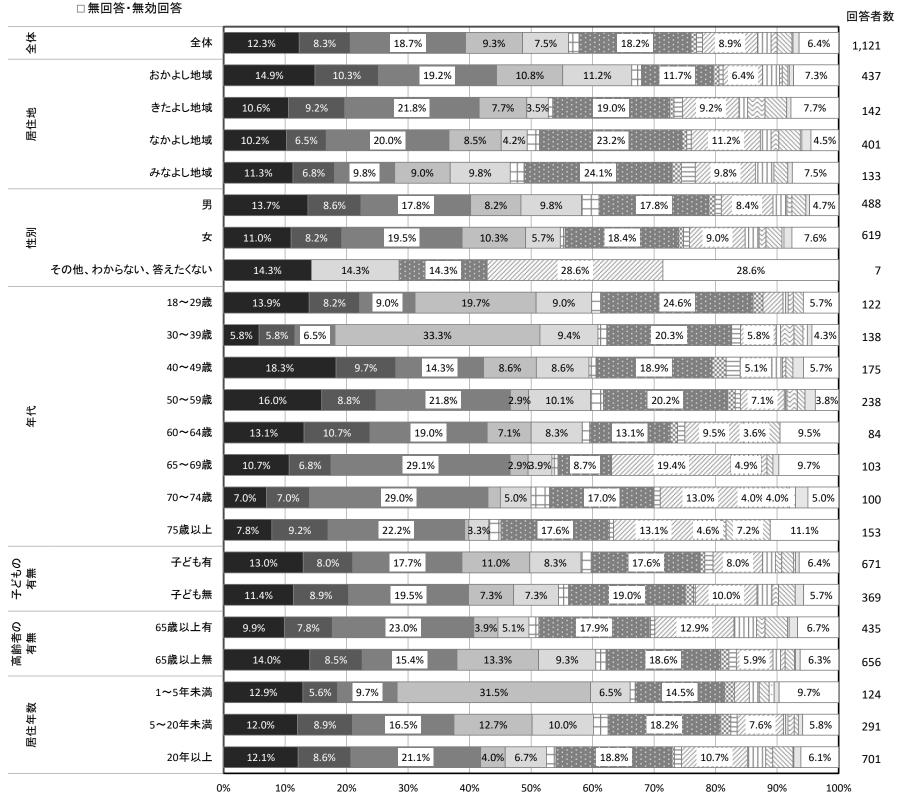
質問 あなたはこれからのみよし市がどのような姿になったら 良いと思いますか。(1つに○)

- ●全体的に、「医療・福祉サービスが充実している」、「電車や バスなど交通の便が良い」ことを望む回答の割合が高くな っている。
- ●年代別でみると、30歳代で「子育てがしやすい」こと、 20歳代で「電車やバスなど交通の便が良い」こと、65 歳以上で「医療・福祉サービスが充実している」ことを望 む回答の割合が比較的高くなっている。

- ■自然環境が良い
- ■子育てがしやすい
- ■電車やバスなど交通の便が良い
- 図まちが安全・安心である
- ∞住みなれていて愛着がある

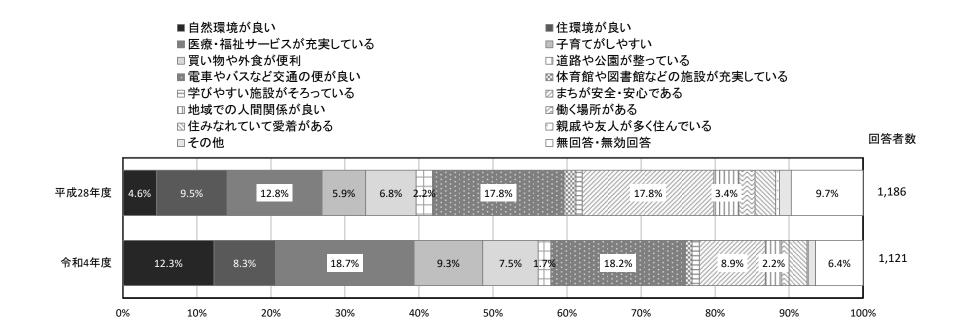
- ■住環境が良い
- □買い物や外食が便利
- ■体育館や図書館などの施設が充実している
- □地域での人間関係が良い
- □親戚や友人が多く住んでいる

- 医療・福祉サービスが充実している
- □道路や公園が整っている
- □学びやすい施設がそろっている
- ☑ 働く場所がある
- □その他



■前回の結果との比較

- ●前回と比べて、回答の割合が大きく上昇しているのが、「自然環境が良い」で7.7ポイント、「医療・福祉サービスが充実している」で5.9ポイント増えている。
- ●一方、回答の割合が大きく減っているのが、「まちが安全・安心である」で8.9ポイントと顕著に減少している。



(7) 「こんなまちにしたい」という願い

質問 これからのみよし市を「こんなまちにしたい」というあなたの願いを自由にお書きください。

<主な回答>

分類	回答
	・子どもが遊べる場所がたくさんあるまちになったらいい(30~39歳/おかよし)
	・共働きでも子育てしやすい環境(18~29 歳/なかよし)
	・ネウボラが市民全員に知られるまち(60~64 歳/なかよし)
	・子育てのしやすさ(医療費、公園環境、制度)が整っていてほしい(18~29 歳/きたよし)
	・子育てしている人が孤立しない。保護者だけでなく、みんなで子育てするんだという考え
①子育て・教	を持ったまち(40~49 歳/なかよし)
育・青少年	・いじめ対策、不登校者対策の強化(75 歳以上/おかよし)
	・IT、語学に特化した教育の充実(40~49歳/みなよし)
	・子どもが教育を受ける際、色々な選択肢の中から選べるようになるといい(40~49 歳/なかよし)
	・子どもがのびのびと成長できるまちにしたい(40~49 歳/きたよし)
	・子どもたちにとって「ここで育ってよかった」と思えるまちにしたい(40~49 歳/なかよし)
	・生涯学習などで、年齢は関係なく、新しいことを学ぶ楽しさをもっと増やしてほしい(50~59歳/おかよし)
②生涯学習・文	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
化・芸術・交	~59 歳/みなよし)
流・男女共同	・年齢・性別・国籍関係なく、文化に触れることができるまち(30~39 歳/きたよし)
参画	・異なる年齢、異なる性別、国の違いがなく交流できるまち(60~64 歳/なかよし)
	・自由な表現を楽しみ、みんなで喜びを共感できる(30~39歳/なかよし)
	・一つの施設で幼児からお年寄りまで一緒に生活できる場所があったらいいです(70~74歳/なかよし)
	・身体が不自由になっても、不自由なく安心して住めるまち(30~39 歳/きたよし)
③福祉・介護・	│ ・介護される側も介護する側も笑顔で毎日暮らせるサポート体制が構築されたまちにしたい
医療・健康・	(40~49 歳/なかよし)
生きがい	・介護のために退職しなくても良いまちになれば(40~49歳/きたよし)
	・北部の医療の充実に取り組む(40~49歳/おかよし)
	・市民が気軽に利用できるスポーツ施設、健康体操のあるまち(50~59 歳/みなよし)
	・高齢者も趣味を持ち、元気に暮せるまちにしたい(70~74歳/きたよし)
	・大雨のとき境川の氾濫が心配です(木草汚泥が多く流れが悪い)。これからも水害のない
	まちになったらいい(75 歳以上/なかよし)
(4)防災・交通・	・成果が出る交通安全教室を行い、事故のないまちに(65~69歳/なかよし)
防犯	・女性が夜道を歩いても不安じゃない、街灯やパトロールが多いまち。災害が起きたとき、
בוג נעו	町の人々が何をすれば命が助かるか、行動できるまち、多くの命が助かるまち(18~29 歳
	/おかよし)
	・一人暮らしの方が孤立しないように声掛けできるまちにしたい(65~69歳/おかよし)

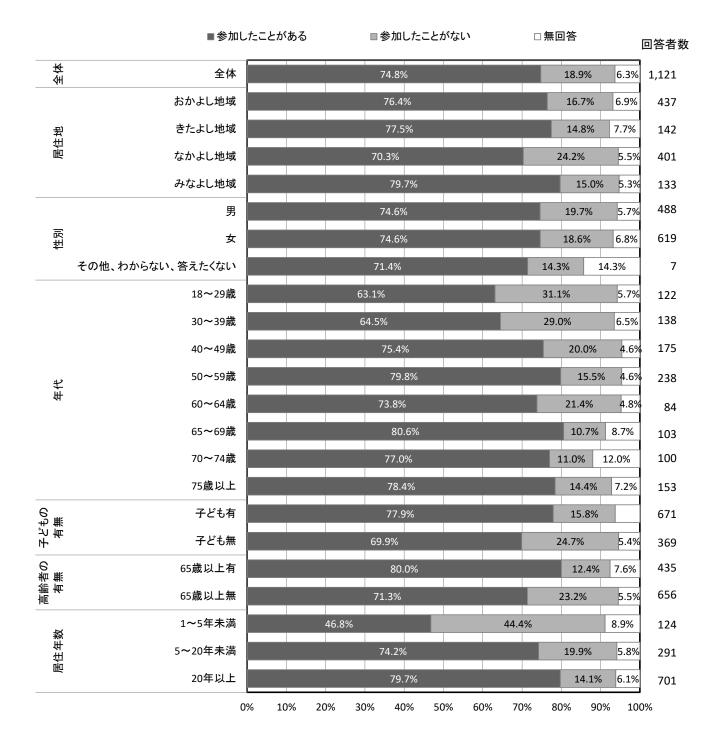
分類	回答
⑤工業・商業・農 業・観光	・次世代産業の誘致と育成、働く場の確保(50~59歳/おかよし) ・せっかくならみよしで買い物してみよしに貢献したい(30~39歳/みなよし) ・魅力的なお店(特に飲食店)が増えると、活気のあるまちになると思う(40~49歳/きたよし) ・学生が学校の帰りに遊べる商業施設があると良いのではないか(18~29歳/おかよし) ・農業を大切にするまち。地産地消を推進するまち。地産地消はCO ₂ 削減にも役立つので(40~49歳/なかよし) ・このまちならではの観光の強みを持ち、市民が老若男女問わず誇りに思えるまちにしたい(60~64歳/おかよし)
⑥自然環境・地球 環境・緑のまち づくり	・建物と自然が共生するまちづくりをお願いしたいです(18~29歳/おかよし) ・カーボン・ニュートラルの推進・実現(65~69歳/おかよし) ・みよし池はとてもいい所だと思う。若者や老人を歩いたり、ランニングできたりするのでこれからも大切に守っていってほしい(40~49歳/なかよし) ・リサイクル分別によりごみの削減、資源を大切にしたい(65~69歳/おかよし) ・子どもがたくさん緑にふれあえる。そんなまちでいてほしい(30~39歳/なかよし)
⑦公共交通・河 川・道路・景 観・住まい	 ・免許返納してからの生活が不安です。気軽に使える乗り合いタクシーを検討してほしい (50~59歳/みなよし) ・赤池や三好ヶ丘までの駅に簡単に行ける手段がほしい(30~39歳/なかよし) ・高齢の方、車の運転をしない方でも、気軽に出かけられるようにしたい(60~64歳/おかよし) ・境川上流の美化対策(65~69歳/きたよし) ・安全に登下校できる通学路の整備(65~69歳/みなよし) ・景観、道路の環境が損なうことのないようなまちにしたい(30~39歳/なかよし) ・空き家・空き地が管理・整備され、子どもにとって危険な場所の少ないまち(30~39歳/きたよし)
⑧市民参画・その 他	・いつ、どこでも市民は自由に意見を発信できるまち(60~64歳/おかよし) ・市民で取り組めることが増えるとよい(18~29歳/なかよし) ・地域で気軽に参加できるイベント企画(50~59歳/きたよし) ・地域交流を多くしたい(75歳以上/みなよし)

(8) 参加したことのあるまちづくり活動について

質問 みよし市では、市民と行政の協働によるまちづくりを推進しています。次のうち、あなたが参加したことがある活動について、該当するものすべてを選んで番号に〇をつけてください。

<まちづくり活動への参加の有無>

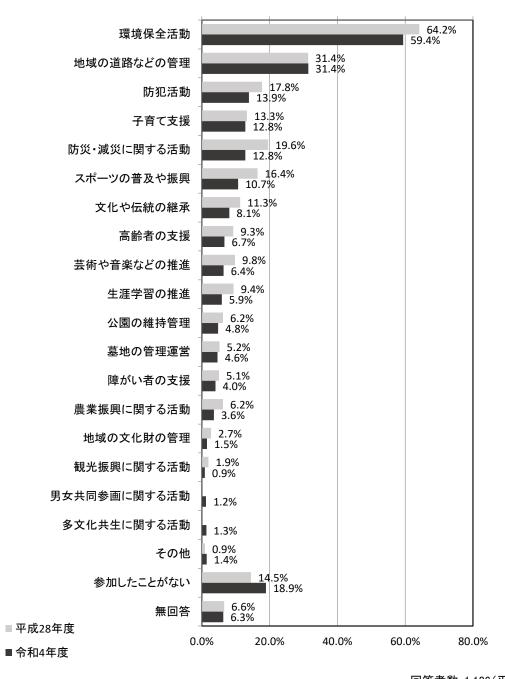
- ●まちづくりを推進するための活動に「参加したことがある」人は全体の74.8%となっている。
- ●年代別でみると、18~29歳で最も低く63.1%、65~69歳が最も高く80.6%の人が「参加したことがある」と回答している。
- ●居住年数でみると、5年未満の人が著しく低く、「参加したことがある」と回答した人が46.8% にとどまっている。居住年数が短いほど、市民のまちづくり活動の参加率が低くなる。



<参加したことのあるまちづくり活動>

●前回と大きく変化はなく、参加したことのある活動は、「環境保全活動」(今回59.4%)、「地域の道路などの管理」(今回31.4%)の順で回答の割合が高くなっている。

■前回の結果との比較



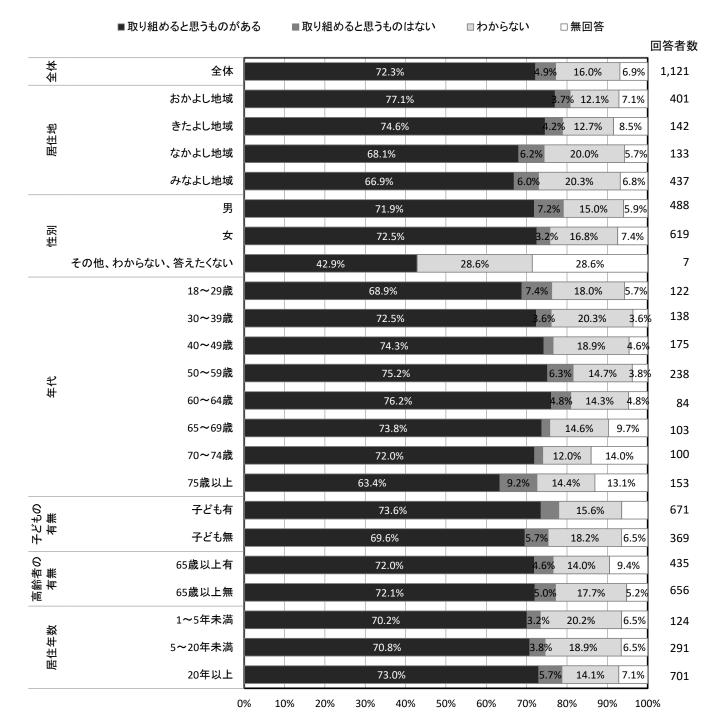
回答者数:1,186(平成 28 年度) 回答者数:1,121(令和 4 年度)

(9) 今後取り組めると思うまちづくり活動について

質問 次のうち、今後、あなたが行政と協働して取り組めると思う活動について、該当するものすべてを選んで番号に○をつけてください。

<今後取り組めると思うあるまちづくり活動の有無>

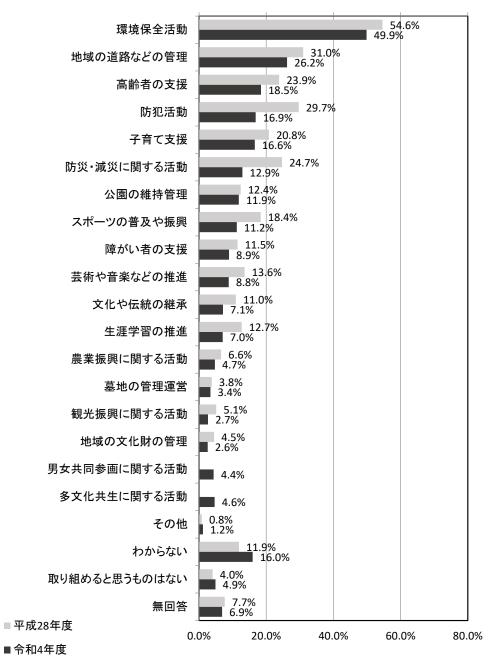
●今後のまちづくり活動について「取り組めると思うものがある」と回答した人は全体の72.3% と高く、「取り組めると思うものはない」は4.9%にとどまっている。まちづくり活動への参加 意向は全体的に高いといえる。



<今後取り組めると思うまちづくり活動>

- ●今後取り組めると思う活動は、前回同様、「環境保全活動」(今回49.9%)、「地域の道路などの管理」(今回26.2%)の回答の割合が高くなっている。
- ●前回と比べて、「防犯活動」と「防災・減災に関する活動」の回答の割合が大きく減少している。

■前回の結果との比較

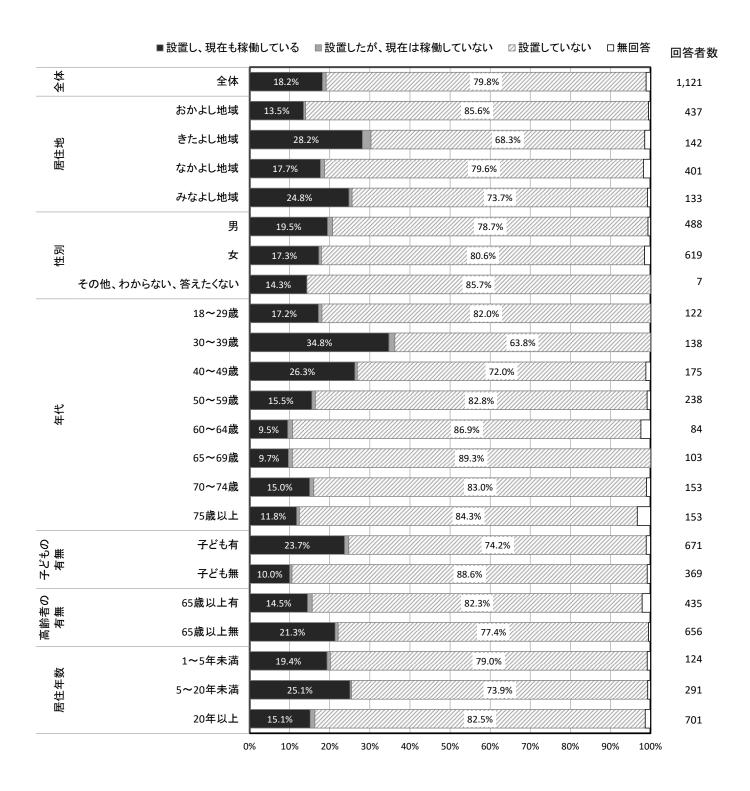


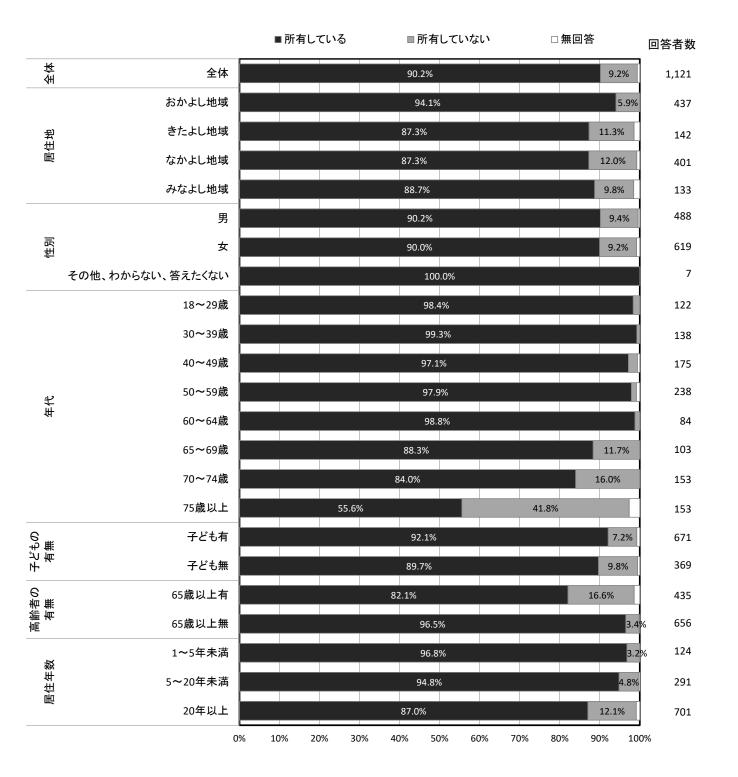
回答者数:1,186(平成 28 年度) 回答者数:1,121(令和 4 年度)

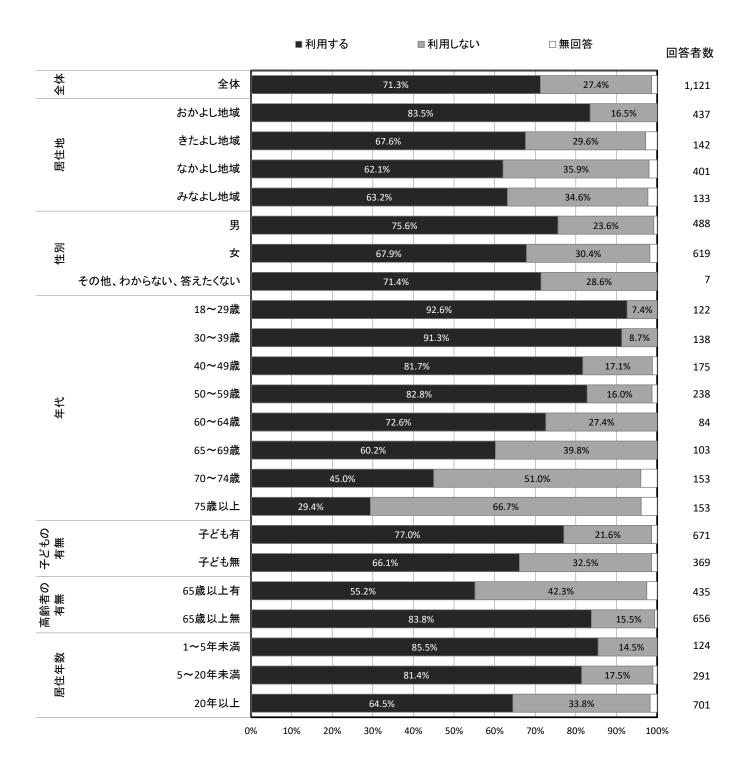
(10) その他の取組について

質問 自宅に太陽光発電システムを設置していますか。(1つに○)

| 質問 あなたは、自分専用のスマートフォンを所有していますか。(1つに○)







4 調査票

アンケート調査に用いた調査票及び関連資料は次のとおりです。

※インターネット回答による複数回答を防ぐための番号であり、個人を特定する番号ではありません。

第2次みよし市総合計画後期基本計画策定のための

市民アンケート

~みよし市のまちづくりについてご意見をお聞かせください~

市民の皆さまへ

日頃から市政に対し、ご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。

みよし市では、平成31(2019)年3月に「みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち」を将来像とする「第2次みよし市総合計画」を策定し、市民の皆さまが笑顔で過ごすことができるまちを目指してさまざまな取組を実施しています。

第2次みよし市総合計画の基本計画が令和5(2023)年度に中間年を迎えることから、本 市では、これまでの取組の評価・検証を行い、令和6(2024)年度から令和10(2028) 年度までの5年間の計画(後期基本計画)の策定に取り組んでいきます。

つきましては、本市が実施している取組に対する満足度や重要度、これからのまちづくりなどについて市民の皆さまの率直なご意見をお聞きすることにより、計画の検討に生かしていきたいと考えていますので、この調査の趣旨と重要性をご理解いただき、アンケートへのご協力をお願いいたします。

令和4(2022)年10月

みよし市長 小山 祐

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、なるべくご本人にご記入をお願いしますが、難しい場合はご家族の方などが 代わってご回答いただいても結構です。
- このアンケートは、10月1日を基準日とし、本市に住民登録されている18歳以上の市民の方から2,500人を無作為に選び、実施しています。
- ご回答いただいた内容は、どなたが記入されたか分からないように処理しますので、あ りのままのお考えをご回答ください。

インターネット回答について



- ◆ 左の二次元コードを読み取っていただくと、回答画面に移りますので、そちらでご回答いただけます。
- インターネットで回答された方は、郵送での回答は不要です。 (https://www.shinsei.e·aichi.jp/city·miyoshi·aichi·u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=56203)
 - ※下記の短縮 URL でも回答画面に移ります。

(https://urlzs.com/U9LP6)

回答期限

令和4(2022)年11月15日(火曜日)

※返信用封筒をご利用いただく場合、切手は不要です。

お問い合わせ先 : みよし市 政策推進部 企画政策課 TEL 0561-32-8005

問1 あなた自身についてお聞きします

各項目について、このアンケートにお答えいただくあなた自身について該当するものを<u>1つだけ</u>選んで番号にOをつけてください。

ただし、「質問4 同居の家族の中に(自身を含む)子どもの有無」については該当するものすべて を選んで番号に〇をつけてください。(10月1日の時点でお答えください)

質問1 【あなたの性別は】※戸籍上の性別をお答えください。

1.	男	2. 女	3.	その他、	わからない、	答えたくない
----	---	------	----	------	--------	--------

質問2 【あなたの年齢は】

1. 18~29歳	2. 30~39歳	3. 40~49 歳	4. 50~59 歳	
5. 60~64 歳	6.65~69 歳	7. 70~74 歳	8. 75 歳以上	

質問3 【家族構成は】

1. 単身(一人)	世帯 2. 夫婦のみの世帯	3. 親と子または祖父母と孫など二世代世帯
4. 三世代以上世	n 5. その他()

質問4 【同居の家族の中に(自身を含む)子どもの有無は】 ※該当するものすべてを選んで番号に〇をつけてください。

1.	乳児 (一歳未満)	2. 幼児	3.	小学生	4.	中学生	5.	高校生
6.	大学・大学院生(短大、	高専を含む)	7.	社会人	8.	子どもはいな	211	

質問5 【同居の家族の中に(自身を含む)65歳以上の人の有無は】

1. 有(いる) 2. 無(いない)

質問6 【お住まいの地域は】

- 1. なかよし地域 (新屋、三好上、三好下、西一色、福田、東山、好住、中島、平池、上ヶ池)
- 2. きたよし地域(莇生、福谷、高嶺、あみだ堂)
- 3. みなよし地域 (明知上、明知下、打越、山伏)
- 4. おかよし地域(福谷(一部)、黒笹、ひばりヶ丘、三好丘、三好丘縁、三好丘旭、三好丘核、三好丘あおばり

質問7 【あなたは、みよし市に何年住んでいますか】

1.	1年未満	2.	1年以上3年未満	3.	3年以上5年未満
4.	5年以上10年未満	5.	10 年以上 20 年未満	6.	20 年以上

2

間2 みよし市の住みよさと将来の暮らしについてお聞きします

質問8 あなたは、みよし市が住みやすい市だと思いますか。1つだけ選んで番号に〇をつけてください。

- 1. 大変住みやすい ⇒質問9へ
- 2. どちらかといえば住みやすい ⇒質問9~
- 3. どちらかといえば住みにくい →質問10へ
- 4. 大変住みにくい ⇒質問10~

質問9 質問8で「大変住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」とお答えになった方にお 伺いします。住みやすい と思う理由を選び、次の中から3つまで番号にOをつけてください。

自然環境が良い

- 2. 住環境が良い
- 3. 医療・福祉サービスが充実している
- 4. 子育てがしやすい
- 5. 買い物や外食が便利

- 6. 道路や公園が整っている
- 7. 電車やバスなど交通の便が良い

- 8. 体育館や図書館などの施設が充実している
- 9. 学びやすい施設がそろっている
- 10. まちが安全・安心である
- 11. 地域での人間関係が良い
- 12. 働く場所がある
- 13. 住みなれていて愛着がある
- 14. 親戚や友人が多く住んでいる

15. その他(

質問 10 質問8で「どちらかといえば住みにくい」または「大変住みにくい」とお答えになった方にお 伺いします。住みにくい と思う理由を選び、次の中から3つまで番号にOをつけてください。

自然環境が良くない

- 2. 住環境が良くない
- 3. 医療・福祉サービスが充実していない 4. 子育てがしにくい

5. 買い物や外食が不便

- 6. 道路や公園が整っていない
- 7. 電車やバスなど交通の便が悪い
- 8. 体育館や図書館などの施設が充実していない
- 9. 学びやすい施設がそろっていない
- 10. まちが安全・安心でない
- 11. 地域での人間関係が良くない
- 12. 働く場所が少ない
- 14. 親戚や友人があまり住んでいない

13. 愛着がない 15. その他(

質問 11 あなたは、今後もみよし市に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んで番号に〇をつけて ください。

- 1. 今後も住み続けたい
- 2. どちらかといえば住み続けたい
- 3. どちらかといえば住み続けたくない
- 4. 住み続けたくない

問3 みよし市の取組の満足度と重要度についてお聞きします

質問 12 あなたは、「みよし市総合計画」を知っていますか。1つだけ選んで番号にOをつけてください。

- 内容を知っている
- 2. 関心のある分野の内容のみ知っている
- 3. 計画があることは知っているが、内容までは知らない
- 4. 知らない

質問 13 みよし市が実施する取組について、あなたが現状でどれくらい満足しているか、また、あな たが今後どれくらい重要と考えているか、をお聞きします。

総合計画に定める次の施策及び取組分野について、「現状の満足度」、「今後の重要度」の回 答欄からあなたの考えに最も近いものをそれぞれ一つずつ選んで○をつけてください。

※取組分野の詳しい内容は、別紙の2ページ「みよし市の取組分野についての説明」をご参照ください。

【記入例】

				現場	その満足	已度			今後	後の重要	要度	
施	策・〕	質問項目 取組分野の満足度 要度を踏まえて、 全体の満足度・重要をご記入ください。	施策 要度	満足	普通	不満 どちらかというと	不満	重要	重要どちらかというと	重要ではないうと	重要ではない	わからない
抽	策1	安心して子どもを産み、 育てられる環境にしよう	▶ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	取	(1)子育て支援		2	3	4	5		2	3	4	5
	組分野	(2)家庭教育	1	2	(3)	4	5	1	\bigcirc	3	4	5
	21	(3)地域で子育てを支える環境	1	2	3	4	5		2	3	4	5

◆みよし市の総合計画とは?

これからのみよし市をどのようなまちにしていくかという「まちづくり」の基本となる重要な計 画です。基本構想・基本計画・実施計画で構成されています。



実施計画

- 1. 基本構想 市の目指す将来像とそれを実現するための基本目標を掲げ、これからの まちづくりの方向性を定めたもの
- 2. 基本計画 基本構想に掲げる基本目標を達成するために必要な具体的な取組を各 分野ごとに示したもの
- 3. 実施計画 基本計画に定めた取組内容に従って、具体的な各年度の事業内容を明らか にしたもの

3

【記入欄】

1 安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち

	\		現状の満足度						今後の重要度						
施	策・耳	質問項目	満足	満足どちらかというと	 指揮	不満というと	不満	無政	重要どちらかというと	重要ではないうと	重要ではない	わからない			
施	策1	安心して子どもを産み、 育てられる環境にしよう	1	2	თ	4	5	1	2	3	4	5			
	取	(1) 子育て支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
	組分野	(2) 家庭教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
	Ш	(3) 地域で子育てを支える環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
施	策2	心豊かな子どもを育てよう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
	取組	(4) 小中学校教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
	分野	(5) 青少年健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
施	策3	文化に親しみ、交流が 盛んなまちにしよう	1	2	з	4	5	1	2	3	4	5			
		(6) 生涯学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
	取	(7) 文化・芸術	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
	取組分野	(8) 広域交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
	#I	(9) 多文化共生	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
		(10)男女共同参画	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			

2 健康で生き生きと暮らせるまち

	_			現状	その満見	已度			今後	後の重要	更度	
施	策・耳	質問項目	満足	満足	 指揮	不満 どちらかというと	不満	重要	重要どちらかというと	重要ではないうと	重要ではない	わからない
施	策4	豊かに暮らせるように みんなで助け合おう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
		(11)地域福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	取組	(12)高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	分野	(13)介護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
		(14)障がい者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施	策5	生涯にわたって健康に 暮らせるようにしよう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
		(15)地域医療	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	取組分野	(16)健康づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	野野	(17)スポーツ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
		(18)生きがい・働きがい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3 安全で安心して暮らせるまち

拖	策6	地域で支え合い、 災害に強いまちをつくろう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	取組分野	(19)防災・減災	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	分野	(20)消防	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
拖	策7	交通事故や犯罪のない まちをつくろう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	取組	(21)交通安全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	分野	(22) 防犯	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4 魅力と活力があふれるまち

/	_			現物	その満足	已度			今後	後の重要	英度	
施	策・」	質問項目	満足	満足	 抱煙	不満 というと	不満	重要	重要どちらかというと	重要ではないうと	重要ではない	わからない
施	策8	工業のさらなる成長を 支えよう										
	取組分野	(23)工業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施	策9	まちのにぎわいや魅力を 生み出そう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	取	(24) 商業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	組分野	(25)観光・魅力発信	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	#r	(26)地域活力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施	策 1	地域の農業と多面的機能 を持つ農地を守り、 次代につなげよう	1	2	თ	4	5	1	2	თ	4	5
	取組	(27)農業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	分野	(28)地産地消	1	2	3	4	5	1.	2	3	4	5

5 自然環境を守り未来へつなぐまち

施	施策1 1 緑を守り育て、 まちを美しくしよう			2	3	4	5	1	2	3	4	5
取組分野		(29)緑のまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	分野	(30)環境美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施	施策12 環境にやさしい まちにしよう		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	取組	(31)地球環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	分野	(32)循環型社会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

7

4 魅力と活力があふれるまち

				現状	その満見	已度		今後の重要度					
施分	縦・耳	質問項目	満足	満足		不満 どちらかというと	不潢	重要	重要どちらかというと	重要ではないうと	重要ではない	わからない	
施	策8	工業のさらなる成長を 支えよう											
	取組分野	(23)工業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
施	策9	まちのにぎわいや魅力を 生み出そう	1	2	თ	4	5	1	2	3	4	5	
	取	(24) 商業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	組分野	(25)観光・魅力発信	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	#I	(26)地域活力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
拖	策1	地域の農業と多面的機能 を持つ農地を守り、 次代につなげよう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	取組	(27)農業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	分野	(28)地產地消	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

5 自然環境を守り未来へつなぐまち

施	策 1	録を守り育て、 まちを美しくしよう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	取組分野	(29)緑のまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	分野	(30)環境美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施	策 1	2 環境にやさしい まちにしよう	1	2	з	4	5	1	2	3	4	5
	取組	(31)地球環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	分野	(32)循環型社会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

7

6 快適で暮らしやすいまち

				現物	その満見	足度		今後の重要度					
施	厳・耳	質問項目	満足	満足	指 層	不満 どちらかというと	不満	重要	重要どちらかというと	重要ではないうと	重要ではない	わからない	
施	策1	4 生活の基盤が整ったまちをつくろう	1	2	з	4	5	1	2	3	4	5	
	取	(33)土地利用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	組分野	(34)河川	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	,	(35)下水道	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
拖	策1	4 便利で快適な住環境を つくろう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
		(36)公共交通	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	取組	(37)道路	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	分野	(38)市街地整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
		(39)景観	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
拖	策1	5 多様な世代の定住・移住 を促進しよう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	取組八	(40)住まい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	分野	(41)雇用対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

6 快適で暮らしやすいまち

				現状	その満月	足度		今後の重要度					
質問項目施策・取組分野			濱足	満足	 指揮	不満 どちらかというと	不満	重要	重要どちらかというと	重要ではないうと	重要ではない	わからない	
施	策1	4 生活の基盤が整ったまちをつくろう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	取	(33)土地利用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	取組分野	(34)河川	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	i,	(35)下水道	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
施	策1	4 便利で快適な住環境を つくろう	1	2	з	4	5	1	2	3	4	5	
		(36)公共交通	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	取組	(37)道路	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	組分野	(38)市街地整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
		(39)景観	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
施	策 1	5 多様な世代の定住・移住 を促進しよう	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	取組公	(40)住まい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	分野	(41)雇用対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

まちづくりの進め方

				現物	犬の満足	已度		今後の重要度					
施策	į.	質問項目	満足	満足	指揮	不満 どちらかというと	不満	重要	重要どちらかというと	重要ではないうと	重要ではない	わからない	
施第	₹1	5 市民が参画し、ともに 支え合う協働のまちづくり											
	取組分野	(42)市民の参画と協働によ るまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
施第	₹1	7 透明性の高い開かれた市政	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	取組	(43)行政情報の公開	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	分野	(44)広報・広聴	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
施第	₹1	効率的・効果的で 安定した行財政運営	1	2	Э	4	5	1	2	3	4	5	
		(45)行政組織	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	取組	(46)行政改革・行政評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	分野	(47)広域連携の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
		(48)財政	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

その他

その	他の取組分野										
取	(49)まちの顔づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
組分野	(50) S D G s の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
#1	(51) デジタル化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問4 これからのまちづくりについてお聞きします

質問 14 あなたは、これからのみよし市がどのような姿になったら良いと思いますか。<u>1つだけ</u>選んで番号にOをつけてください。

自然環境が良い
 住環境が良い
 医療・福祉サービスが充実している
 買い物や外食が便利
 道路や公園が整っている
 電車やバスなど交通の便が良い
 体育館や図書館などの施設が充実している
 学びやすい施設がそろっている
 安全・安心なまち
 地域での人間関係が良い
 働く場所がある
 根域や友人が多く住んでいる
 その他(

質問 15 これからのみよし市を「こんなまちにしたい」というあなたの願いを自由にお書きください。 ※ ご意見に近い分類の欄にご記入ください。 ※複数の分類に、複数のご意見をご記入いただいても構いません。

【記入例】

分類	「こんなまちにしたい」というあなたの願い
①子育て・教育・青少年	子どもが希望をもって成長できるまちにしたい

【記入欄】

分類	「こんなまちにしたい」というあなたの願い
①子育て・教育・青少年	
②生涯学習・文化・芸術・ 交流・男女共同参画	
③福祉・介護・医療・ 健康・生きがい	
④防災・交通・防犯	
⑤工業・商業・農業・ 観光	
⑥自然環境・地球環境・ 緑のまちづくり	
⑦公共交通・河川・道路・ 景観・住まい	
⑧市民参画・その他	

9

問5 まちづくりへの参加についてお聞きします

質問 16 みよし市では、市民と行政の協働によるまちづくりを推進しています。次のうち、あなたが 参加したことがある活動について、該当するものすべてを選んで番号に〇をつけてください。

- 1. 公園の維持管理(里山づくり、遊休農地の緑地活用など)
- 2. 墓地の管理運営
- 3. 環境保全活動 (ごみゼロ運動など)
- 4. 地域の道路などの管理(道路の清掃、草刈など)
- 5. 高齢者の支援(高齢者の見守り、声かけなど)
- 6. 障がい者の支援(地域社会への参加の実践など)
- 7. 生涯学習の推進(講座の企画、行政との協働による講座の開催など)
- 8. 文化や伝統の継承
- 9. 地域の文化財の管理
- 10. 芸術や音楽などの推進
- 11. スポーツの普及や振興
- 12. 子育て支援 (子どもの読書活動や育児支援、青少年の健全育成など)
- 13. 防災・減災に関する活動
- 14. 防犯活動
- 15. 農業振興に関する活動 (農業振興のためのイベント開催など)
- 16. 観光振興に関する活動 (観光案内、観光情報発信など)
- 17. 男女共同参画に関する活動(女性の社会進出、男性の家事育児参加等に関する活動など)
- 18. 多文化共生に関する活動 (日本語指導や多言語ボランティアなど)
- 19. その他 (

20. いずれも参加したことがない

質問 17 次のうち、今後、あなたが行政と協働して取り組めると思う活動について、該当するもの<u>すべて</u>を選んで番号に〇をつけてください。

- 1. 公園の維持管理(里山づくり、遊休農地の緑地活用など)
- 2. 墓地の管理運営
- 環境保全活動 (ごみゼロ運動など)
- 4. 地域の道路などの管理(道路の清掃、草刈など)
- 5. 高齢者の支援(高齢者の見守り、声かけなど)
- 6. 障がい者の支援(地域社会への参加の実践など)
- 7. 生涯学習の推進(講座の企画、行政との協働による講座の開催など)
- 8. 文化や伝統の継承
- 9. 地域の文化財の管理
- 10. 芸術や音楽などの推進
- 11. スポーツの普及や振興
- 12. 子育て支援 (子どもの読書活動や育児支援、青少年の健全育成など)
- 13. 防災・減災に関する活動
- 14. 防犯活動
- 15. 農業振興に関する活動(農業振興のためのイベント開催など)
- 16. 観光振興に関する活動 (観光案内、観光情報発信など)
- 17. 男女共同参画に関する活動(女性の社会進出、男性の家事育児参加等に関する活動など)
- 18. 多文化共生に関する活動 (日本語指導や多言語ボランティアなど)
- 19. その他(
- 20. わからない
- 21. 取り組めると思うものはない

問6 その他の取組についてお聞きします

みよし市では、「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、2050年までに市内の二酸化炭素排出量の 実質ゼロを目指しています。また、「みよし市デジタル化推進構想」を策定し、住民の利便性向上と行 政の効率化を目的として行政のデジタル化を進めています。今後の取組の検討に生かしていくため、 次の質問にお答えください。

質問 18 自宅に太陽光発電システムを設置していますか。1つだけ選んで番号に〇をつけてください。

- 1. 設置し、現在も稼働している
- 2. 設置したが、現在は稼働していない
- 3. 設置していない

質問 19 あなたは、自分専用のスマートフォンを所有していますか。1つだけ選んで番号に〇をつけてください。

1. 所有している

2. 所有していない

質問 20 今後、行政手続きが電子申請できる場合は利用しますか。<u>1つだけ</u>選んで番号に〇をつけてください。

1. 利用する

2. 利用しない

-	_	-	_
	в	意	
	ш	AGA .	ж.
_	_		_

みよし市の今後のまちづくりについてご意見、ご要望がありましたら、自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 アンケートは返信用封筒に入れ、**令和4(2022)年11月15日(火曜日)**までに ポストに投函していただきますようお願いいたします。

11

12

別紙

「第2次みよし市総合計画後期基本計画策定のための市民アンケート」にお答えいただく皆さまへ

アンケートにお答えになる前にご覧ください

◆みよし市の総合計画とは?

計画の構成

これからのみよし市をどのようなまちにしていくかという「まちづくり」の基本となる重要な計画です。 基本構想・基本計画・実施計画で構成されています。



1. 基本構想 市の目指す将来像とそれを実現するための基本目標を掲げ、 これからのまちづくりの方向性を定めたもの

基本計画

 基本計画 基本構想に掲げる基本目標を達成するために必要な具体的 な取組を各分野ごとに示したもの

実施計画

3. 実施計画 基本計画に定めた取組内容に従って、具体的な各年度の事業 内容を明らかにしたもの

※総合計画では、各取組分野の内容について、より詳しく記載していますので、 こちらもご覧ください。



第2次みよし市総合計画の「将来像」と「基本目標」

基本構想において、本市が目指す将来像と将来像の実現に向けた基本目標を次のとおり掲げています。

<将来像>

みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち

<基本目標>

- 1 安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち 4 魅力と活力があふれるまち

2 健康で生き生きと暮らせるまち

5 自然環境を守り未来へつなぐまち

3 安全で安心して暮らせるまち

6 快適で暮らしやすいまち

第2次みよし市総合計画基本計画の体系

基本計画では、基本構想に示した6つの基本目標の達成と将来像の実現を目指して、基本目標ごとに 「施策(取組方針)」を定め、各「施策(取組方針)」に「取組分野」を設定しています。

●施策(取組方針)とは

基本目標を達成するため、該当する基本目標におけるまちづくりの方向性を示したものです。

●取組分野とは

「施策(取組方針)」を分野ごとに細分化したものです。基本計画では、この「取組分野」ごとに、「現状 と課題」、「取組分野のねらい」、「目標指標」、「主な取組」、「市民の役割」などを示しています。

第2次みよし市総合計画前期基本計画の評価結果

1 評価方法

現行計画では、6つの基本目標とまちづくりの進め方のもとに、合計18の施策(取組方針)、48の取組分野を位置づけています(右の「計画の体系」参照)。

さらに、各取組分野においては、「主な取組」と、その成果を評価する「目標指標」(数値目標)を設定しています(下の「取組分野の構成」参照)。

前期基本計画の評価にあたっては、48の取組分野ごとに「評価検証シート」を用いて、「目標指標」の達成状況や「主な取組」の進捗状況を評価するとともに、今後の方針や後期基本計画で新たに位置づける取組を把握・分析しました。



資料3

■計画の体系

基本構想	基本計画	
基本目標	施策(取組方針)	取組分野
		1 子育て支援
	1 安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう	2 家庭教育
		3 地域で子育てを支える環境
1 安心して子ど		1 小中学校教育
もを産み育て、	と心量がなすともと自てより	2 青少年健全育成
誰もが豊かな心		1 生涯学習
を育むまち		2 文化·芸術
	3 文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう	3 広域交流
		4 多文化共生
		5 男女共同参画
		1 地域福祉
	 1 豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう	2 高齢者福祉
100 miles (100 miles (3 介護
2 健康で生き生		4 障がい者福祉
きと暮らせるまち		1 地域医療
	2 生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	2 健康づくり
		3 スポーツ
		4 生きがい・働きがい
	1 地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう	1 防災·減災
3 安全で安心し	The state of the s	2 消防
て暮らせるまち	2 交通事故や犯罪のないまちをつくろう	1 交通安全
	THE STREET AND STREET AND THE STREET AND THE STREET STREET AND STREET AND ADDRESS AND ADDR	2 防犯
	1 工業のさらなる成長を支えよう	1 工業
a fot 1 1 by 1 18	ロナナのにがたいぬ飲土ナサカ川フラ	1 商業
	2 まちのにぎわいや魅力を生み出そう	2 観光・魅力発信
あふれるまち	o ルギの曲米しみても炒かさせ。曲ルナウ(し)を	3 地域活力
	3 地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次 代につなげよう	1農業
	11(15 7417 47)	2 地産地消
5 自然環境を	1 緑を守り育て、まちを美しくしよう	1 緑のまちづくり
守り未来へつな		2 環境美化
ぐまち	2 環境にやさしいまちにしよう	1 地球環境の保全
	- 100,000,000	2 循環型社会
	 1 生活の基盤が整ったまちをつくろう	1 土地利用 2 河川
	土冶の季温が歪ったようとうべつ。	3 下水道
		1 公共交通
6 快適で暮らし		2 道路
やすいまち	2 便利で快適な住環境をつくろう	3 市街地整備
		4 景観
		1 住まい
	3 多様な世代の定住・移住を促進しよう	2 雇用対策
	 1 市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり	1 市民の参画と協働によるまちづくり
	Province and the second	1 行政情報の公開
1000	2 透明性の高い開かれた市政	2 広報・広聴
まちづくりの進め		1 行政組織
方		2 行政改革·行政評価
	3 効果的・効率的で安定した行財政運営	3 広域連携の推進
		4 財政
		1 M PA

1

基本目標	1	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち	市民の評価
施策(取組方針)	1	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう	小〈満足度〉大人
取組分野	3	地域で子育てを支える環境	重 要 使

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
	「地域で子育てを支える環境」の取り組 みに対する満足度割合(市民アンケート)	61.7%	79.8%	80%	65%	Α

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	i	生 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	放課後児童ク ラブの環境整 備	B	計画通りに進んでいる	・待機児童対策として、全ての学校区で2教室化。 ・令和3(2021)年度より定員に余裕のある児童クラブへ児童をタクシーで移送する事業を実施。	・待機児童の解消。 ・支援員のスキルアップ支援。
2	地域での子どもの居場所づくり	В	計画通りに進んでいる	・利用人数及び利用時間等の制限を設けながら、 児童が安心して遊ぶことができるように新型コロナウイ ルス感染対策を講じて開館した。	・児童厚生員、補助員の人材確保及びさらなる資質向上。 ・施設の老朽化に伴う維持修繕を行い、 建築物の長寿命化を図る。
3	ファミリー・サポー ト・センター事 業の充実	В	計画通りに進んでいる	・令和 4 (2022)年10月より病児・病後児保育を市民病院で実施し、市民の利便性の向上を図った。	
4	子ども会活動の支援	В	計画通りに進んでいる	・地域の子どもの健全育成を図るため補助金を交付し、活動を支援した。	・地域の組織の担い手不足。

3. 目標達成に向けて後期基本計画で新たに位置づける取組

市民の評価

・取組分野に対する市民の評価結果(満足度・重要度)を示しています。満足度・重要 度は、令和4(2022)年10月に実施した市民アンケートで把握しました。

目標指標の評価

・中間年(R5(2023))の目標値に対する中間年見込みに対して、以下の評価基準に基づいて評価します。

■評価基準

評価	評価の解釈
А	中間年目標値以上となった(上回る見込みである)
В	中間年目標値を概ね達成した(達成する見込みである)
С	中間年目標値に達していないが、現状値より改善した(改善する見込みである)
D	現状値以下となった(下回る見込みである)

主な取組の評価

- ・主な取組の進捗状況について、以下の評価基準に基づいて評価しました。
- ・取組の推進によって得られた成果を評価するとともに、積み残し課題や今後の方針について分析しました。

■評価基準

評価	評価の解釈
Α	計画以上に進んでいる
В	計画通りに進んでいる
С	計画より遅れているが進んでいる
D	進んでいない

今後の展開

・社会情勢の変化や市民ニーズ等を踏まえ、目標達成に向けて後期基本計画で新たに位置づけるべき取組を分析しています。

2 評価結果

別紙に評価結果を示します。

第2次みよし市総合計画前期基本計画 評価検証結果(総括表)

基本 取組 方針									目標指標				主な取組						目標達成に向けて後期基本計画で
		取組分野	満足度 指数	満足度順位	重要度 指数	重要度順位	指標名	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度	取組1	取組2	取組3	取組4	取組5	取組6	かく に 仕 四 - ツリス ホー 4口
1 1	1	子育て支援	58.3	4	85.4	3	子育て支援に関する取り組みの市民満足 度割合	61.7%	86.9%	87%	65%	Α	В	В	В	В	В	В	
1 1	2	家庭教育	54.6	15	77.2	18	家庭教育に関する取り組みの市民満足度 割合	60.8%	80.7%	65%	65%	Α	В	В				,	・新たな取組として、「放課後子ども教室の整備」を加える。
1 1	3	地域で子育てを支える環境	55.2	12	80.7	10	地域で子育てを支える環境に関する取り 組みの市民満足度割合	61.7%	79.8%	80%	65%	А	В	В	В	В			
1 2	1	小中学校教育	56.6	6	84.4	6	「学校は楽しい」と思う児童生徒の割合	〈小学校〉 93.1% 〈中学校〉	〈小学校〉 92.4% 〈中学校〉	〈小学校〉 95% 〈中学校〉	〈小学校〉 95% 〈中学校〉	А	В	В	В	В			
							青少年健全育成に関する取り組みの市民	88.2%	79.4%	90%	90%		-	_	_				
1 2	2	青少年健全育成	54.5	16	77.3	16	満足度割合 生涯学習に関する取り組みの市民満足度	59.8%	81.1%	65%	65%	A	В	В	В				
1 3	1	生涯学習	54.9	13	66.8	41	割合	70.1%	78.6%	75%	75%	A	В	В	ВВВ				
							図書の貸出冊数	42.3万冊	(12月末現在見込)	47万冊	47万冊	А							
1 3	2	文化・芸術	53.3	27	62.2	48	文化・芸術に関する取り組みの市民満足 度割合	71.1%	69.5%	75%	75%	А	В	В	В	В	В	В	
1 3	3	広域交流	53.4	26	62.6	47	友好都市交流事業参加者数	150人	106人	144人	170人	D	С	В					・スポーツ活動をきっかけとした士別市との友好関係を広げるため、ミニバスケットの相互交流事業 (派遣・受入)を実施。
1 3	4	多文化共生	52.0	40	64.3	44	多文化共生に関する取り組みの市民満足 度割合	50.0%	63.4%	64%	55%	Α	В	В	В				
1 3	5	男女共同参画	52.4	36	65.9	42	男女共同参画に関する取り組みの市民満足度割合	59.1%	66.0%	67%	65%	А	В	В					・LGBTQへの理解促進。 ・イクボス宣言の周知啓発。
2 1	1	地域福祉	53.9	21	77.2	17	地域福祉に関する取り組みの市民満足度 割合	68.6%	74.5%	74.5%	73%	А	В	В	В	В			・重層的支援体制の構築
2 1	2	高齢者福祉	53.0	31	80.1	11	高齢者福祉に関する取り組みの市民満足 度割合	63.0%	66.8%	68%	68%	А	В	В					・ICT等を活用した、認知症高齢者等の新たな見 守りツールの検討
2 1	3	介護	52.8	33	82.7	7	要介護(要支援)の認定率	11.60%	13.24%	14.62%	11.70% 以下	D	В	В	В	А			・介護人材の確保、育成に関する取組み
2 1	4	障がい者福祉	52.9	32	80.1	12	障がい者(児)が地域で生き生きと暮らし 続けられるようになると感じる障がい者 (児)の割合	14.6%	調査実施中	20%	20%	А	В	В	В	В			・成年後見制度の充実・農福連携事業についての検討
2 2	1	地域医療	54.1	18	85.7	2	特定健康診査受診率	37.3%	36.8% (12月末現在見込)	46.2%	60%	С	В	ВВВ					・感染症拡大防止対策の推進
						_	後期高齢者健康診査受診率	34.8%	32.4% (12月末現在見込)	37.0%	40%	С							10.10 2.3 22 (1.5 2.)
2 2	2	健康づくり	53.6	25	74.4	24	健康づくりに関する取り組みの 市民満足度割合	70.6%	72.8%	75%	75%	А	В	В					・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 推進事業の推進 ・オーラルフレイル予防の推進
2 2	3	スポーツ	53.2	28	65.4	43	成人のスポーツ実施者の割合	49.6%	51.2%	52%	56%	С	В	В	В	В			・部活動の地域移行対応。 ・障がい者のスポーツ参画。
2 2	4	生きがい・働きがい	53.2	29	75.9	20	生きがい・働きがいに関する取り組みの市 民満足度割合	76.0%	69.1%	83%	79%	А	В	В					・いきいきクラブを始めとする高齢者の活動の場の 充実につながる取組の検討
3 1	1	防災•減災	55.7	11	84.8	5	防災訓練への参加率	17.4%	16.6%	19%	20%	С	В	В	В	С			市民一人ひとりの防災意識の向上
3 1	2	消防	57.6	5	81.5	9	市内での火災出動件数	24件	18件 (12月末現在見込)	8件	20件以下	А	С	В	В	В			・多様化する災害に対する資機材の配備と、それに伴う教育訓練 ・消防団員確保のための活動の見える化、団員と協力した啓発活動及びSNSの活用
3 2	1	交通安全	53.8	22	85.1	4	市内での人身交通事故件数	277件	137件 (12月末現在見込)	150件	250件 以下	А	В	В	В				・自転車乗車時におけるヘルメット着用徹底の普及
3 2	2	防犯	53.1	30	86.1	1	市内での犯罪発生件数	544件	330件 (12月末現在見込)	400件	490件 以下	А	В	Α	В	В			高齢者の防犯意識の向上
4 1	1	工業	55.8	10	70.6	36	工業系用途地域の面積	403.0ha	416ha	416ha	415ha	А	В	В	В				
4 2	1	商業	47.8	46	73.5	27	商業に関する取り組みの市民満足度割合	36.1%	40.5%	40.5%	38%	А	В	В	В				

第2次みよし市総合計画前期基本計画 評価検証結果(総括表)

基本	施策/		10-1-40-11-113		市民の		-	INDEPENDENT (100-311 200)		目標指標				主な取組						目標達成に向けて後期基本計画で
目標	取組 方針		取組分野	満足度 指数	満足度 順位	重要度 指数	重要度順位	指標名	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度	取組1	取組2	取組3	取組4	取組	5 取組6	*C+ /= /+ CH = "/ / = T-//D
4	2	2	観光・魅力発信	44.2	47	62.9	46	観光客数	171,588人	165,201人 (12月末現在)	167,287人	172,000人	D	В	В	С		•		
4	2	3	地域活力	48.1	45	69.0	39	地区コミュニティ活動への参加者数	7,186人	例年、年度末の行政区 一括交付金実績報告 書から実績値を計算して いるため現在未定	8,000人	8,000人	А	В	В	В	В			・今後の地区拠点施設のあり方
4	3	1	農業	52.5	35	71.5	33	担い手農家の経営耕地面積	257ha	288ha (12月末現在見込み)	290ha	265ha	А	В	В	В	D			・スマート農業などの支援 農業の人手不足に対応するため、ICT技術やロボット技術を利用したスマート農業の導入を支援する。
4	3	2	地産地消	53.8	23	72.6	31	食育の普及に関する事業・活動数	102事業	94事業 (12月末現在見込み)	110事業	116事業	С	В	В					・第4次食育推進計画の策定
5	1	1	緑のまちづくり	59.2	1	73.6	26	市民1人当たりの都市公園面積	14.59m²	16.36m ²	16.36m²	14.60m ²	Α	В	В	В	В			・老朽化した公園施設の再整備
5	1	2	環境美化	58.6	3	76.4	19	1日1人当たりのごみ排出量(家庭 系)	524g	512g (令和3年)	502g (令和4年)	492g 以下	С	А	В	В	В	В	В	目標達成に向けて、既存の主な取組の中で事業 を精査していく。
5	2	1	地球環境の保全	54.9	14	75.4	22	CO2総排出量	101.2万トン (平成27年)	96.2万トン (令和元年)	95.8万トン (令和2年)	90万トン 以下	С	В	В	В	В		•	・ゼロカーボンシティの推進
5	2	2	循環型社会	55.9	8	75.8	21	再利用資源回収率	21.1% (平成28年)	15.6% (令和3年)	18.3% (令和4年)	27%	D	В	В	В				既存の生ごみ減量化の推進の取り組みの中で、 フードドライブなどの新しい施策を盛り込む。
6	1	1	土地利用	50.1	43	71.4	34	市街化区域の面積割合	32.8%	34%	34%	33%	Α	В	В	В				
6	1	2	河川	52.2	38	70.3	37	準用河川の改修率	54.5%	58.8%	59.6%	58%	Α	В	В					
6	1	3	下水道	59.1	2	77.3	15	水洗化率	92.8%	92.9% (12月末現在見込)	93.0%	93.4%	В	В	В	В				・下水道管路施設の機能保全と維持管理の効率化・広域化事業の推進
6	2	1	公共交通	43.4	48	81.6	8	さんさんバスの利用者数	286,191人	285,000人 (12月末現在見込)	300,000人	315,000人	С	В	В	В				・公共交通の利用促進
6	2	2	道路	52.1	39	77.8	14	都市計画道路整備率	79.1%	81.1%	81.1%	81%	А	В	В	Α				
6	2	3	市街地整備	49.8	44	73.0	28	市街地整備済面積	542.9ha	575.7ha (12月末現在見込)	598ha	575ha	А	В	В	В	В			
6	2	4	景観	54.4	17	67.1	40	景観に配慮した地区数	6地区	6地区	6地区	6地区	Α	В	В					
6	3	1	住まい	55.8	9	72.8	30	住宅の耐震化率	87.5%	91%	92%	92%	Α	В	В					
6	3	2	雇用対策	51.9	41	74.4	23	就労者数	286人	144人 (12月末現在見込)	240人	290人	D	В	В	В				
_	1	1	市民の参画と協働によるまちづくり	52.7	34	64.3	45	市民活動サポートセンター登録団体数	55団体	53団体 (12月末現在見込)	55団体	60団体	D	В	В	В	В			
_	2	1	行政情報の公開	54.1	19	73.8	25	行政情報の公開に関する取り組みの市民 満足度割合	60.5%	73.4%	76.0%	62%	А	В	В	В				・行政情報の公開方法のデジタル化
-	2	2	広報・広聴	56.1	7	69.7	38	広報・広聴に関する取り組みの市民満足 度割合	74.1%	81.5%	82%	80%	А	В	В					・あらゆる媒体での情報発信 ・多言語に対応した情報発信
_	3	1	行政組織	52.2	37	71.9	32	やりがいをもって仕事に励んだ職員の割合	62%	71%	65%	65%	Α	В	В	В	В			
_	3	2	行政改革·行政評価	51.8	42	72.9	29	行政改革・行政評価に関する取り組みの 市民満足度割合	55.9%	62.9%	63%	58%	Α	В	В					
_	3	3	広域連携の推進	53.6	24	71.2	35	広域連携に関する取り組みの市民満足度 割合	70.7%	74.3%	75%	73%	А	В						
_	3	4	財政	54.0	20	79.9	13	経常収支比率	78.5%	83%	83%	80%以下	D	В	В	В	В			・早期の納税推進、納税催告や納税相談

基本目標	1	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち	市民の評価						
施策(取組方針)	1	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう	大	小〈満気	● 中				
取組分野	1	子育て支援	重要度〉 小	中央佢	央 値 74.1				

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
子育て支援に関する取り組み の市民満足度割合	「子育て支援」の取り組みに対する満足 度割合(市民アンケート)	61.7%	86.9%	87%	65%	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ		成果	積み残し課題や今後の方針
1	みよし市版「ネウボラ」の推進	В	計画通りに進んでいる	・令和 2 (2020)年度から公費負担による産婦健康 診査を 1 回から 2 回に増加。 ・令和 4 (2022)年度から多胎妊婦の健康診査受 診票の追加交付事業、出産予定日を過ぎて受診し た妊婦健康診査費用助成事業を実施。	向上を図る。
2	保育環境の整 備	В	計画通りに進んでいる	・3園(なかよし、すみれ、わかば)において、保育施設を有効活用する等、乳児の受入枠を拡大。 ・令和2(2020)年度(4/1現在)から待機児童数は0人。 ・病児病後児保育の開始(令和4年10月1日から)	・隠れ待機児童の解消。 ・保育士不足の解消のため、公立保育園 の民営化、民間事業者を支援し、待機 児童の解消に努める。
3	子育て支援センター事業の充実	В	計画通りに進んでいる	・コロナ禍においても親同士の交流や親子のふれあいの場を提供するため、ふれあい広場の利用人数を制限しながら開館した。また、親子ルームや育児講座も感染防止対策を講じながら開催し、育児不安の解消につなげた。 ・利用者の利便性向上を目的に「子育て情報ナビみよぴよ!」の利用者アンケートを実施。	なる充実。 ・「子育で情報ナビ みよぴよ!」の利便
4	相談支援体制 の充実	В	計画通りに進んでいる	・ひとり親家庭への支援、自立に向けた相談を実施。 ・育児が困難な家庭、経済的に困窮、虐待などへの対応は関係機関との連携を密にし、支援が必要な方には支援に繋げられた。	
5	幼児教育の充 実	В	計画通りに進んでいる	・幼稚園の安定した運営のため教育振興費補助金の支給額を、令和2(2020)年度から11,000円に増額し、令和4(2022)年度からは13,000円に増額した。	
6	不妊治療に対する支援	В	計画通りに進んでいる	・不妊に悩む方に対し、一般不妊治療に要する費用の自己負担額の一部を助成。 ・不育症治療を受けている方に対し、不育症治療等 に要する費用の一部を助成。	深めることや、治療を受けやすい環境整

基本目標	1	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち		市民の	評価	
施策(取組方針)	1	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう		小〈満瓦	建度》大	
取組分野	2	家庭教育	重要度〉小	中央値	♦ <u>1</u> 53.6	· 央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
家庭教育に関する取り組みの 市民満足度割合	「家庭教育」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	60.8%	80.7%	65%	65%	А

2. 「主な取組」の評価

主な取組		Ú	生 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針	
1	保護者への学び支援	В	計画通りに進んでいる	講座(中学校)の開催を支援。 ・家庭教育に役立つ情報を提供するため、広報誌に		
2 1	家庭教育への 支援	В	計画通りに進んでいる	・家庭・地域・学校の三者が連携して家庭教育を進めるため、各小学校区の家庭教育推進協議会が実施するふれあいトライアングル事業を支援。 ・地域学校協働本部が小中学校に設置され、学校運営協議会と連携した地域学校協働活動を順次始めている。	支援するとともに、全小中学校において地域学校協働本部を設置し、保護者や地域のボランティア、NPO、企業等の参画を	

・新たな取組として、「放課後子ども教室の整備」を加える。		

基本目標	1	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち		市民の評価
施策(取組方針)	1	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう	大	小〈満足度〉大
取組分野	3	地域で子育てを支える環境	重要度〉 小	中央値 53.6

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
地域で子育てを支える環境に	「地域で子育てを支える環境」の取り組					
関する取り組みの市民満足	みに対する満足度割合(市民アンケー	61.7%	79.8%	80%	65%	Α
度割合	h)					

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針	
1	放課後児童クラブの環境整備	な課後児童ク R 計画通りに進 ラブ		・令和 3 (2021)年度より定員に余裕のある児童ク・ 計画通りに進		・待機児童の解消。 ・支援員のスキルアップ支援。
2	地域での子どもの居場所づくり	В	計画通りに進んでいる	・利用人数及び利用時間等の制限を設けながら、 児童が安心して遊ぶことができるように新型コロナウイ ルス感染対策を講じて開館した。	・児童厚生員、補助員の人材確保及び さらなる資質向上。 ・施設の老朽化に伴う維持修繕を行い、 建築物の長寿命化を図る。	
3	ファミリー・サポー ト・センター事業 の充実	В	計画通りに進んでいる	・令和 4 (2022)年10月より病児・病後児保育を市民病院で実施し、市民の利便性の向上を図った。	・援助会員の会員数の増加。 ・積極的にファミリーサポート事業の P R に努める。	
4	子ども会活動の支援	В	計画通りに進んでいる	・地域の子どもの健全育成を図るため補助金を交付し、活動を支援した。	・地域の組織の担い手不足。	

基本目標	1	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち		市民の評価
施策(取組方針)	2	心豊かな子どもを育てよう	大	小〈満足度〉大
取組分野	1	小中学校教育	重要度〉 小	中央値 53.6

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29	R4	中間年	中間年	達成度	
32 13. 2	3213.17232	現状値	実績値	見込み	目標値	上500又	
「学校は楽しい」と思う児童生 徒の割合	「学校は楽しい」と回答した児童生徒の 割合(学校評価アンケート)	〈小学校〉 93.1% 〈中学校〉 88.2%	〈小学校〉 92.4% 〈中学校〉 79.4%	〈小学校〉 95% 〈中学校〉 90%	〈小学校〉 95% 〈中学校〉 90%	А	

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	教育環境の整 備	В	計画通りに進んでいる	・教育環境の整備を図るため、個別施設計画に基づいて老朽化した学校施設の大規模改修を実施。 ・児童生徒のタブレット端末をはじめICT機器を有効活用できるよう教育設備の保守・更新を行った。	・個別施設計画に基づいて学校施設の大規模改修を実施していく。 ・タブレット端末をはじめICT機器が有効に活用できるように教育設備の保守・更新を行っていく。 ・令和5(2023)年度に尾三地区の自治台と共同でスクールロイヤーを設置する予定としている。
2	教育内容・活動の充実	В	計画通りに進んでいる	・道徳教育の改善・充実に係る推進事業により、子 どもの心を育てる教育を実施。	・道徳教育の充実、道徳の授業改善に 向けた研修会の充実や実践の共有を図 る。
3	一人一人を大 切にした教育の 実施	В	計画通りに進んでいる	・令和元(2019)年度から小中学校全校で35人学級を実施し、より一人一人に目が届くようなきめ細かな指導が可能となった。 ・引き続き、適応指導教室や日本語初期指導教室を開設するなどし、個別の支援を充実した。	
4	家庭・地域との連携強化	В	計画通りに進んでいる	・市内小中学校においてみよし市版コミュニティスクール実現のために、学校運営協議会を順次設置し、保護者や地域住民等の学校運営への参画を進めている。	学校もあるため、引き続き全小中学校の

•		

基本目標	1	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち		市民の評価			
施策(取組方針)	2	心豊かな子どもを育てよう	大	小〈満足	建度》大		
取組分野	2	青少年健全育成	重要度》 小	中央値	53.6	央 値 74.1	

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
	「青少年健全育成」の取り組みに対する 満足度割合(市民アンケート)	59.8%	81.1%	65%	65%	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	地区の青少年 健全育成活動 への支援	В	計画通りに進んでいる	・市内各地区の青少年健全育成協議会、ジュニアクラブなどの地域活動に対する活動支援として、活動費補助金を交付。	
2	青少年への見守り活動の推進	В	計画通りに進んでいる	・青少年の非行被害防止のための青少年健全育成協議会による啓発活動、青少年補導員による巡回指導、心の電話相談事業を推進し、青少年の非行防止や犯罪に巻き込まれないよう見守り活動を実施。	る啓発活動、青少年補導員による巡回 指導、心の電話相談事業を推進し、青
3	少年の意見に 対する理解の 深化	В	計画通りに進んでいる	・広い視野と柔軟な発想や創造性とともに物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく伝え理解してもらう力を養うため、少年の主張みよし市大会を開催し、小中学生の思い等を発表した。	実施し、小中学生の思い等の発表の場を

•		

基本目標	1	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち		市民の評価			
施策(取組方針)	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう	大	小〈満足度〉大			
取組分野	1	生涯学習	重要度〉 小	中央値 53.6			

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
生涯学習に関する取り組みの 市民満足度割合	「生涯学習」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	70.1%	78.6%	75%	75%	Α
図書の貸出冊数	中央図書館での年間の貸出冊数	42.3万冊	45.2万冊 (12月末現在見込)	47万冊	47万冊	А

2.「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	生涯学習講座 の充実	В	計画通りに進んでいる	・令和 4 (2022)年度、図書館学習交流プラザ「サンライブ」を拠点に「生活創造講座」、「国際理解講座」、「情報・通信講座」及び「愛知教育大学連携講座」を年間 1 5 6 講座を開催。	に、学習経験に応じた学習プログラムの提
2	自主的な生涯 学習の取り組 みへの支援	В	計画通りに進んでいる	・令和3(2021)年度、地区拠点施設や公民館等を利用した講座(行政区主催の文化祭等の開催)を市内7行政区で開催。	
3	図書の整備	В	計画通りに進んでいる	・令和3(2021)年度、多様なニーズに応えるため、 文芸書から専門的な技術書まで幅広いジャンルの図 書を8,244冊を購入。 ・学校支援図書として、42冊を購入。	引き続き、子どもにとって読書活動の拠点となるよう図書館の児童書、絵本、青少年向け図書を拡大し、令和6(2024)年度32万冊を目標に蔵書の充実を図る。
4	読書活動の推 進	В	計画通りに進んでいる	・令和4(2022)年度は、各学校への図書館資料の配本サービスを年間36回、1,506冊を実施。	引き続き、中央図書館とサンネット内図書コーナー間における図書の配本を実施します。また、現在実施している就学前の子どもに絵本紹介冊子の提供を令和8(2026)年度を目標に小学校低学年向けまでに拡充を図っていく。

3. 目標達成に向けて後期基本計画で新

•		

基本目標	1	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち		市民の評価			
施策(取組方針)	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう	大	小〈満気	Z度〉大 中		
取組分野	2	文化・芸術	重要度》 小	中央征	英値74.1		

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
文化・芸術に関する取り組み の市民満足度割合	「文化・芸術」の取り組みに対する満足 度割合(市民アンケート)	71.1%	69.5%	75%	75%	Α

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	生捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	文化拠点施設 の機能維持	В	計画通りに進んでいる	・指定管理により勤労文化会館及びふるさと会館を 適切に管理した。	・引き続き、指定管理により勤労文化会館及びふるさと会館を適切に管理していく。
2	文化・芸術団体への支援	В	計画通りに進んでいる	・文化協会を通じて、芸術活動の支援を実施。 ・生涯学習発表会での展示や発表の場の確保により、市民が文化芸術に親しむ機会を増やした。	・文化協会会員の高齢化しているため、新規会員を獲得する。
3	史跡、歴史的 資料と伝統芸 能の保存継承	В	計画通りに進んでいる	・市指定文化財をはじめとする、市内所在の文化財を適正に保存した。 ・お囃子や棒の手といった無形民俗文化財については、その伝承活動に対し、支援を行った。	備計画策定の検討が必要である。
4	歴史民俗資料 館収蔵資料の 整理、調査・研 究などへの活用	В	計画通りに進んでいる	・発掘調査に伴い出土する遺物や、市内外の方から 寄贈される民具類について、適宜整理作業を行い、 活用が可能な状態とした。	
5	企画展・体験講座の実施	В	計画通りに進んでいる	年に3回の企画展、1回の特別展を開催しました。 土器作りや石器作り体験講座に加え、学校を中心 とした出張授業も実施しました。	
6	埋蔵文化財の 保護と発掘調 査の管理	В	計画通りに進んでいる	・開発に伴い滅失する埋蔵文化財について、発掘調査を行い、調査報告書を刊行した。	・埋蔵文化財の所在の有無の照会や発掘調査が増加傾向であり、効率的な運用が求められている。

•		

基本目標	1	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち		市民の評価
施策(取組方針)	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう	大	小〈満足度〉大
取組分野	3	広域交流	重要度》 小	中央値 53.6

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
友好都市交流事業参加者 数	士別市小学生派遣・スポーツ交流への 参加者数、「友好の森ふれあいツアー」 参加者数	150人	106人	144人	170人	D

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	士別市との交 流の推進	С	計画より遅れて いるが進んでい る	・サッカー、野球を通じた士別市との相互交流事業を実施してきたが、コロナ禍により令和 2 (2020)年度から事業を中止。 ・令和 4 (2022)年度は、これまで以上に士別市との友好関係を広げるため、女子児童を対象にミニバスケットを通じた新規交流事業を実施。	
2	木曽町との交流の推進	В	計画通りに進んでいる	・友好の森の保全活動を通じ、森林保護、環境保全等の啓発を行うとともに、水源地の皆さんとの交流を図ることを目的として、友好の森ふれあいツアーを開催。	催し、森林保護、環境保全等の啓発を

・スポーツ活動をきっかけとした士別市との友好関係を広げるため、ミニバスケットの相互交流事業(派遣・受入)を実施。
「大小・プロ動できるがいといた工が中との反対、民体で広いるにの、二八人プリーの旧五文加事未(小道・文八)で大池。

基本目標	1	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち		市民の	評価
施策(取組方針)	3	3 文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう		小〈満足	度〉大
取組分野	4	多文化共生	重要度》 小	◆ 中央値	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
多文化共生に関する取り組 みの市民満足度割合	「多文化共生」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	50.0%	63.4%	64%	55%	Α

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	多文化共生の 推進	В	計画通りに進んでいる	・外国人のための日本語教室の開催や、その教室で講師となっていただく日本語ボランティアの養成講座を開催し、外国人の意思疎通手段の支援を行った。 ・市民課をメインに外国語通訳者を配置し、外国人への窓口、事務手続きなどの支援を通じて日常生活などへの不安解消に努めた。 ・一部の行政区において、在住外国人を含めた行政区運営を推進するため実施する日本語教育活動に対し、がんばる地域応援補助金を交付し活動を支援した。	地域住民の交流を支援する必要がある。
2	国際交流活動 の充実	В	計画通りに進んでいる	・日本文化への理解を深めることにより、日本での生活に馴染んでもらうことを目的に日本文化体験研修を開催した。 ・友好都市であるアメリカ合衆国インディアナ州コロンバス市より高校生来訪団が来訪し、ホームステイや学校体験、部活体験を通じた交流を行うほか、市制施行10周年を記念し、市民派遣団・高校生派遣団を派遣予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。 ・コロンバス市への中学生派遣を実施。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2(2020)年度以降未実施であるが、令和4(2022)年度はオンラインでの交流を実施予定。	生来訪団受け入れは隔年で、中学生の派遣は毎年実施し、国際理解の向上に努める。 ・「ポストコロナ」がなかなか見通せない状況であり、いつから派遣事業を従来どおり実施することができるのかが不透明である
3	外国人児童生 徒への適応支 援	В	計画通りに進んでいる	・日本語初期指導教室入室者の増加に伴い、令和2(2020)年度から開催箇所を1箇所増やし、2箇所で実施。あわせて令和3(2021)年度からは、就学前の子どもを対象とした日本語教室(プレスクール)を開催。 ・学校の要請に対し、必要に応じて通訳者を派遣。	校への適応指導を行うことにより、児童生 徒の小中学校での学校生活を円滑に進

基本目標	1	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち		市民の評価
施策(取組方針)	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう	大 [小〈満足度〉大
取組分野	5	男女共同参画	重要度〉 小	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
男女共同参画に関する取り 組みの市民満足度割合	「男女共同参画」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	59.1%	66.0%	67%	65%	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	Ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針	
1	男女共同参画 B 計画通りに進んでいる			・男女共同参画推進のため、「みよし男女共同参画プラン『パートナー』2019-2023」に基づき各種施策を実施した。 ・「男女共同参画川柳・標語」や「男女共同参画ステップアップセミナー」、「大学生向け講演会」に加え、新たに市民、高校生、市職員を対象とした「LGBTセミナー」を開催。 ・市民向けLGBT啓発冊子及び小学生向け男女共同参画啓発冊子を作成。 ・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を新たに始めた。 ・市長をはじめ市管理職員がイクボス宣言を行った。	社会全体での理解促進が求められている。 ・「みよし男女共同参画プラン『パートナー』2019-2023」の計画期間が令和5	
2	女性に対する暴力の防止	В	計画通りに進んでいる	・女性の悩みごと相談を全件実施。 ・女性の悩みごと相談電話の実施。 ・悩みごと相談啓発カードを作成し、市内各機関に配置。 ・国・県・民間の相談ナビカードや支援情報の窓口での周知。	・一時保護や一時保護後の生活に関する制度等支援に必要な知識を習得するため、人材確保と人材育成が必要である。	

•	l G	RT	∇	の理	解促	'谁.

[・]イクボス宣言の周知啓発。

基本目標		健康で生き生きと暮らせるまち		市民の評価				
施策(取組方針)	1	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう	大	小〈満足度〉大				
取組分野	1	地域福祉	重要度〉小	中央値 53.6				

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
	「地域福祉」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	68.6%	74.5%	74.5%	73%	Α

2. 「主な取組」の評価

主な取組進捗評価		生捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針	
1	みよし市版地 域包括ケアシス テムの構築 B 計画通りに進 んでいる			・地域包括支援センターで基本となる総合相談事業、介護予防ケアマネジメント事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業の4事業のほか、地域包括ケアシステム構築のため、認知症総合支援事業、医療介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、地域包括ケア推進事業を実施した。・令和3(2021)年度から、ボランティアがゴミ出し支援を実施する「となりのみよしさん」を実施した。・三好丘緑行政区で認知症の人や家族の困りごとを地域の支援者がサポートをする取組である「チームオレンジ」を発足した。・サンライブで「世界アルツハイマー月間」や「人生会議普及啓発強化週間」を設け、特集コーナーを設置し普及啓発を実施した。	続的に実施する。 ・課題が複合化されており、高齢者に対する 地域包括ケアシステムだけでは適切な解決策
2	福祉サービスを 利用しやすい体 制づくり	В	計画通りに進んでいる	・障がい者 (児) の相談支援事業として、市内 9 事業所にて、相談支援専門員が、障がい者 (児) 本人やその家族の相談に応じ、必要な情報を提供 し、障がい者 (児) の権利擁護のために必要な援 助を実施。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、 物価高騰等による影響を受ける障がい福祉サービス 事業所に対し、経営支援を実施した。	いるサービスを充足できるよう検討していく。 ・みよし市障がい者自立支援協議会において、障がいのある人もない人も普通に暮らせる地域づくりを目指しより良い施策を
3	生活困窮者の 自立支援体制 の充実	В	計画通りに進んでいる	・くらし・はたらく相談センターにおいて、困窮者に対しての相談支援、就労準備支援を実施。 ・はたらく相談センターと同フロアにあるジョブサポートみよし(ハローワーク出先)と連携を図り、困窮者の自立を支援。	・地域、民間企業、関係機関と更なる連携の強化をする。
4	福祉・医療・介護の連携の推進	В	計画通りに進んでいる	・第8期介護保険事業計画におかよし地区を新たな日常生活圏域として分割し、地域包括支援センターを設置することを位置付け、令和3(2021)年度に委託法人の公募、選定、設置場所のカリョンハウスの改修工事を行った。 ・令和4(2022)年4月1日「おかよし地域包括支援センター」を設置した。	・市民病院で対応する医療介護連携拠点の 規模や場所等について、病院の将来構想や 病院長寿命化計画と整合を図りながら検討 する必要がある。

・重層的支援体制の構築

基本目標	2	健康で生き生きと暮らせるまち		市民の	評価
施策(取組方針)	1	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう		小〈満足	上度〉大 中
取組分野	2	高齢者福祉	重要度》 小	中央値	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
高齢者福祉に関する取り組 みの市民満足度割合	「高齢者福祉」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	63.0%	66.8%	68%	68%	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	生 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	ひとり暮らしの 高齢者などの 見守りの充実 B 計画通りに進 んでいる			ルバーハウジング)、高齢者配食サービス事業による	い、現行事業で使用しているツールより良 いものががあれば、その都度見直しを行っ
2	認知症により行 方不明になるお それのある高齢 者などの見守り ができる体制の 構築	В	計画通りに進んでいる	・認知症高齢者等あんしん補償事業として対象者の情報を事前に登録し、行方不明となった場合に対応できるような体制づくりを構築。 ・認知症高齢者等家族支援としてGPS端末を貸し出し、行方不明となった対象者の早期発見と安全が確保できるよう支援した。また、警察と連携し、近隣市町、尾三消防署、CATV等にも情報提供、協力依頼をできる体制づくりを構築した。	してもらえるよう左記事業を継続的に行い、現行事業で使用しているツールより良いものががあれば、その都度見直しを行っ

・ICT等を活用した、 <mark>認知症高齢者等の</mark> 新たな見守りツールの検討	

基本目標	2	健康で生き生きと暮らせるまち		市民の	評価
施策(取組方針)	1	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう		小〈満足	度)大
取組分野	3	介護	重要度〉小	中央値	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
要介護(要支援)の認定 率	65歳以上の高齢者における要介護 (要支援)の認定を受けた者の割合	11.60%	13.24%	14.62%	11.70% 以下	D

2. 「主な取組」の評価

		主な取組	ĭ		成果	積み残し課題や今後の方針
1		介護サービスの 充実	В	計画通りに進んでいる	1	みよし市介護保険運営審議会において、 高齢者福祉計画兼介護事業計画の目標に対する進行管理や評価を的確に行い、3年ごとに見直しを行いながら、計画に位置付けられた事業を効果的、効率的かつ迅速に実施することにより、一層の介護サービスの充実に努める。
	2	介護サービスの 質の向上	В	計画通りに進んでいる	各市の介護サービス事業者への指導監督(令和3	市内事業所と連携し、市内事業所で働く介護職員の「個々の能力や就業年数等に応じた段階別研修」の体制整備を進め、より一層の介護サービスの質の向上に努める。
	3	地域密着型サービスの充実	В	計画通りに進んでいる	4事業所、認知症対応型共同生活介護3事業所、認	地域密着型サービスであることから、原則として本市の市民のみが利用可能なサービスであり、施設と情報を共有し、需要と供給のバランスを把握し適切なサービス提供を行っていきます。また、事業の適正な運営と質の高いサービスを提供できるよう、適切な指導監督を実施していく。
	4	介護給付の適 正化	А	計画以上に進んでいる	業所と全地域包括支援センターを対象にケアプラン点検	真に介護サービスを必要とする受給者に対し公平かつ質の高い適正なサービス提供できるよう、要介護認定の適正化、ケアプランの点検、住宅改修や福祉用具の実態調査、縦覧点検及び医療情報との突合などを継続して実施することにより、介護給付の適正化に努める。

・介護人材の確保、育成に	関する取組み		

基本目標 2 健康で		健康で生き生きと暮らせるまち	生生きと暮らせるまち 市民の評価	
施策(取組方針)	1 豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう		大	小〈満足度〉大
取組分野	4	障がい者福祉	重要度》 小	中央値 53.6

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29	R4	中間年	中間年	達成度
扫标石	旧保の足我	現状値	実績値	見込み	見込み 目標値 準	
障がい者(児)が地域で生	障がいや生活で困っていることや不安に					
き生きと暮らし続けられるよう	思っていることが「ない」と答えた障がい者	14.60/	- 11 本字	200/	200/	^
になると感じる障がい者	(児) の割合 (障がい者福祉計画に	14.6%	調査実施中	20%	20%	А
(児) の割合	関するアンケート)					

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	í	生捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	障がいのある・ なしに関わら ず、互いに尊重 し合える環境づ くり	В	計画通りに進んでいる	・2 小学校、3 中学校で、福祉実践教室を開催し、点字や手話、車いす等の体験を実施。 ・8 小学校、1 中学校で、パラスポーツの体験及び認知症サポーター講座を開催。 ・障がい者理解を深めるとともに、社会に貢献しようとする気持ちを育むことができた。	祉を市民にアピールする機会が無くなったことや、各福祉事業所のイベントも控えていたため広報活動が充分できていないこと
2	一人一人のラ イフステージに 応じた支援の 推進	В	計画通りに進 んでいる	・親子通園ルームふたばで親子支援。 ・児童発達支援事業所よつばで子どもの発達支援。 ・保育所等訪問相談支援で職員支援。 ・障がい者相談支援事業で在宅の障がい者(児)とその家族の生活支援(相談支援事業所9事業所)・障がい者就労支援事業で就労支援。 ・公的機関、学校、及び民間の福祉事業所が、乳幼児期から成人期まで、保健や医療、教育、福祉、就労などライフステージに応じた支援を行い、障がい者(児)が地域で生活していく一助に努めた。	達支援センターの設置を目指し検討を進めていく。
3	障がい者 (児)の地域 生活を支える 環境の整備、 充実	В	計画通りに進 んでいる	・障害者グループホーム家賃補助(令和元(2019)年度開始) ・計画相談支援等事業運営費補助(令和3(2021)度度開始) ・利用者に対して利用費用の助成制度、福祉事業者に対して補助金制度を整備など、福祉サービスの充実を図ることによって、障がい者(児)が住み慣れた地域で、適切な支援がいつでも受けれるようにした。 ・令和2(2020)年度に成年後見支援センターを設置し、成年後見制度の啓発や利用に関する支援を行うことができた。	所を利用して自立した生活ができるよう、必要な福祉サービスの充実を図る。 ・災害時、避難行動に支援を要する人たちの個別避難行動計画の策定を推進するなど安全確保の仕組みを確立する。 ・今後増加していく成年後見制度の利用
4	福祉に関する 相談支援体制 の充実	В	計画通りに進んでいる	・市役所に福祉総合相談センター(ふくしの窓口)を設置し、児童、障がい者(児)及び高齢者の困りごとを総合的に対応する窓口として相談を受け複雑化する問題に対応した。 ・くらし・はたらく相談センターを中心に、障がい者(児)の相談支援専門員を配置し相談支援の充実を図った。(相談支援事業所9事業所)	・障がい者相談支援専門員の人材を確保し、研修会を通して質を高めより良い相談支援を行う。

- ・成年後見制度の充実
- ・農福連携事業についての検討

基本目標	2 健康で生き生きと暮らせるまち			市民の評価			
施策(取組方針)	2	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	大	小〈満足度〉大 ◆ 中			
取組分野	1	地域医療	重要度〉 小	中央値 53.6			

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29	R4	中間年	中間年	達成度
1日1示1口	日かりた我	現状値	実績値	見込み	目標値	建冰皮
特定健康診査受診率	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査を受診した者の割合	37.3%	36.8% (12月末現在見込)	46.2%	60%	С
後期高齢者健康診査受診 率	75歳からの後期高齢者医療保険被保 険者を対象とした健康診査を受診した 者の割合	34.8%	32.4% (12月末現在見込)	37.0%	40%	С

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	主な取組進捗評価		成果	積み残し課題や今後の方針
	救急医療対策の推進	В	計画通りに進んでいる	・休日・夜間等の救急医療体制の確保を西三河北部医療圏の構成市(豊田市、みよし市)で医師会、歯科医師会の協力を得て救急医療対策を推進した。	病時に適切な指示が受けられるよう「かか
:	医療保険制度 の健全な運営 と健康寿命の 延伸の推進	В	計画通りに進んでいる	・集団健診の実施や健診期間の延長等を行い健診を受けやすい環境整備を行った。 ・過去の健診受診を分析し効果的な受診勧奨の実施。	・無関心層に向けた普及啓発を積極的に行う。

・感染症拡大防止対策の推進		

基本目標 2 健康で生き生きと暮らせるまち		健康で生き生きと暮らせるまち	市民の評価		
施策(取組方針)	2	E涯にわたって健康に暮らせるようにしよう		小〈満瓦	建度〉大
取組分野	2	健康づくり	重要度〉小	中央征	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
健康づくりに関する取り組みの 市民満足度割合	「健康づくり」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	70.6%	72.8%	75%	75%	Α

2. 「主な取組」の評価

主な取組		ì	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	市民の健康づく りに対する動機 づけ	В	計画通りに進んでいる	・健康診査結果に基づき、個人にあったプログラムを作成し健康度評価を行った。 ・インセンティブ制度を活用し、企業、関係団体等と連携し社会全体で個人の健康づくりを支え、健康習慣づくりに繋げるため健康マイレージ事業を実施。	づくりと無関心層に対する環境づくり、仕
2	市民との協働に 2 よる健康づくり 事業の推進	В	計画通りに進んでいる	・健康に関する理解を深め、普段からの運動習慣や健全な食生活の実践に対する意識向上を図るため、市民の方で構成する「ヘルスパートナー」、「食生活健康推進委員会」及び東海学園大学との協働により健康づくりに関する講座、教室を開催。・令和4(2022)年度より東海学園大学の協力を得て高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施推進事業として事業実施	

- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施推進事業の推進
- ・オーラルフレイル予防の推進

基本目標	2	健康で生き生きと暮らせるまち		市民の評価			
施策(取組方針)	2	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	大	小〈満気	度〉大		
取組分野	3	スポーツ	重要度》 小	中央値	· 央 値 74.1		

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
成人のスポーツ実施者の割合	週1回以上スポーツをする人の割合	49.6%	51.2%	52%	56%	C

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	スポーツ活動の 支援	В	計画通りに進んでいる	・令和4(2022)年度にスポーツ祭、マラソン駅伝大会の実施内容を見直し、市民が参加しやすいイベントを実施した。 ・令和3(2021)年度からスポーツ教室の対象者を広げ、成人を対象とした教室を開催した。 ・スポーツ振興団体へ補助金を交付し、市民の自主的なスポーツ活動の支援を実施した。	
2	総合型地域ス ポーツクラブの 育成	В	計画通りに進んでいる	・市内3クラブへ補助金を交付し、地域住民のスポーツ振興、健康づくり、地域交流を目的とした講座を実施した。	
3	スポーツ指導者の養成	В	計画通りに進んでいる	・スポーツ関係団体の指導者、役員及びスポーツ指導に興味がある市民を対象に、みよし市スポーツ協会が年2回指導者養成講習会を開催した。	
4	スポーツ施設・設備の整備	В	計画通りに進んでいる	・令和 3 (2021)年5月にみよし市スポーツ施設再配置計画を策定し、スポーツ施設の適切な整備、維持管理を実施した。	

3. 目標達成に向けて後期基本計画で新たに位置づける取組

部活	動σ)地垣	熪	行対	応。

・障がい者のスポーツ参画。

基本目標	2	健康で生き生きと暮らせるまち	市民の評価	
施策(取組方針)	2	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	大	小〈満足度〉大中
取組分野	4	生きがい・働きがい	重要度〉 小	中央値 53.6

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
生きがい・働きがいに関する取り組みの市民満足度割合	「生きがい・働きがい」の取り組みに対する 満足度割合(市民アンケート)	76.0%	69.1%	83%	79%	Α

2. 「主な取組」の評価

主な取組 進捗評価		生 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針	
1	高齢者が希望を持って働ける 環境づくり	В	計画通りに進 んでいる		をはかるため、シルバー人材センターに対し ての補助を継続する。
2	交流活動の場 の充実	В	計画通りに進んでいる	・いきいきクラブの活動等により、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、高齢者の生活意欲の向上や保健福祉の向上を図ることを目的に、いきいきクラブみよし連合会の事業に対して補助金交付を実施した。	・交流活動の場を充実させるため、いきい きクラブみよし連合会に対しての補助を継

・いきいきクラブを始めとする高齢者の活動の場の充実につながる取組の検討	
C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	

基本目標	3	安全で安心して暮らせるまち	市民の評価			
施策(取組方針)	1	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう	大	小〈満足度〉大		
取組分野	1	防災·減災	重要度》 小	中央値 53.6		

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
防災訓練への参加率	コミュニティ地区や公共施設などで実施される防災訓練への参加率	17.4%	16.6%	19%	20%	O

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	災害時の対応 連携強化	В	計画通りに進んでいる	・市と自主防災会との合同防災訓練をはじめ、避難所開設訓練への自主防災会やトヨタ自動車の参加、避難所運営図上訓練への自主防災会の参加など、産官民の連携強化を進めた。	
2	地域防災力の 充実強化	В	計画通りに進んでいる	・防災リーダー養成講座や防災ボランティアコーディネーター育成などを開催し、地域の防災・減災の中心となる人材を育成したほか、各種訓練への自主防災組織の参加を通じて自主防災組織の強化支援を行った。	識を持った市民と自主防災組織の連携
3	災害発生時に 備えた対策の 推進	В	計画通りに進んでいる	が成代ファイロのとの延出機能の近日を目をと	要な機能の強化や、拠点備蓄倉庫を活用し
4	公共施設の非 構造部材の耐 震化と通行障 害既存不適格 建築物の耐震 化促進	С	計画より遅れて いるが進んでい る	・令和 2 (2020)年度 学校給食センター天井耐震 化済み ・令和 3 (2021)年度 カネヨシプレイス天井耐震化 済み	の促進

市民一人ひとりの防災意識の向上			

基本目標	3	安全で安心して暮らせるまち		市民の	評価	
施策(取組方針)	1	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう	大	小〈満気	≧度〉大	
取組分野	2	消防	重 要度〉 小	中央佢	53.6	中 央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
市内での火災出動件数	1年間の市内での火災出動件数	24件	18件(12月末現在見込)	8件	20件以下	Α

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ď	生 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	消防団への加入促進	С	計画より遅れて いるが進んでい る	・みよし市消防団PR動画のYoutube配信及び Twitterを活用し、消防団活動の見える化に取り組 み、Twitterからは消防団への入団者があった。	
2	消防団装備の 充実	В	計画通りに進んでいる	・配備から15年を経過する消防団車両の更新を行った。 ・13分団にチェーンソーを配備し、装備品の充実を図った。	団の装備品を拡充し、それに伴う訓練を
3	消防団員の処 遇改善	В	計画通りに進んでいる	・消防団員の年額報酬と出動報酬の増額など、消防活動に報いる処遇が改善された。 ・個別施設計画に基づき、計画的に各分団の詰所 改修を行った。	・消防団員に対する福祉事業の充実を図る必要がある。
4	火災予防運動 の実施	В	計画通りに進んでいる	・火災予防週間及び年末の特別警戒期間中において、防火パトロールによる予防啓発や、ふれあい防火による園児への防火指導を行った。	

- ・多様化する災害に対する資機材の配備と、それに伴う教育訓練
- ・消防団員確保のための活動の見える化、団員と協力した啓発活動及びSNSの活用

基本目標	3	安全で安心して暮らせるまち		市民の評価
施策(取組方針)	2	交通事故や犯罪のないまちをつくろう	大	小〈満足度〉大
取組分野	1	交通安全	重要度〉 小	中央値 53.6

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
市内での人身交通事故件数	1年間の市内での人身交通事故件数	277件	137件 (12月末現在見込)	150件	250件 以下	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	j	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
-	交通安全に対 する意識の向 上	В	計画通りに進んでいる	・年4回の交通安全運動期間中に交通委員、交通指導員の安全指導をはじめ、警察や市民と啓発活動を行った。	
2	交通安全教室 の開催	В	計画通りに進んでいる	・保育園、幼稚園、小中学生に対し、交通安全教室を開催した。 ・高齢者に対し安全運転を意識付ける交通安全教室を開催した。	て、交通安全に係る意識の向上を図って
	交通安全施設 の整備	В	計画通りに進んでいる	・横断歩道設置のための各種設備の設置を行った。 ・運転手への注意喚起のためのカラー舗装の設置、 横断者安全明示装置の設置を行った。	・横断者安全明示装置の認知度を向上させる必要がある。

・自転車乗車時におけるヘルメット着用徹底の普及		

基本目標	3	安全で安心して暮らせるまち		市民の	評価
施策(取組方針)	2	交通事故や犯罪のないまちをつくろう	大	小〈満瓦◆	度〉大
取組分野	2	防犯	重要度〉小	中央値	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
市内での犯罪発生件数	1年間の市内での犯罪発生件数	544件	330件 (12月末現在見込)	400件	490件 以下	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	Ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	子どもたちへの 安全対策の推 進	В	計画通りに進んでいる	・小学校での防犯教室を開催し、防犯意識の向上を図った。	・今後も年齢に応じた適切な防犯啓発を行っていく
2	防犯灯、防犯カメラの設置支援	А	計画以上に進んでいる	・行政区要望に基づく防犯灯の設置を進めた。 ・行政区への防犯カメラ設置費補助金に加え、個人向けの防犯カメラ設置費補助を新たに開始した。 ・通学路交通安全プログラムに基づく交通危険箇所について、必要性や優先順位を検討した上で、通学路	・通学路防犯カメラについても、今後も適
3	地域の防犯力の向上	В	計画通りに進んでいる	・防犯パトロール隊への資材の提供や連絡会議の開催を行い、活動を支援した。 ・不審者情報などの情報を安心ネットを通じて広く発信した。	を行う必要がある。
4	消費生活被害 防止のPR	В	計画通りに進んでいる	・週4回の消費生活相談を行っており、令和3 (2021)年度は138件の相談に対応した。	・今後も継続して実施していく

高齢者の防犯意識の向上	

基本目標	4	魅力と活力があふれるまち		市民の	評価	
施策(取組方針)	1	工業のさらなる成長を支えよう	大	小〈満只	建度〉大	
取組分野	1	工業	重要度〉 小	中央値	<u> </u>	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
工業系用途地域の面積	市街化区域内の工業系用途地域の面積	403.0ha	416ha	416ha	415ha	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	生 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	企業誘致の推進	В	計画通りに進んでいる	・福田池下地区の工業団地の造成が令和 4 (2022)年度完了予定。	・明知八和田山地区での企業誘致の検討。
2	中小企業・小規模企業を支援する環境づくり	В	計画通りに進んでいる	・人材の確保・育成、研修の受講、事業の合理化・ 拡充に対し、商工業活性化補助金の交付(令和 3(2021)年度商工業併せて121件)	
3	資金調達の円 滑化	В	計画通りに進んでいる	・融資に係る信用保証料の一部に対して、補助金を 交付した。(令和3(2021)年度33件)	・今後も継続的に補助金の交付等を進めていく。

•		

基本目標	4	魅力と活力があふれるまち		市民の評価
施策(取組方針)	2	まちのにぎわいや魅力を生み出そう	大	小〈満足度〉大
取組分野	1	商業	重要度〉小	中央値 53.6

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
商業に関する取り組みの市民 満足度割合	「商業」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	36.1%	40.5%	40.5%	38%	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	生 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	中小企業・小規模企業を支援する環境づくり	В	計画通りに進んでいる	・販路の拡大や人材の確保・育成、商標などの知的 財産取得に対し、商工業活性化補助金の交付 (令和3(2021)年度商工業併せて121件)	・商工会と連携しながら継続的に補助金 交付を進めていく。
2	資金調達の円 滑化	В	計画通りに進んでいる	・融資に係る信用保証料の一部に対して、補助金を 交付した。(令和3(2021)年度33件)	・今後も継続的に補助金の交付等を進めていく。
3	創業の促進	В	計画通りに進んでいる	・商工業活性化補助金(創業事業)の交付 ・みよし創業塾の開催	・みよし創業塾については継続的に開催していくほか、新たな創業の促進策についても検討を進めていく。

•		

基本目標	4	魅力と活力があふれるまち		市民の	評価
施策(取組方針)	2	まちのにぎわいや魅力を生み出そう	大	小〈満足	建度〉大
取組分野	2	観光・魅力発信	重要度〉 小	◆ 中央値	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
観光客数	観光施設や観光的イベント来訪者の人 数の合計	171,588人	165,201人 (12月末現在)	167,287人	172,000人	D

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	j	生 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	魅力あるまつりの開催	В	計画通りに進んでいる	・三好池祭り、三好いいじゃんまつり、三好大提灯まつりの開催。(令和 4 (2022)年度参加者数123,945人)	今後も継続的にまつりを開催していく
2	観光情報の発信力強化	В	計画通りに進んでいる	・市内 7 か所にARを利用した看板を設置。 ・まつりのポスターや観光ガイドマップにスマートフォン等でプロモーション動画を見られるようにしている。	・更なる観光情報法の発信方法の検討。 ・ビジターセンターの活用検討。
3	友好都市交流 の促進	С	計画より遅れて いるが進んでい る	・長野県木曽町と連携して木曽町宿泊施設利用助成券の発行を実施。 ・各種団体が友好都市交流を行う友好都市ふるさと 交流事業は令和 2 (2020), 3 (2021)年度はコロナ禍の影響もあり実績がなかった。	・今後も継続的に事業を実施していく

•		

基本目標	4	魅力と活力があふれるまち		市民の	評価	
施策(取組方針)	2	まちのにぎわいや魅力を生み出そう	大	小〈満足	建度〉大	1
取組分野	3	地域活力	重要度〉小	◆ 中央値	央 値 74.1	

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29	R4	中間年	中間年	達成度
旧标石	担保の足我	現状値	実績値	見込み	目標値	建 风浸
地区コミュニティ活動への参加者数	各地区コミュニティ活動に参加した人数の合計	7,186人	例年、年度末の 行政区一括交付 金実績報告書か ら実績値を計算し ているため現在末 定	8 000 1	8,000人	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	生捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	行政区と地区 コミュニティ推進 協議会への支援	В	計画通りに進んでいる	・行政区や地区コミュニティ推進協議会へ一括交付金を交付し、団体の育成及び円滑な自主的な活動支援を行い、地域活動の活性化を図ることができた。	議会への支援を継続的に行っていく。
2	市民団体などによる自主的な地域課題解決への支援	В	計画通りに進 んでいる	・主体的、自発的にまちづくりに取り組む公益活動を 行う市民団体への支援を目的とした「がんばる地域 応援補助金」を交付し、制度開始から計16団体が 活用した。 ・令和2(2020)年度から補助対象団体の枠を広 げることにより更なる団体活動への支援を行った。	行っていく。
3	地域活動の拠点となる地区拠点施設の整備	В	計画通りに進んでいる	・令和元(2019)年8月に市内初の地区拠点施設である「おかよし交流センター」がオープンした。 ・みなよし地区における拠点施設について、令和5(2023)年度の建設工事着工に向けて設計業務をはじめ準備を進めている。	いては、地区拠点施設のみならず市全体 の公共施設等のあり方に含めて検討して
4	三好ケ丘駅前 の再整備	В	計画通りに進んでいる	みよしの北の玄関口としての魅力づくり、にぎわい空間の創出に向けた駅前広場の再整備工事を実施 し、完了した。	

・今後の地区拠点施設のあり方

基本目標	4	魅力と活力があふれるまち	市民の評価				
施策(取組方針)	3	地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう	大	小〈満気	建度〉大)	
取組分野	1	農業	重要度〉小	◆ 中央値	中 免 值 53.6	1	

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
担い手農家の経営耕地面積	認定農業者の経営面積	257ha	288ha (12月末現在見込み)	290ha	265ha	Α

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ď	生 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	農業支援の推進	В	計画通りに進 んでいる	・農業振興事業補助金により農業機械購入費等を支援し、担い手農家の農業経営の安定と農業所得の向上に努めた。 ・さんさんの郷にてふれあい農園の貸し出し、野菜作り講習会の開催、援農ネットみよしによる農業研修を行い、新規就農者の確保に努めた。	後継者不足、担い手不足は深刻であり、 引き続き農業者支援と新規就農者の確
2	農業経営基盤 の強化	В	計画通りに進んでいる	・認定農業者利用集積促進事業補助金により農地の賃借料を支援し、担い手農家による農地の集約・ 集積を推進した。	
3	農業用水供給などの支援	В	計画通りに進んでいる	・畑地・果樹園及び水田に農業用水を配水するための市内10か所のポンプ運転費を補助し、農家負担の軽減を図り農業経営の安定を図った。	・事業費は、電気料金の高騰や日照り、 気候に影響され、不明確である。
4	未来型産業などの支援	D	進んでいない	・6 次産業化を推進するため、新商品開発や販路開拓の事業計画を募集・選考し、採択された事業に補助金を交付する事業について、新たな事業の申請は無かった。	があれば相談いただくよう、より広く事業を

3. 目標達成に向けて後期基本計画で新たに位置づける取組

・スマート農業などの支援

農業の人手不足に対応するため、ICT技術やロボット技術を利用したスマート農業の導入を支援する。

基本目標	4	魅力と活力があふれるまち	市民の評価				
施策(取組方針)	3	地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につ		小〈満足	建度〉大	1	
BOSK (FIXINGS SET)		なげよう	大			₽	
取組分野	2	地産地消	里要度〉小	中央信	7	央 値 (4.1)	

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
食育の普及に関する事業・活 動数	食育に関する講座(教室)や体験学 習、P R活動などの事業・活動数	102事業	94事業	110事業	116事業	С

2. 「主な取組」の評価

	主な取組進捗評価		進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	地産地消の推進	В	計画通りに進んでいる	・地産地消を促進するため、地元産農産物を直接販売する軽トラマルシェや産業フェスタみよしを開催した。	
2	食育の推進	В	計画通りに進んでいる	・毎年6月の食育月間に、市役所東側壁面に懸垂幕による食育啓発を行った。 ・みよし食育ホームページを開設して、食育にまつわる情報を発信し、食育の啓発に努めた。	・第4次食育推進計画を策定し、さらなる食育の推進に努める。

・第4次食育推進計画の策定		

基本目標	5	自然環境を守り未来へつなぐまち		市民の評価
施策(取組方針)	1	緑を守り育て、まちを美しくしよう	大	小〈満足度〉大
取組分野	1	緑のまちづくり	重要度〉小	中央値 53.6

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
市民1人当たりの都市公園 面積	市民1人当たりの公園の供用面積	14.59㎡	16.36㎡	16.36m	14.60m	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組進捗評価		進 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針	
1	緑化景観の創出	В	計画通りに進んでいる	・公園で活動する団体や民有地の緑化推進のため、 都市緑化推進事業補助金を交付し支援した。 ・花苗を地域に配布し、公共空間の緑花を推進した。 ・記念樹を配布し、民有地の緑化を推進した。	・都市緑化推進事業補助金をより有効活用してもらえるよう周知を継続的に行う。	
2	緑地の保全	В	計画通りに進んでいる	・市内に残る鎮守の森や里山などを「緑化指定地区」に指定し、緑の資源の保全を図るため、緑化指定面積 49,000㎡×25円/㎡を報奨金として各行政区を支援した。	継続的に支援する。	
3	公園・緑地の 維持管理	В	計画通りに進んでいる	・地域の特性に応じた公園・緑地の魅力や安全性を向上するため、維持管理を行った。	・労務費等の高騰により、維持管理費の 増大が課題。 ・老朽化した公園施設の再整備。	
4	公園・緑地の 整備促進	В	計画通りに進んでいる	・三好公園(東エリア)や保田ヶ池公園等の整備を 計画的に実施した。	・みどりと景観計画にある未整備公園の整備を継続的に実施する。	

・老朽化した公園施設の再整備		

基本目標	5 自然環境を守り未来へつなぐまち		市民の評価		
施策(取組方針)	1	緑を守り育て、まちを美しくしよう	大	小〈満足	度〉大中
取組分野	2	環境美化	重要度》 小	中央値	◆ 央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
1日1人当たりのごみ排出 量 (家庭系)	市民1日1人当たりの家庭系ごみの排出量	524g	512g (令和3年)	502g (令和4年)	492g 以下	С

2. 「主な取組」の評価

	主な取組 進捗評価			成果	積み残し課題や今後の方針	
1	家庭ごみの分別の推進	А	計画以上に進んでいる	・令和元(2019)年度から計画収集によるペットボトルの分別収集開始。 ・令和2(2020)年度から計画収集によるプラスチック製容器包装の分別収集開始。ごみ分別アプリ「さんあ~る」の運用開始。	るプラスチック製品の分別収集開始。(プラスチック製容器包装とプラスチック製品の	
2	環境美化の推進	В	計画通りに進んでいる	・環境美化指導員による行政区内の巡回実施で判明した、環境美化が守られていない箇所について、ごみの回収及び啓発看板による啓発を実施。・市内一斉環境美化の日に回収されたごみの回収を実施。		
3	不法投棄防止 対策の推進	В	計画通りに進んでいる	・環境美化指導員による行政区内の巡回実施や市民からの通報で判明した、不法投棄について、ごみの回収及び啓発看板による啓発を実施。		
4	犬·猫死体処 理	В	計画通りに進んでいる	・犬猫等動物死体処理業務委託により、道路上等で死亡した犬・猫等の死体を適切に回収・処理。 ・令和3(2021)年度の処理件数は、312件。	・引き続き、委託により適切な処理を実施していく。	
5	地域生活排水 路対策の推進	В	計画通りに進んでいる	・地域生活排水路清掃事業補助金の交付により、 行政区が実施する地域生活排水路の清掃活動を 支援。・令和3(2021)年度は11行政区に対し補助金を 交付。	路の清掃活動を支援していく。 ・清掃活動で生じる土砂などが、廃棄物	
6	不燃物埋立処 分場の管理運 営	В	計画通りに進んでいる	・不燃物埋立処分場として一般家庭からのコンクリートがらを受け入れ、適正処理。 ・令和3(2021)年度は41件、9,020kgを受け入れ。	般家庭からのコンクリートがらを受け入れ、	

目標達成に向けて、既存の主な取組の中で事業を精査していく。

基本目標	5	自然環境を守り未来へつなぐまち		市民の	評価	
施策(取組方針)	2	環境にやさしいまちにしよう	大	小〈満足	建度〉大	
取組分野	1	地球環境の保全	重要度〉 小	中央値	★ 53.6	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
CO2総排出量	市内におけるCO2総排出量	101.2万トン (平成27年)	96.2万トン (令和元年)	95.8万トン (令和2年)	90万トン 以下	С

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	進捗評価		成果	積み残し課題や今後の方針	
1	省電力・省エネルギーの推進	В	計画通りに進んでいる	・エコエネルギー促進事業補助金及び事業用低公害車購入等費用補助金の交付により、省電力・省エネルギーの推進を実施。・令和元(2019)年度からZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)を補助対象に追加。・令和3(2021)年度は燃料電池19件、蓄電池73件、HEMS79件、充給電設備5件、ZEH9件、低公害車35件に補助金を交付。・令和4(2022)年度から低公害車のリースを補助対象に追加。	・新築の住宅については、比較的省電力・省エネルギー機器等の導入がしやすいが、既存住宅の省電力・省エネルギー化が課題。 ・今後、家庭での消費電力の多い、エアコン、冷蔵庫、照明を対象とした補助金を	
2	再生可能エネ ルギーの普及啓 発	В	計画通りに進んでいる	・エコエネルギー促進事業補助金の交付により、再生可能エネルギーの普及推進を実施。 ・令和3(2021)年度は太陽光発電システム116件に補助金を交付。 ・令和4(2022)年度後半から太陽熱システムの設置を補助対象に追加。	能エネルギー機器等の導入がしやすいが、 既存住宅の再生可能エネルギー導入が 課題。	
3	近隣市町との 連携によるエネ ルギーアクション プランの実施	В	計画通りに進んでいる	・令和3(2021)年2月5日にゼロカーボン市区町村協議会が設立され、参加。それに伴い、令和4(2022)年3月31日で西三河首長誓約を解散。・令和3(2021)年度にみよし市ゼロカーボンシティ推進検討会を設置。広域連携を含めた本市のゼロカーボン推進のための施策の検討を開始。	があり、今後どのように広域で連携していく のかが課題。 ・みよし市ゼロカーボンシティ推進検討会	
4	環境調査の推 進	В	計画通りに進んでいる	・委託により降下ばいじん調査、大気測定調査、水質測定調査、自動車騒音調査を実施し、現状を把握。		

・ゼロカーボンシティの推進

基本目標	5	自然環境を守り未来へつなぐまち		市民の	評価	
施策(取組方針)	2	環境にやさしいまちにしよう		小〈満瓦	建度〉大	
取組分野	2	循環型社会	重要度〉小	中央値	♦ 1 53.6	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
再利用資源回収率	家庭系ごみの総排出量に占める再利用 資源回収量の割合	21.1% (平成28年)	15.6% (令和3年)	18.3% (令和4年)	27%	D

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	Ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	再利用資源回 収率の向上	В	計画通りに進んでいる	・令和元(2019)年度から計画収集によるペットボトルの分別収集開始。 ・令和2(2020)年度から計画収集によるプラスチック製容器包装の分別収集開始。ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の運用開始。 ・令和2(2020)年7月に市内3箇所目となるリサイクルステーションを新設。	るプラスチック製品の分別収集開始。(プラスチック製容器包装とプラスチック製品の一括回収) ・令和 5 (2023)年度にリサイクルステー
2	リサイクル活動の支援	R		・資源ごみ回収推進に関する補助金の交付により、 市内の団体が実施する資源回収活動を支援。 ・令和3(2021)年度は10団体に対し補助金を交付。	・引き続き、補助金により資源回収を実施する団体を支援していく。
3	生ごみ減量化の推進	В	計画通りに進んでいる	・生ごみ処理機購入費補助金及び生ごみ堆肥化容器購入費補助金の交付により、生ごみ減量化に取り組む市民を支援。 ・令和3(2021)年度は生ごみ処理機24件、生ごみ堆肥化容器11件に補助金を交付。	し、フードドライブの実施などが必要。 ・引き続き、補助金による生ごみ減量化

既存の生ごみ減量化の推進の取り組みの中で、フードドライブなどの新しい施策を盛り込む。							

基本目標	6	快適で暮らしやすいまち		市民の	評価	
施策(取組方針)	1	生活の基盤が整ったまちをつくろう		小〈満足度〉大		
取組分野	1	土地利用	重要度》 小	◆ 中央値	央 値 74.1	

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
市街化区域の面積割合	市域に占める市街化区域の割合	32.8%	34%	34%	33%	Α

2. 「主な取組」の評価

	2. 「主な取組」の評価								
	主な取組	ď	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針				
1	計画的な土地 利用の推進	В	計画通りに進んでいる	 ・市街化区域内の低未利用地の利用促進を図るため、暫定用途地域の解消を行った。 ・東山地区の暫定用途地域の解消(令和3(2021)年3月) ・弥栄地区の暫定用途地域の解消(令和4(2022)年3月) ・天王地区の暫定用途地域の解消(令和5(2023)年3月予定) 	・引き続き市街化区域内の低未利用地の利用促進を図る。 ・地域の特性を生かし、バランスのとれた計画的な土地利用を推進するため、市街地に隣接した地域で、土地区画整理事業や地区計画を活用した計画的な市街地形成が可能な地域を検討する。				
2	まちづくり土地 利用条例によ る開発などの誘導	В	計画通りに進んでいる	 ・まちづくり土地利用条例に基づき、開発事業の手続や審査を行い、必要な指導等を行った。 ・開発事業の審査、手続き件数令和元(2019)年度81件令和2(2020)年度75件令和3(2021)年度74件 	・今後行われる開発事業に対しても、まちづくり土地利用条例に基づく手続や審査を適正に行い、必要に応じて指導や助言・勧告等を行う。				
3	地籍調査事業 の推進 B 計画通りに進んでいる			進め、土地に関する基礎資料を整備するため、計画的に地籍調査事業を実施した。	籍調査事業を計画的に進めていくととも				

基本目標	6	快適で暮らしやすいまち		市民の評価
施策(取組方針)	1	生活の基盤が整ったまちをつくろう	大	小〈満足度〉大
取組分野	2	河川	重要度》小	◆

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
準用河川の改修率	準用河川の総延長に占める整備済延 長の割合	54.5%	58.8%	59.6%	58%	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	Ú	生 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	準用河川の整 備	В	計画通りに進んでいる	・洪水による氾濫を防ぐため、茶屋川の河川改良工事を計画的に実施した。 ・砂後川は、計画どおり改修した。	・引き続き県費補助を受け、水害に対する安全を確保するための護岸整備に重点を置きつつ、自然に配慮した多自然型による整備を推進する。
2	雨水流出抑制 対策の実施	В	計画通りに進んでいる	・各戸における雨水対策として、雨水貯留タンク設置に係る補助金の交付を行った。	・三好中島地区の調整池第3号の整備を進めていく。 ・開発等において、雨水貯留浸透施設の設置が必要である旨を周知していく。 ・雨水貯留タンク設置を促すため、広報、ホームページ等で周知していく。

基本目標	6	快適で暮らしやすいまち		市民の	評価	
施策(取組方針)	1	生活の基盤が整ったまちをつくろう	大	小〈満足	2度〉大	
取組分野	3	下水道	重要度〉 小	中央値	53.6	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
水洗化率	下水道を利用できる全人口のうち、下水道に接続している人口の割合	92.8%	92.9% (12月末現在見込)	93.0%	93.4%	В

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	生 捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	下水道などの 汚水処理の普 及	В	計画通りに進んでいる	・三好西部地区等の本管を整備した。(H29年度 0.882km、H30年度1.546km、H31年度 0.838km、R2年度1.203km、R3年度 1.521km) ・向管工事補助金を交付し、下水道の整備を推進 した。(R4年度2件、R2年度1件、H31年度1件)	
2	下水道などへの 接続による水 洗化の促進	В	計画通りに進んでいる	・未接続家庭へ接続を促す文書を送付した。(R3年度35件、R2年度138件、H31年度30件)	下水道への切替えは費用がかかるため、 今後も根気強く接続促進を行う。
3	公共下水道へ の統合	В	計画通りに進んでいる	・令和2年4月に東山浄化センターを公共下水道へ接続した。・他の農業集落排水施設及びコミュニティ・プラント施設を、上位計画である全県域汚水適正化処理構想において公共下水道区域に位置づけた。	基本設計・実施設計を経て、公共下水 道へ接続していく。

下水道管路施設の機能保全と維持管理の効率化

[・]広域化事業の推進

基本目標	6	快適で暮らしやすいまち		市民の	評価
施策(取組方針)	2	 便利で快適な住環境をつくろう	l	小〈満只	建度〉大
NESK (AVIET) 2 ET)		KATCHARACT (3)	大	•	#
T (D () T7		ハルナマ	要度〉		—————————————————————————————————————
取組分野	1	公共交通	小	中央信	[74.1] 直 53.6
					2 33.0

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
さんさんバスの利用者数	さんさんバスの年間利用者数	286,191人	285,000人	300,000人	315,000人	С

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	さんさんバスの 充実	В	計画通りに進んでいる	・令和4(2022)年4月にさんさんバスの路線等再編を実施し、路線、運行本数及び運行時間を拡充した。 ・キャッシュレス決済サービスを導入した。 ・バス車内にデジタルサイネージを設置して広告掲載を行った。	・環境配慮型次世代バスの導入。
2	地域公共交通 網形成計画の 策定と計画内 容の実践	В	計画通りに進んでいる	・令和 2 (2020)年 3 月にみよし市地域公共交通計画を策定した。 ・運行情報の待合環境整備利用しやすい環境整備。	進。
3	自家用車に過度に頼らない環境づくり	В	計画通りに進んでいる	・三好ケ丘駅前広場整備に合わせて公共駐輪場を 増設した。	・情報通信技術活用した移動サービスの提供。

・公共交通の利用促進

基本目標	6	快適で暮らしやすいまち	市民の評価			
施策(取組方針)	2	便利で快適な住環境をつくろう	大	小〈満足	度〉大	
取組分野	2	道路	重要度〉小	◆ 中央値	央 値 74.1 53.6	

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
都市計画道路整備率	都市計画道路の計画延長に占める整 備済延長の割合	79.1%	81.1%	81.1%	81%	Α

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	Ú	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	幹線道路の整 備	В	計画通りに進んでいる	・県道豊田和合線の一部について、拡幅工事が実施された。	・県道については、県への働きかけを継続していく。 ・南北軸は豊田知立バイパス線が暫定形で開通されまたが、早期整備が望まれる。 ・三好ヶ丘駒場線の打越地内の打越百々交差点から南は用地交渉が難航している状況である。
2	生活道路の整 備、維持・修繕	В	計画通りに進んでいる	・地域からの要請に沿いながら、予算の状況に合わせて整備を行った。 ・舗装修繕計画に基づき、舗装修繕工事を行う路線の路面の状況調査を行い、適正な工法を把握することができた。	の要望に沿いながら整備を進めていく。 ・維持管理については、路面状況等を確
3	橋の新設、維 持・修繕	А	計画以上に進んでいる	・橋梁定期点検の結果、予防保全・早期措置の判定が出ている6橋の修繕工事を行った。 ・橋梁定期点検の結果のうち、予防段階の判定が出ている橋梁の設計委託を行いました。	・計画的に橋梁定期点検を行い、順次 修繕を行っていきます。

- 1	

基本目標	6	快適で暮らしやすいまち		市民の評価			
施策(取組方針)	2	便利で快適な住環境をつくろう	大蚕	小〈満見	Z度〉大 中		
取組分野	3	市街地整備	重要度〉 小	◆ 中央値	央 値 74.1 直 53.6		

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
市街地整備済面積	土地区画整理事業の整備済面積と地区計画が定められた(区画整理を除く)整備済の面積	542.9ha	575.7ha (12月末現在見込)	598ha	575ha	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	生捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	住宅用地の整 備推進	В	計画通りに進んでいる	・三好中部特定土地区画整理事業を支援し、事業進捗を図った。	・土地区画整理促進区域(三好上地区)の整備手法の検討。
2	地区施設整備 事業の推進	В	計画通りに進んでいる	・三好中島地区計画における1号調整池、2号調整池及び中島1号公園の整備を行った。 ・令和4(2022)年度に2号調整池の整備を実施中。	島4号公園の整備。
3	都市計画道路 の整備促進	В	計画通りに進んでいる	・平池天王台線、青木線、東郷三好線及び蜂ヶ池線の整備を行った。	・平池天王台線、東郷三好線及び蜂ケ池線の未整備区間の整備。
4	地区計画制度 の活用	В	計画通りに進んでいる	・令和元(2019)年度に、莇生山田地区計画及び福田池下地区計画を策定。・福田池下地区は、基盤整備が完了。・莇生山田地区は、現在、造成中。	・今後も新市街地を整備する際には、地区計画を策定し、地域の実情に合った基盤整備を進めていく。

L		

基本目標	6	快適で暮らしやすいまち		市民の	評価	
施策(取組方針)	2	便利で快適な住環境をつくろう	大	小〈満足	足度〉大	
取組分野	4	景観	重要度》 小	中央佢	● 53.6	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
景観に配慮した地区数	景観に配慮した地区計画の策定数	6地区	6地区	6地区	6地区	Α

2. 「主な取組」の評価

主な取組		進捗評価		成果	積み残し課題や今後の方針
1	みどりと景観計画の推進	В	計画通りに進んでいる	・みどりと景観計画に基づく届出制度により、開発行 為等の景観形成基準への適合性について審査し	に目標年次を迎えるため、現況分析や課 題等を整理して計画の改定を行い、自
2	公共サインの整備	В	計画通りに進んでいる	・サイン計画に基づくデザインにより、おかよし交流センターの案内表示を設置(令和3(2021)年度)	公共サインを整備する際には、秩序を持たせたデザインとし、良好な景観の形成を 図る。

基本目標	6	快適で暮らしやすいまち	市民の評価		
施策(取組方針)	3	多様な世代の定住・移住を促進しよう	大	小〈満足度〉大	
取組分野	1	住まい	重要度》 小	中央値 53.6	

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
	住宅総戸数に占める耐震化された住宅					
住宅の耐震化率	(一戸建て住宅、長屋、併用住宅、共	87.5%	91%	92%	92%	Α
	同住宅) の割合					

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	進捗評価		成果	積み残し課題や今後の方針	
1	建築物の耐震 化促進	В	計画通りに進んでいる		・住宅の耐震診断・改修に関する補助制度の P R 等を引き続き行い、耐震化率の向上を図る。	
2	空き家の活用	В	計画通りに進んでいる	・空家実態調査を実施し、市内の空家の現況把握を行った。(令和2(2020)年度)	・空家等対策計画を策定し、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に推進する。	

基本目標	6	快適で暮らしやすいまち	市民の評価		
施策(取組方針)	3	多様な世代の定住・移住を促進しよう	大	小〈満足度〉大	
取組分野	2	雇用対策	重要度〉 小	中央値 53.6	

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
就労者数	ジョブサポートみよしを通して1年間に就職した人数	286人	144人	240人	290人	D

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	雇用対策の充 実	В	計画通りに進んでいる	・就労支援センターでの就労支援により令和 3 (2021)年度は2,628人の職業相談があった。	・今後もハローワークと連携し、継続して職業相談事業等を実施していく ・公契約条例を制定し、市発注事業に従事する労働者の適正な賃金、労働条件を確保していく。
2	就労支援の推進	В	計画通りに進んでいる	・就労支援セミナーを令和3(2021)年度は9回開催し、83人の参加があった。	・今後もセミナーの内容を精査しながら継続して事業を実施していく。
3	近隣地域との 連携による雇 用対策支援	В	計画通りに進んでいる	・近隣地域と連携し、年度に1回、就職フェアを開催した。令和3(2021)年度は79社が出展し、145名の参加があった。	

•		

基本目標	1	まちづくりの進め方		市民の	評価
施策(基本的な考え方)	1	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり	大	小〈満足	度)大中
取組項目	1	市民の参画と協働によるまちづくり	重要度》 小	◆	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
市民活動サポートセンター登 録団体数	市民活動サポートセンターを利用するための登録をしている団体数	55団体	53団体 (12月末現在見込)	55団体	60団体	D

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	生捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	行政区と地区 コミュニティ推進 協議会への支 援(再掲)	В	計画通りに進んでいる	・行政区や地区コミュニティ推進協議会へ一括交付金を交付し、団体の育成及び円滑な自主的な活動支援を行い、地域活動の活性化を図ることができた。	
2	市民団体などによる自主的な地域課題解決への支援(再掲)	В	計画通りに進んでいる	・主体的、自発的にまちづくりに取り組む公益活動を行う市民団体への支援を目的とした「がんばる地域応援補助金」を交付し、制度開始から計16団体が活用した。 ・令和2(2020)年度から補助対象団体の枠を広げることにより更なる団体活動への支援を行った。	行っていく。
_	N P O やボラン ティア団体など の育成支援	В	計画通りに進んでいる	・NPO、協働相談窓口を設置するとともに、市民活動サポートセンターを通じて市民活動に関する情報交換や情報発信を行い、市民活動の活性化や協働のパートナーの育成図った。	
	協働に関する職員の能力向上	В	計画通りに進んでいる	・市民からの要望や行政需要は多様化、複雑化しており行政だけの力ではなく市民との協働を進めていく必要があり、市職員として協働に関する能力向上のための職員研修を開催した。	地域住民との話し合いの場づくりに対する

基本目標	1	まちづくりの進め方	市民の評価			
施策(基本的な考 え方)	2	透明性の高い開かれた市政	大	小〈満足度〉大	#	
取組項目	1	行政情報の公開	重要度〉小	中央値 53.6	央 値 74.1	

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
行政情報の公開に関する取り組みの市民満足度割合	「行政情報の公開」の取り組みに対する 満足度割合(市民アンケート)	60.5%	73.4%	76.0%	62%	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	行政情報の提供と共有化	В	計画通りに進んでいる	・議会映像のインターネット配信や会議録の公開などにより、行政情報の提供を行った。行政情報を迅速かつ正確に提供するための行政文書ファイリングシステムの維持管理に努めた。	情報の提供方法等についてもデジタル化
2	情報の公開と透明性の確保	В	計画通りに進んでいる	・情報公開条例に基づき行政文書を適切に開示等することができた。市の財政状況の公表及び会議公開制度の実施により、行政の説明責任を果たすよう努めた。	確に把握し、情報公開制度、会議公開
3	個人情報の取り扱いに関する 職員の能力向 上	В	計画通りに進んでいる	・個人情報保護制度について、職員一人ひとりの理解を深めるために研修を実施した。	・今後も職員一人ひとりの理解を深めるために、定期的及び入庁職員に研修を実施する。

・行政情報の公開方法のデジタル化			

基本目標	-	まちづくりの進め方	市民の評価			
施策(基本的な考 え方)	2	透明性の高い開かれた市政	大	小〈満足	度》大	
取組項目	2	広報·広聴	重要度〉小	中央値	◆ 53.6	

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
広報・広聴に関する取り組み の市民満足度割合	「広報・広聴」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	74.1%	81.5%	82%	80%	Α

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	j	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	情報発信力の 強化	В	計画通りに進 んでいる	・より多くの市民にタイムリーに市政情報を届けるため、SNSなどを含めた多様な媒体【ホームページ、広報紙、ケーブルTV、コミュニティFM、Facebook、Instagram】により情報を発信した。 ・令和4年度から議会だよりをフルカラー化。縦書き右開きから横書き左開きに変更。 ・広報みよしを月1回、市からの回覧物や案内チラシなどを週1回、行政区事務所等へ公達し、行政区を通じて市からの市民に向けた情報発信を継続的に行っている。	ト情報)における情報発信を拡充する。 ・継続して発行していく(議会だより)。 ・今後も市民に向けた情報発信として継続的に行っていくが、電子回覧の活用など その手法について、市のDX推進に併せ
2	広聴活動の充実	В	計画通りに進んでいる	・市民ニーズの把握を積極的に行うため、市民が市に意見や要望を伝える手段を皆さまの提言箱、メール、パブリックコメント、市長と話そうを開催し、多様化した。 ・令和4年度に議会報告会・意見交換会を開催。	広い層の皆さんの考えを聞く機会を拡充

3. 目標達成に向けて後期基本計画で新たに位置づける取組

あらゆる媒体で	の情報発信
---------------------------	-------

・多言語に対応した情報発信

基本目標	1	まちづくりの進め方	市民の評価		
施策(基本的な考 え方)	3	効果的・効率的で安定した行財政運営	大	小〈満瓦	度〉大
取組項目	1	行政組織	重要度》 小	中央值	央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29	R4	中間年	中間年	達成度
1日1示/口	担保の足我	現状値	実績値	見込み	目標値	连风反
かりがいをよって仕事に伝んだ	市の目標を理解し自ら進んで創意工夫					
やりがいをもって仕事に励んだ	をし、やりがいをもって仕事に励んだ職員	62%	71%	65%	65%	Α
職員の割合	の割合(「自己申告書」の回答)					

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	機能的な組織体制の整備	職 B 計画通りに進んでいる		・本市の優先課題への対応のため、企業立地推進室、デジタル化推進室、ゼロカーボン推進室を設置した。 ・社会情勢への緊急的な対応のため、特別定額給付金推進室及び新型コロナワクチン接種推進室を設置した。	織体制となるように行政組織の見直しを 実施し、令和 5 (2023)年度から新しい 組織体制とする。
2	職員の能力開 発	В	計画通りに進んでいる	 ・みよし市人材育成基本方針に基づき、OJTによる 職員の能力開発を推進した。 ・階層別研修(主任主査研修等)、管理職研 修、体験研修(自衛隊派遣研修)、専門研修 (法制執務研修等)、教養研修(一般教養研修 等)、派遣研修(自治大学校等)を実施した。 	ビスを提供できるように、職員の能力の向 上や知識の習得のための職員研修を実
3	人事評価の実 施	В	計画通りに進んでいる	・職員一人ひとりが組織目標に基づいた目標を設定することにより、目標の設定・実践・評価を自ら行うことを通して能力開発を行った。 ・管理監督者が評価を通して被評価者に対してフィードバックを行い、指導育成を図った。	目標達成に向けてチャレンジする職場風 土を醸成し、職員が意欲的に仕事に取り
4	働き方改革の 推進	В	計画通りに進んでいる	・時間外勤務縮減計画を各課が作成した。 ・男性の育児休業取得を推進した。 ・テレワーク環境の整備を図った。	・時間外勤務の縮減を図るとともに、テレワークの本格導入に向けた環境整備を図る必要がある。

•	

基本目標	ı	まちづくりの進め方		市民の評価
施策(基本的な考 え方)	3	効果的・効率的で安定した行財政運営	大	小〈満足度〉大
取組項目	2	行政改革·行政評価	重要度〉 小	中央値 53.6

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
行政改革・行政評価に関する取り組みの市民満足度割合	「行政改革・行政評価」に対する満足度割合(市民アンケート)	55.9%	62.9%	63%	58%	А

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	進捗評価 成果 積み残し		積み残し課題や今後の方針	
1	行政改革の推 進	В	計画通りに進んでいる		行政改革大綱の定期的な見直しを実施 し、行政運営の効率化・合理化を進め
2	行政評価の実 施	В	計画通りに進んでいる	・毎年度、施策及び事務事業について点検評価し、 評価結果を公表している。 ・事務事業評価では有識者で構成する行政評価委 員会を開催し、外部の視点からの評価を実施してい る。	

基本目標	ı	まちづくりの進め方		市民の	評価
施策(基本的な考 え方)	3	効果的・効率的で安定した行財政運営	大	小〈満足	建度〉大
取組項目	3	広域連携の推進	重要度》小	中央値	· 央 値 74.1

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
広域連携に関する取り組みの 市民満足度割合	「広域連携の推進」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	70.7%	74.3%	75%	73%	Α

2. 「主な取組」の評価

主な取組	j	進捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
連携による行 1 政の推進	В	計画通りに進んでいる	・消防、水道、ごみ・し尿処理、火葬場、保険・医療などの各種事業について、一部事務組合や事務委託などによって事業を実施した。 ・尾三地区自治体間連携事業では行政サービスの共同事業を実施している。令和3年度には新たに尾三地区滞納整理機構の設立に関する協定を締結した。	て事業を進める。 ・効果的・効率的な行政サービスの推進 に向けた新しい取組を検討実施する。

•		

基本目標	1	まちづくりの進め方		市民の評価
施策(基本的な考 え方)	3	効果的・効率的で安定した行財政運営	大	小〈満足度〉大
取組項目	4	財政	重要度》 小	中央値 53.6

1. 「目標指標」の評価

指標名	指標の定義	H29 現状値	R4 実績値	中間年 見込み	中間年 目標値	達成度
	通常財政構造の弾力性を判断するもの					
経常収支比率	で、経常一般財源総額と経常的経費に	78.5%	83%	83%	80%以下	D
	充当される経常一般財源との比率					

2. 「主な取組」の評価

	主な取組	ĭ	生捗評価	成果	積み残し課題や今後の方針
1	適正な課税	В	計画通りに進んでいる	・地方税法等に基づき、市民及び法人に対し、適正に課税した。 ・賦課期日における軽自動車の所有者に対し、適正に課税した。 ・賦課期日における土地及び家屋の現況を把握し、所有者に対し、適正に課税した。	し、事務の効率化を図り、全国統一で基
2	市税収納率の 向上	В	計画通りに進んでいる	・令和4(2022)年4月から愛知尾三地区滞納整理機構を設立し、構成市町の連携強化により徴収困難案件に対する滞納整理業務を行っている。 ・納税推進員により電話や文書による早期の納付催告や口座振替の推奨を行った。 ・収納方法を拡充し、納付環境を整備することで納期内納税を推進した。	整備を進め、納期内納税を推進する。 ・早期催告の実施、納税意識の低い者に
3	債務の減少	В	計画通りに進んでいる	・実質公債費比率は令和3(2021)年度が単年度 1.6%(3か年平均2.3%)であり、令和2(2020) 年度の単年度2.4%(3か年平均3.0%)と比較して も良好に推移している。	が、自主財源の確保に努めるなど、予算
4	公共施設の適 正な維持・管 理	В	計画通りに進んでいる	・公共施設等総合管理計画を令和4(2022)年8月に改訂。 ・計画の実施方針への追加事項として、ユニバーサルデザイン化及び脱炭素化の推進方針、統合や廃止の推進方針を記載した。	

・早期の納税推進、納税催告や納税相談